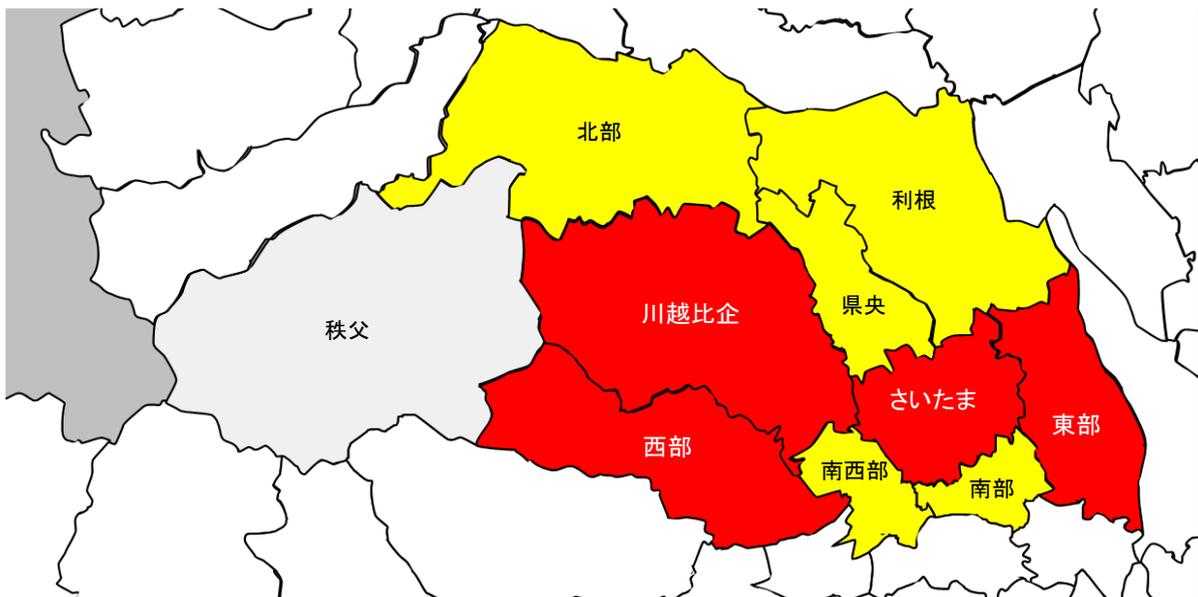


# 11. 埼玉県

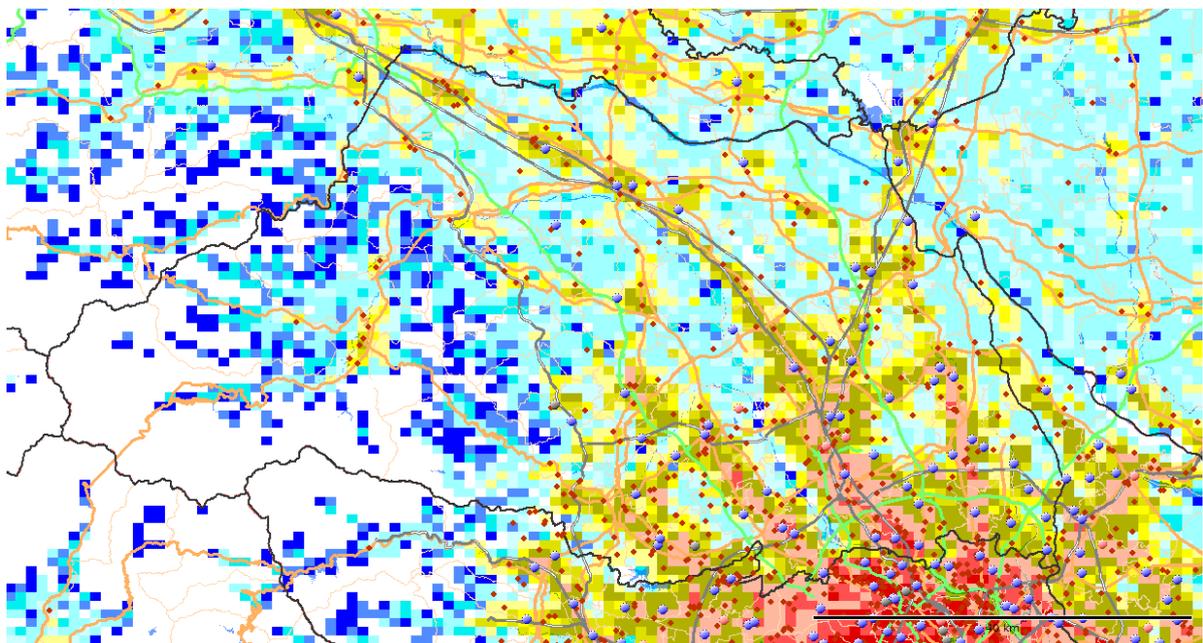


目次

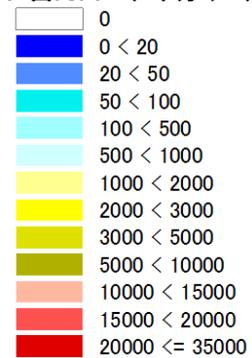
埼玉県	11	-	3
資料編 一 当県ならびに二次医療圏別資料	11	-	8
1. 南部医療圏	11	-	26
2. 南西部医療圏	11	-	31
3. 東部医療圏	11	-	36
4. さいたま医療圏	11	-	41
5. 県央医療圏	11	-	46
6. 川越比企医療圏	11	-	51
7. 西部医療圏	11	-	56
8. 利根医療圏	11	-	61
9. 北部医療圏	11	-	66
10. 秩父医療圏	11	-	71

# 11. 埼玉県

人口分布<sup>1</sup> (1km<sup>2</sup>区画単位)



区画内人口(1平方キ口)



Ⅲ群

一般病院

## (埼玉県) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

### 【地域の概要】

\*人口、面積など： 埼玉県は、総人口約7206千人(2015年推計)、面積3798km<sup>2</sup>、人口密度は1897人/km<sup>2</sup>である。

\*人口の将来予測： 埼玉県の総人口は2025年に6991千人へと減少し(2015年比-3%)、2040年に6305千人へと減少する(2025年比-10%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の765千人が、2025年にかけて1177千人へと増加し(2015年比+54%)、2040年には1198千人へと増加する(2025年比+2%)ことが予想される。

\*医療費と介護給付費： 埼玉県の一人当たり医療費(国保)は291千円(偏差値43)、介護給付費は197千円(偏差値35)であり、医療費、介護給付費ともに低い。

### 【医療の現状】

\*入院医療の充実度： 埼玉県の一人当たり急性期医療密度指数<sup>2</sup>は0.68、一人当たり慢性期医療密度指数<sup>2</sup>は0.67で、急性期の医療も慢性期の医療も少ない。

\*医師・看護師の現状： 総医師数<sup>3</sup>の偏差値が41(病院医師数42、診療所医師数41)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は40と少ない。

\*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は41で、一般病床は少ない。全身麻酔数の偏差値は43と少ない。

\*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は46と療養病床数はやや少ない。

\*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値45とやや少なく、回復期病床数は偏差値47とやや少ない。

\*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は47で精神病床数はやや少ない。

\*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は39で診療所数は少ない。

### 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状： 埼玉県の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、88261人(75歳以上1000人当たりの偏差値60)と全国平均レベルを上回る。そのうち、介護保険施設の定員が47379床(偏差値52)、高齢者住宅等が40882床(偏差値59)である。介護保険施設は全国平均レベルであるが、高齢者住宅等は全国平均レベルを上回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、56120人(75歳以上1000人当たりの偏差値47)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設49、特別養護老人ホーム55、介護療養型医療施設46、有料老人ホーム62、軽費ホーム49、グループホーム45、サ高住57である。

\*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値44と少なく、在宅療養支援病院は偏差値48と全国平均レベルである。また、訪問看護ステーションは偏差値42と少ない。介護職員(在宅)の合計は、7710人(75歳以上1000人当たりの偏差値44)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

\*介護の2040年の需要予測： 2040年の介護充足度指数<sup>4</sup>は-27%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

## 2. 推移と将来推計

### 【人口と医療需要】

埼玉県の総人口は、2005年7054243人が、2015年に7206014人と2%増加し、2025年の人口が6991046人と予測され、2005年→2025年の間に1%程度の減少が予測されている。

医療の需要は、2005年から2015年に20%増加し、2015年から2025年にかけて8%程度の増加が予測される。

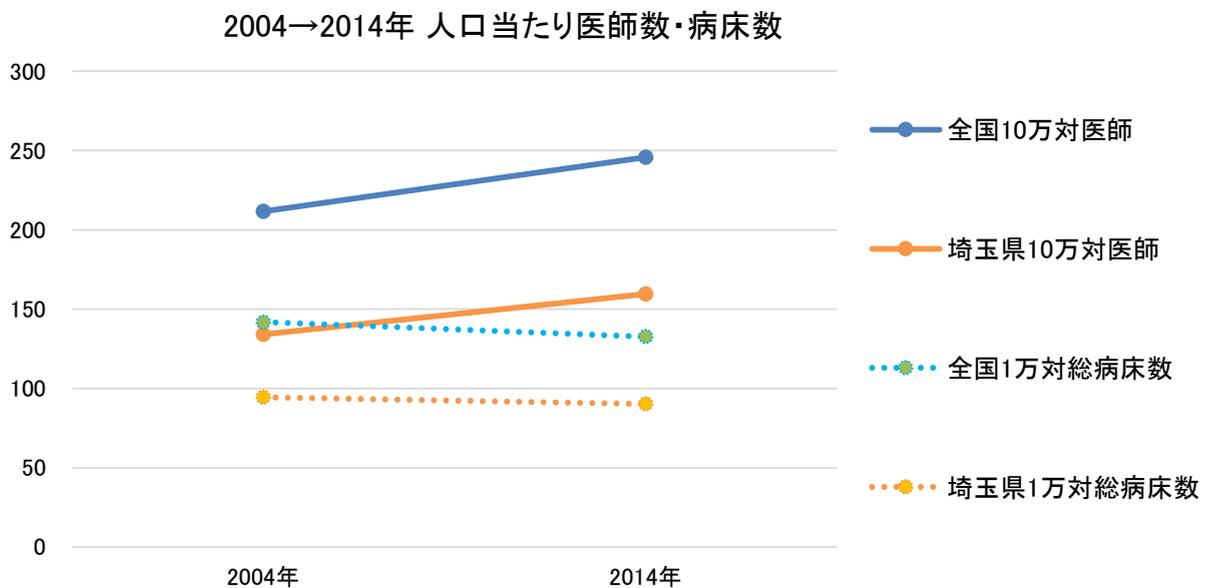
### 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が363(人口10万人当たり5.1病院(全国平均7.1)偏差値45)であったが、2014年に341(人口10万人当たり4.7病院(全国平均6.7)偏差値45)となり、10年間で22病院が減少した。

2004年の診療所数が3738(人口10万人当たり53診療所(全国平均76)偏差値39)であったが、2014年に4148(人口10万人当たり58診療所(全国平均79)偏差値39)と、410診療所が増加した。

2004年の総病床数が66638床(人口1万人当たり94(全国平均142)偏差値42)であったが、2014年に65056床(人口1万人当たり90(全国平均133)偏差値42)と、1582床の減少、率にして2%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

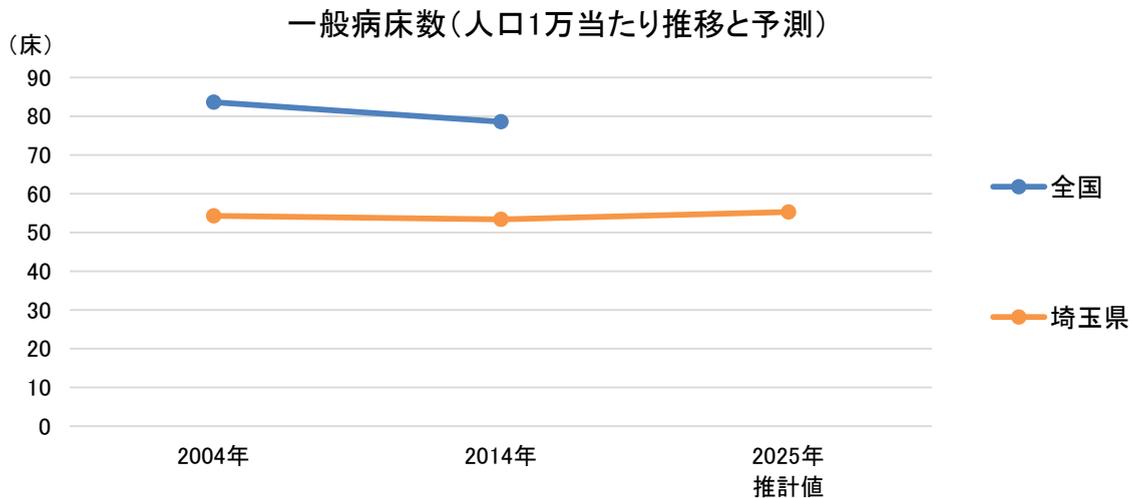
2004年には病院と診療所合わせての医師数<sup>3</sup>が9454人(人口10万人当たり134人(全国平均212人)偏差値41)であったが、2014年に11503人(人口10万人当たり160人(全国平均246人)偏差値41)と、2049人の増加、率にして22%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。



## 11. 埼玉県 (2016年版)

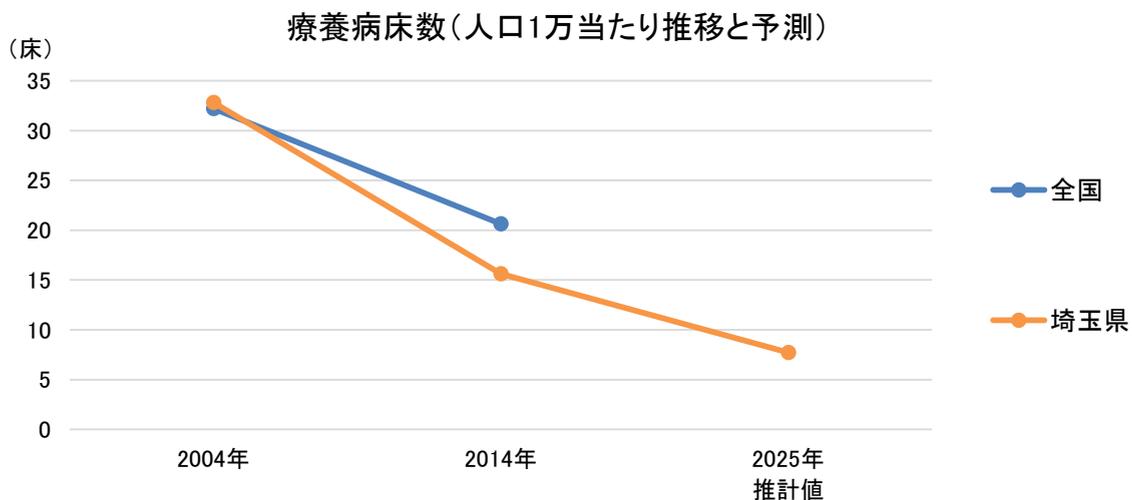
### 【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が38328床(人口1万人当たり54(全国平均84)偏差値40)であったが、2014年に38499床(人口1万人当たり53(全国平均79)偏差値41)と、171床の増加、率にして1%未満の増加(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で増加が続くとすると2025年には38686床(2025年の推計人口1万人当たり55)になることが予想される。



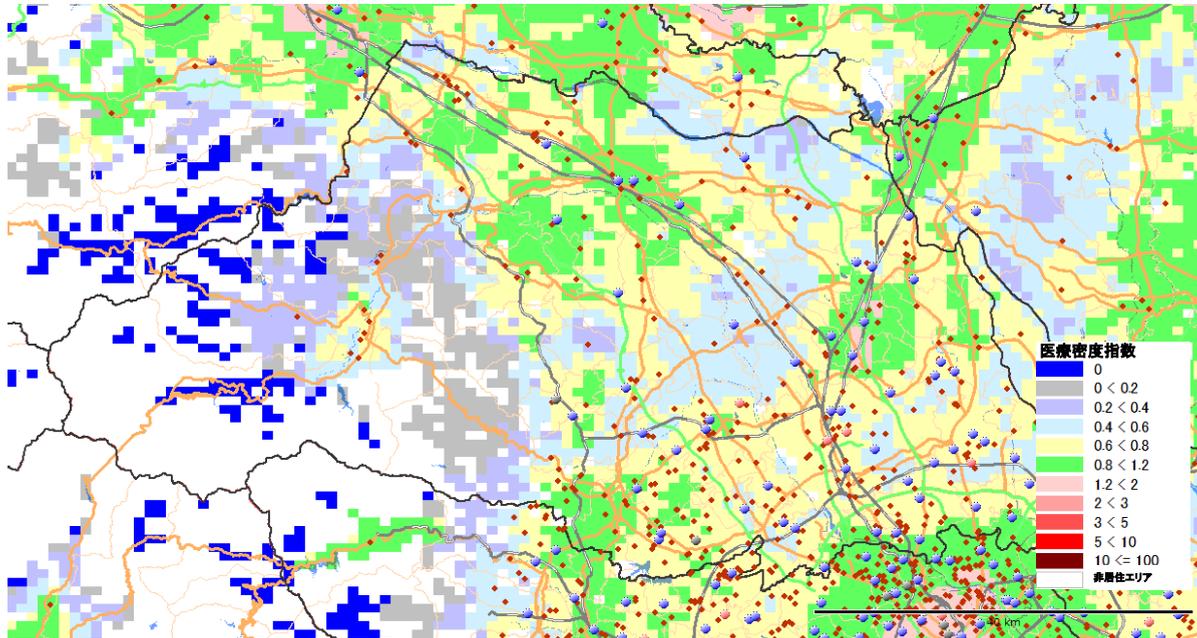
### 【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が14564床(75歳以上1000人当たり33(全国平均32)偏差値50)であったが、2014年に11961床(75歳以上1000人当たり16(全国平均21)偏差値46)と、2603床の減少、率にして18%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には9099床(2025年の推計75歳以上1000人当たり8)になることが予想される。

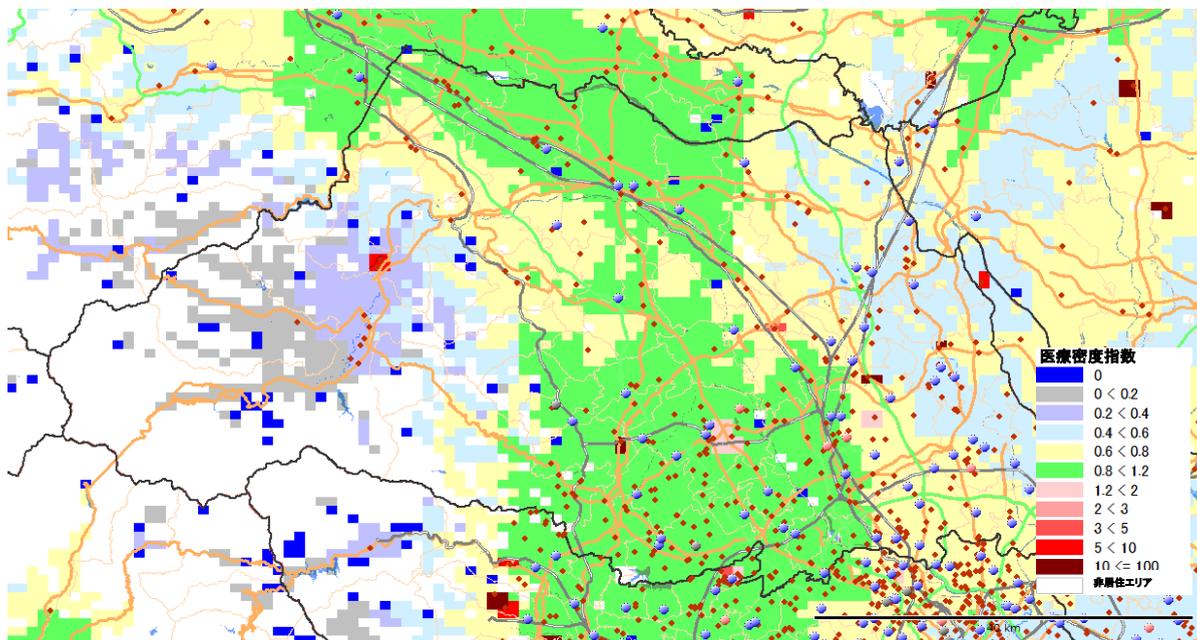


3. 医療密度<sup>5</sup>

図表11-1 急性期医療密度指数マップ



図表11-2 慢性期医療密度指数マップ



11. 埼玉県 (2016年版)

資料編 ー 当県ならびに二次医療圏別資料<sup>6</sup>

資\_図表 11-1 地理情報・人口動態

二次医療圏	人口 (単位: 千人)	県内 シェア	面積	県内 シェア	人口 密度	地域タイプ	高齢 化率	2025年 総人口 (単位: 千人)	2040年 総人口 (単位: 千人)	2015年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2025年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2040年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2015→ 25年 総人口 増減率	2025→ 40年 総人口 増減率	2015→ 25年 75歳以上 人口 増減率	2025→ 40年 75歳以上 人口 増減率
全国	126,661		372,903		339.7		27%	120,700	107,439	16,459	21,775	22,232	-5%	-11%	32%	2%
埼玉県	7,206	5位	3,798	39位	1,897.3		25%	6,991	6,305	765	1,177	1,198	-3%	-10%	54%	2%
南部	770	11%	85	2%	9,036.4	大都市型	22%	766	723	73	106	110	-1%	-6%	45%	4%
南西部	702	10%	111	3%	6,326.4	大都市型	23%	699	658	70	108	112	0%	-6%	54%	4%
東部	1,122	16%	250	7%	4,490.7	大都市型	25%	1,089	975	112	187	179	-3%	-10%	67%	-4%
さいたま	1,245	17%	217	6%	5,725.2	大都市型	23%	1,241	1,168	127	191	211	0%	-6%	50%	10%
県央	529	7%	173	5%	3,059.4	大都市型	26%	510	453	57	90	89	-4%	-11%	58%	-1%
川越比企	794	11%	627	16%	1,267.7	地方都市型	26%	762	671	87	138	135	-4%	-12%	59%	-2%
西部	785	11%	406	11%	1,930.9	地方都市型	26%	754	665	89	142	146	-4%	-12%	60%	3%
利根	646	9%	474	12%	1,363.6	地方都市型	27%	604	510	74	113	112	-7%	-16%	53%	-1%
北部	511	7%	562	15%	908.5	地方都市型	26%	478	409	61	84	87	-6%	-14%	38%	4%
秩父	102	1%	893	23%	113.9	過疎地域型	31%	89	70	17	18	18	-13%	-21%	6%	0%

出典 <人口(2015年、2025年、2040年)>日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成25年3月  
<面積>都道府県・市区町村別主要統計表 総務省統計局 平成22年

資\_図表 11-2 一人当たり医療密度指数、介護充足度指数

二次医療圏	一人当たり 急性期医療 密度指数	一人当たり 慢性期医療 密度指数	75歳以上介護充足度指数 (%)	
			2025年	2040年
全国	1.00	1.00	-26.7%	-27.2%
埼玉県	0.68	0.67	-24.9%	-27.2%
南部	0.72	0.46	-10.6%	-15.7%
南西部	0.64	0.65	-37.6%	-41.9%
東部	0.66	0.45	-49.9%	-43.2%
さいたま	0.65	0.48	-1.8%	-12.9%
県央	0.59	0.51	-41.0%	-39.3%
川越比企	0.64	0.90	-63.7%	-60.3%
西部	0.74	1.42	-67.1%	-71.5%
利根	0.74	0.58	-38.1%	-36.4%
北部	0.77	0.77	-8.2%	-11.9%
秩父	0.43	0.81	9.0%	12.7%

出典 <一人当たり急性期医療密度指数><一人当たり慢性期医療密度指数>その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0が全国平均、0.8を下回ると少ない、0.6を下回ると非常に少ない、1.2以上充実、1.5以上非常に充実。  
<75歳以上介護充足度指数>高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。各年度の75歳1,000人(推計)に対する高齢者住宅・施設のベッド数が、2016年の全国平均(99.3床)と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

資\_図表 11-3 医療費、介護給付費<sup>7</sup>

二次医療圏	一人あたり 医療費 (国保のみ) (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差指数	被保険者 一人あたり 介護給付費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	319	(41)	1.000	254	(37)
埼玉県	291	43	0.918	197	35
南部	265	37	0.915	213	39
南西部	280	41	0.910	181	30
東部	284	42	0.908	174	29
さいたま	294	44	0.926	226	42
県央	302	46	0.906	182	31
川越比企	298	45	0.910	186	32
西部	292	43	0.902	187	32
利根	312	48	0.937	191	33
北部	300	45	0.941	231	44
秩父	309	48	0.927	252	49
出典	<一人あたり医療費>平成25年度医療費の地域差分析 厚生労働省 <一人あたり介護給付費>平成26年度介護保険事業状況報告(年報) 平成26年度累計(平成26年3月サービス分から平成27年2月サービス分まで)				

資\_図表 11-4 病院数、診療所数

二次医療圏	病院数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	8,493		6.7	(4.1)	100,461		79	(19.5)
埼玉県	341	4.0%	4.7	45	4,148	4.1%	58	39
南部	28	8%	3.6	43	426	10%	55	38
南西部	29	9%	4.1	44	347	8%	49	35
東部	47	14%	4.2	44	560	14%	50	35
さいたま	37	11%	3.0	41	879	21%	71	46
県央	19	6%	3.6	42	284	7%	54	37
川越比企	50	15%	6.3	49	442	11%	56	38
西部	55	16%	7.0	51	423	10%	54	37
利根	33	10%	5.1	46	332	8%	51	36
北部	34	10%	6.7	50	369	9%	72	46
秩父	9	3%	8.9	55	86	2%	85	53
出典	平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

11. 埼玉県 (2016年版)

資\_図表 11-5 診療所数 (全体、無床、有床)

二次医療圏	診療所数 (再掲)				無床診療所数				有床診療所数			
	診療所数 (再掲)	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	無床 診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	有床 診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	100,461		79	(19.5)	92,106		73	(19.0)	8,355		6.6	(6.6)
埼玉県	4,148	4.1%	58	39	3,904	4.2%	54	40	244	2.9%	3.4	45
南部	426	10%	55	38	406	10%	53	39	20	8%	2.6	44
南西部	347	8%	49	35	330	8%	47	36	17	7%	2.4	44
東部	560	14%	50	35	519	13%	46	36	41	17%	3.7	46
さいたま	879	21%	71	46	840	22%	67	47	39	16%	3.1	45
県央	284	7%	54	37	264	7%	50	38	20	8%	3.8	46
川越比企	442	11%	56	38	413	11%	52	39	29	12%	3.7	46
西部	423	10%	54	37	397	10%	51	38	26	11%	3.3	45
利根	332	8%	51	36	311	8%	48	37	21	9%	3.3	45
北部	369	9%	72	46	346	9%	68	47	23	9%	4.5	47
秩父	86	2%	85	53	78	2%	77	52	8	3%	7.9	52
出典	平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

資\_図表 11-6 病院総病床数、診療所病床数

二次医療圏	病院総病床数				診療所病床数				病院+診療所病床数			
	病院 総病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	病院+ 診療所 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,568,261		1,238	(503)	112,364		89	(106)	1,680,625		1,327	(565)
埼玉県	62,060	4.0%	861	43	2,996	2.7%	42	46	65,056	3.9%	903	42
南部	5,106	8%	663	39	289	10%	38	45	5,395	8%	700	39
南西部	4,881	8%	695	39	174	6%	25	44	5,055	8%	720	39
東部	9,171	15%	818	42	459	15%	41	45	9,630	15%	858	42
さいたま	7,870	13%	632	38	416	14%	33	45	8,286	13%	665	38
県央	3,975	6%	751	40	302	10%	57	47	4,277	7%	808	41
川越比企	9,562	15%	1,204	49	321	11%	40	45	9,883	15%	1,244	49
西部	9,629	16%	1,227	50	343	11%	44	46	9,972	15%	1,271	49
利根	5,696	9%	882	43	293	10%	45	46	5,989	9%	927	43
北部	5,293	9%	1,036	46	302	10%	59	47	5,595	9%	1,095	46
秩父	877	1%	863	43	97	3%	95	51	974	1%	958	43
出典	平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				病院総病床数と診療所病床数の合計			

資\_図表 11-7 病院病床数(一般病床、療養病床、精神病床)

二次医療圏	一般病床				療養病床				精神病床			
	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	894,216		706	(229)	328,144		259	(210)	338,174		267	(219)
埼玉県	35,554	4.0%	493	41	11,910	3.6%	165	46	14,393	4.3%	200	47
南部	3,176	9%	412	37	922	8%	120	43	988	7%	128	44
南西部	2,937	8%	418	37	838	7%	119	43	1,106	8%	158	45
東部	5,461	15%	487	40	1,606	13%	143	44	2,104	15%	188	46
さいたま	5,334	15%	428	38	1,315	11%	106	43	1,191	8%	96	42
県央	2,464	7%	466	40	769	6%	145	45	742	5%	140	44
川越比企	5,018	14%	632	47	1,919	16%	242	49	2,615	18%	329	53
西部	4,517	13%	576	44	2,595	22%	331	53	2,517	17%	321	52
利根	3,542	10%	548	43	685	6%	106	43	1,385	10%	214	48
北部	2,648	7%	518	42	964	8%	189	47	1,622	11%	318	52
秩父	457	1%	450	39	297	2%	292	52	123	1%	121	43
出典	平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

資\_図表 11-8 回復期リハビリ病棟病床数と地域包括ケア病棟病床数<sup>8</sup>

二次医療圏	回復期病床				地域包括ケア病床			
	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	70,480		56	(47)	36,025		34	(48)
埼玉県	2,837	4.0%	39	47	908	2.5%	13	45
南部	262	9%	34	45	113	12%	15	46
南西部	172	6%	25	43	43	5%	6	44
東部	642	23%	57	50	180	20%	16	46
さいたま	310	11%	25	43	40	4%	3	44
県央	185	7%	35	46	8	1%	2	43
川越比企	534	19%	67	52	150	17%	19	47
西部	412	15%	52	49	119	13%	15	46
利根	189	7%	29	44	68	7%	11	45
北部	96	3%	19	42	138	15%	27	48
秩父	35	1%	34	45	49	5%	48	53
出典	平成26年度病床機能報告				平成28年6月地方厚生局(関東信越厚生局のみ7月公表分)。近畿厚生局は病床数データがないため非掲載。			

11. 埼玉県 (2016年版)

資\_図表 11-9 公的病院病床数、民間病院病床数

二次医療圏	公的病院			民間病院			一般病床		療養病床	
	総病床数	一般病床数	療養病床数	総病床数	一般病床数	療養病床数	公的病院病床数の比率	偏差値*全国は標準偏差	公的病院病床数の比率	偏差値*全国は標準偏差
全国	549,932	467,163	29,302	1,011,492	427,742	293,995	52.2%	(24%)	9.1%	(23%)
埼玉県	14,408	11,870	241	47,516	23,908	11,439	33.2%	42	2.1%	47
南部	1,073	1,053	0	4,052	2,102	962	33.4%	42	0.0%	46
南西部	350	350	0	4,511	2,538	867	12.1%	33	0.0%	46
東部	1,283	1,283	0	7,821	4,197	1,640	23.4%	38	0.0%	46
さいたま	2,391	2,116	0	5,501	3,278	1,275	39.2%	45	0.0%	46
県央	1,185	623	0	2,790	1,799	811	25.7%	39	0.0%	46
川越比企	2,679	1,870	84	6,832	3,097	1,835	37.6%	44	4.4%	48
西部	2,034	1,988	0	7,605	2,835	2,279	41.2%	45	0.0%	46
利根	1,161	1,077	0	4,488	2,473	665	30.3%	41	0.0%	46
北部	1,992	1,300	107	3,299	1,342	858	49.2%	49	11.1%	51
秩父	260	210	50	617	247	247	46.0%	47	16.8%	53
出典	地方厚生局届出受理名簿平成27年5月公表データをもとに株式会社ウェルネスが集計(一部、ウェルネス独自調査含む) 公的病院はここでは、開設者が国もしくは都道府県、市町村、地方行政法人、その他の公的医療機関(日赤など)としている。									

資\_図表 11-10 全身麻酔件数、分娩件数 (年間)

二次医療圏	全身麻酔件数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	分娩件数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
埼玉県	109,548	3.9%	1,520	43	51,384	5.0%	713	47
南部	10,236	9%	1,329	42	6,516	13%	846	51
南西部	9,408	9%	1,340	42	4,812	9%	686	46
東部	17,784	16%	1,585	44	8,364	16%	746	48
さいたま	16,308	15%	1,310	41	6,732	13%	541	41
県央	10,116	9%	1,912	47	2,856	6%	540	41
川越比企	16,116	15%	2,029	48	7,956	15%	1,001	57
西部	16,284	15%	2,075	49	5,616	11%	716	47
利根	6,984	6%	1,081	39	4,932	10%	763	48
北部	5,388	5%	1,055	39	2,916	6%	571	42
秩父	924	1%	909	38	684	1%	673	45
出典	平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

資\_図表 11-11 医師数(総数、病院医師数、診療所医師数)

二次医療圏	総医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病院医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	診療所医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	340,791		269	(92)	210,112		166	(67)	130,678		103	(33)
埼玉県	13,705	4.0%	190	41	8,310	4.0%	115	42	5,395	4.1%	75	41
南部	1,343	10%	174	40	806	10%	105	41	538	10%	70	40
南西部	1,018	7%	145	37	566	7%	81	37	452	8%	64	38
東部	2,036	15%	182	41	1,271	15%	113	42	765	14%	68	39
さいたま	2,468	18%	198	42	1,374	17%	110	42	1,094	20%	88	45
県央	970	7%	183	41	581	7%	110	42	389	7%	73	41
川越比企	2,082	15%	262	49	1,472	18%	185	53	609	11%	77	42
西部	1,754	13%	224	45	1,129	14%	144	47	626	12%	80	43
利根	969	7%	150	37	557	7%	86	38	412	8%	64	38
北部	875	6%	171	39	472	6%	92	39	403	7%	79	43
秩父	190	1%	187	41	81	1%	80	37	109	2%	107	51
出典	病院医師数と診療所医師数の合計				平成26年病院報告 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

資\_図表 11-12 専門医数(総合内科、小児科、産婦人科)

二次医療圏	総合内科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	小児科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	産婦人科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	15,664		12.4	(6.7)	12,494		9.9	(4.6)	10,443		8.2	(3.8)
埼玉県	683	4.4%	9.5	46	519	4.2%	7.2	44	415	4.0%	5.8	44
南部	57	8%	7.4	43	58	11%	7.5	45	47	11%	6.1	44
南西部	38	6%	5.4	40	40	8%	5.7	41	25	6%	3.6	38
東部	94	14%	8.4	44	63	12%	5.6	41	63	15%	5.6	43
さいたま	137	20%	11.0	48	132	25%	10.6	52	80	19%	6.4	45
県央	42	6%	7.9	43	26	5%	4.9	39	21	5%	4.0	39
川越比企	113	17%	14.2	53	80	15%	10.1	50	71	17%	8.9	52
西部	97	14%	12.4	50	59	11%	7.5	45	52	13%	6.6	46
利根	48	7%	7.4	43	35	7%	5.4	40	24	6%	3.7	38
北部	50	7%	9.8	46	23	4%	4.5	38	27	7%	5.3	42
秩父	7	1%	6.9	42	3	1%	3.0	35	5	1%	4.9	41
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

11. 埼玉県 (2016年版)

資\_図表 11-13 専門医数 (皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科)

二次医療圏	皮膚科				眼科				耳鼻咽喉科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	5,278		4.2	(2.1)	9,392		7.4	(3.2)	7,466		5.9	(2.6)
埼玉県	226	4.3%	3.1	45	404	4.3%	5.6	44	305	4.1%	4.2	44
南部	25	11%	3.2	46	38	9%	4.9	42	25	8%	3.2	40
南西部	18	8%	2.6	42	32	8%	4.6	41	28	9%	4.0	43
東部	32	14%	2.9	44	53	13%	4.7	42	40	13%	3.6	41
さいたま	51	23%	4.1	50	97	24%	7.8	51	62	20%	5.0	47
県央	9	4%	1.7	38	28	7%	5.3	43	32	10%	6.0	51
川越比企	37	16%	4.7	52	48	12%	6.0	46	42	14%	5.3	48
西部	23	10%	2.9	44	49	12%	6.2	46	40	13%	5.1	47
利根	19	8%	2.9	44	37	9%	5.7	45	19	6%	2.9	39
北部	9	4%	1.8	39	17	4%	3.3	37	13	4%	2.5	37
秩父	3	1%	3.0	44	5	1%	4.9	42	4	1%	3.9	43
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資\_図表 11-14 専門医数 (精神科、外科、整形外科)

二次医療圏	精神科				外科				整形外科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	8,293		6.5	(3.5)	20,395		16.1	(7.2)	15,369		12.1	(4.5)
埼玉県	319	3.8%	4.4	44	807	4.0%	11.2	43	571	3.7%	7.9	41
南部	19	6%	2.5	38	67	8%	8.7	40	60	11%	7.8	40
南西部	25	8%	3.6	42	64	8%	9.1	40	42	7%	6.0	36
東部	49	15%	4.4	44	117	14%	10.4	42	74	13%	6.6	38
さいたま	48	15%	3.9	42	134	17%	10.8	43	94	16%	7.5	40
県央	28	9%	5.3	46	70	9%	13.2	46	49	9%	9.3	44
川越比企	46	14%	5.8	48	112	14%	14.1	47	96	17%	12.1	50
西部	54	17%	6.9	51	140	17%	17.8	52	61	11%	7.8	40
利根	13	4%	2.0	37	44	5%	6.8	37	49	9%	7.6	40
北部	33	10%	6.5	50	50	6%	9.8	41	40	7%	7.8	40
秩父	4	1%	3.9	43	9	1%	8.9	40	6	1%	5.9	36
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資\_図表 11-15 専門医数(泌尿器科、脳神経外科、放射線科)

二次医療圏	泌尿器科				脳神経外科				放射線科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	5,711		4.5	(2.1)	6,376		5.0	(2.4)	5,300		4.2	(3.0)
埼玉県	217	3.8%	3.0	43	262	4.1%	3.6	44	163	3.1%	2.3	44
南部	21	10%	2.7	41	24	9%	3.1	42	13	8%	1.7	42
南西部	17	8%	2.4	40	15	6%	2.1	38	7	4%	1.0	39
東部	36	17%	3.2	44	42	16%	3.7	45	14	9%	1.2	40
さいたま	41	19%	3.3	44	35	13%	2.8	41	35	21%	2.8	45
県央	16	7%	3.0	43	20	8%	3.8	45	16	10%	3.0	46
川越比企	23	11%	2.9	42	36	14%	4.5	48	24	15%	3.0	46
西部	29	13%	3.7	46	45	17%	5.7	53	38	23%	4.8	52
利根	16	7%	2.5	40	16	6%	2.5	39	7	4%	1.1	40
北部	15	7%	2.9	42	26	10%	5.1	50	9	6%	1.8	42
秩父	3	1%	3.0	42	3	1%	3.0	41	0	0%	0	36
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資\_図表 11-16 専門医数(麻酔科、病理、救急科)

二次医療圏	麻酔科				病理				救急科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	6,566		5.2	(3.1)	1,541		1.2	(0.9)	3,291		2.6	(1.7)
埼玉県	267	4.1%	3.7	45	56	3.6%	0.8	45	112	3.4%	1.6	44
南部	24	9%	3.1	43	6	11%	0.8	45	10	9%	1.3	42
南西部	27	10%	3.8	46	1	2%	0.1	38	6	5%	0.9	40
東部	38	14%	3.4	44	10	18%	0.9	46	18	16%	1.6	44
さいたま	47	18%	3.8	45	8	14%	0.6	44	20	18%	1.6	44
県央	19	7%	3.6	45	6	11%	1.1	49	7	6%	1.3	43
川越比企	36	13%	4.5	48	10	18%	1.3	50	22	20%	2.8	51
西部	41	15%	5.2	50	9	16%	1.1	49	19	17%	2.4	49
利根	19	7%	2.9	43	3	5%	0.5	42	5	4%	0.8	39
北部	14	5%	2.7	42	3	5%	0.6	43	5	4%	1.0	41
秩父	2	1%	2.0	40	0	0%	0	37	0	0%	0	35
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

11. 埼玉県 (2016年版)

資\_図表 11-17 専門医数 (形成外科、リハビリテーション科)

二次医療圏	形成外科 専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	リハビリテ- ション科 専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,984		1.6	(1.2)	2,370		1.9	(1.3)
埼玉県	75	3.8%	1.0	46	67	2.8%	0.9	43
南部	6	8%	0.8	44	8	12%	1.0	44
南西部	3	4%	0.4	41	2	3%	0.3	38
東部	6	8%	0.5	42	8	12%	0.7	41
さいたま	18	24%	1.4	49	7	10%	0.6	40
県央	9	12%	1.7	51	4	6%	0.8	41
川越比企	16	21%	2.0	54	16	24%	2.0	51
西部	10	13%	1.3	48	12	18%	1.5	47
利根	2	3%	0.3	40	8	12%	1.2	45
北部	4	5%	0.8	44	2	3%	0.4	39
秩父	1	1%	1.0	45	0	0%	0	36
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月							

資\_図表 11-18 看護師数 (総数、病院看護師数、診療所看護師数)

二次医療圏	総看護師 数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	病院 看護師数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所 看護師数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,100,601		869	(289)	903,500		713	(241)	197,102		156	(74)
埼玉県	41,262	3.7%	573	40	34,509	3.8%	479	40	6,753	3.4%	94	42
南部	3,622	9%	470	36	3,005	9%	390	37	617	9%	80	40
南西部	3,128	8%	446	35	2,636	8%	376	36	492	7%	70	38
東部	5,829	14%	520	38	4,914	14%	438	39	915	14%	82	40
さいたま	6,469	16%	520	38	5,277	15%	424	38	1,192	18%	96	42
県央	3,147	8%	595	41	2,563	7%	484	41	584	9%	110	44
川越比企	6,198	15%	780	47	5,294	15%	666	48	904	13%	114	44
西部	5,374	13%	685	44	4,643	13%	592	45	731	11%	93	42
利根	3,681	9%	570	40	3,122	9%	483	40	558	8%	86	41
北部	3,196	8%	626	42	2,617	8%	512	42	579	9%	113	44
秩父	619	1%	609	41	437	1%	430	38	181	3%	178	53
出典	病院看護師数と診療所看護師数の合計				平成26年病院報告 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

資\_図表 11-19 総療法士数と薬剤師数

二次医療圏	総療法士数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	薬剤師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	119,431		94	(52)	288,151		227	(98)
埼玉県	4,881	4.1%	68	45	14,190	4.9%	197	47
南部	411	8%	53	42	1,273	9%	165	44
南西部	362	7%	52	42	1,141	8%	163	43
東部	906	19%	81	47	1,924	14%	172	44
さいたま	488	10%	39	39	3,377	24%	271	54
県央	372	8%	70	45	988	7%	187	46
川越比企	762	16%	96	50	1,857	13%	234	51
西部	847	17%	108	53	1,400	10%	178	45
利根	425	9%	66	44	1,075	8%	166	44
北部	243	5%	48	41	1,020	7%	200	47
秩父	66	1%	64	44	135	1%	133	40
出典	平成26年病院報告 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月			

資\_図表 11-20 在宅医療施設数(在宅療養支援診療所、在宅療養支援病院、訪問看護ステーション)

二次医療圏	在宅療養支援診療所	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	在宅療養支援病院	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	訪問看護ステーション	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	14,679		0.9	(0.5)	1,120		0.1	(0.1)	9,602		0.6	(0.2)
埼玉県	486	3.3%	0.6	44	41	3.7%	0.1	48	339	3.5%	0.4	42
南部	52	11%	0.7	46	6	15%	0.1	52	33	10%	0.5	43
南西部	33	7%	0.5	41	4	10%	0.1	48	36	11%	0.5	46
東部	47	10%	0.4	40	6	15%	0.1	48	50	15%	0.4	43
さいたま	153	31%	1.2	57	4	10%	0.0	44	56	17%	0.4	42
県央	35	7%	0.6	44	1	2%	0.0	42	22	6%	0.4	39
川越比企	49	10%	0.6	43	6	15%	0.1	50	33	10%	0.4	39
西部	57	12%	0.6	45	5	12%	0.1	48	45	13%	0.5	46
利根	26	5%	0.4	38	2	5%	0.0	44	31	9%	0.4	41
北部	32	7%	0.5	42	6	15%	0.1	55	27	8%	0.4	42
秩父	2	0%	0.1	33	1	2%	0.1	49	6	2%	0.4	38
出典	届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成28年5月				届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成28年5月				介護サービス情報公表システム 厚生労働省 平成28年5月			

11. 埼玉県 (2016年版)

資\_図表 11-21 総高齢者施設・住宅定員数、介護保険施設定員(病床)数、高齢者住宅定員数

二次医療圏	総高齢者施設・住宅定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護保険施設定員(病床)数				高齢者住宅定員数			
					全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		
全国	1,633,619		99	(17)	983,880		60	(13)	649,739		39	(15)
埼玉県	88,261	5.4%	115	60	47,379	4.8%	62	52	40,882	6.3%	53	59
南部	9,468	11%	130	68	4,306	9%	59	50	5,162	13%	71	71
南西部	7,970	9%	114	59	4,462	9%	64	53	3,508	9%	50	57
東部	12,394	14%	111	57	5,773	12%	52	44	6,621	16%	59	63
さいたま	18,243	21%	144	77	8,009	17%	63	53	10,234	25%	81	78
県央	6,127	7%	108	55	4,218	9%	75	62	1,909	5%	34	46
川越比企	8,272	9%	96	48	4,762	10%	55	46	3,510	9%	41	51
西部	8,526	10%	96	48	5,336	11%	60	50	3,190	8%	36	48
利根	7,480	8%	101	51	5,059	11%	68	57	2,421	6%	33	45
北部	8,054	9%	132	70	4,190	9%	69	57	3,864	9%	64	66
秩父	1,727	2%	103	52	1,264	3%	76	63	463	1%	28	42
出典	介護保険施設定員(病床)数と高齢者住宅定員数の合計				老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数の合計				有料老人ホーム、軽費ホーム、グループホーム、サ高住の合計			

資\_図表 11-22 老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数

二次医療圏	老人保健施設(老健)定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	特別養護老人ホーム(特養)定員数				介護療養病床数			
					全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		
全国	361,993		22	(5.7)	554,289		34	(10.0)	67,598		4.1	(4.1)
埼玉県	16,444	4.5%	22	49	29,205	5.3%	38	55	1,730	2.6%	2.3	46
南部	1,201	7%	17	40	2,790	10%	38	55	315	18%	4.3	51
南西部	2,002	12%	29	62	2,388	8%	34	50	72	4%	1.0	43
東部	2,149	13%	19	45	3,281	11%	29	46	343	20%	3.1	47
さいたま	2,692	16%	21	49	5,001	17%	39	56	316	18%	2.5	46
県央	1,644	10%	29	62	2,574	9%	45	62	0	0%	0	40
川越比企	1,641	10%	19	45	3,060	10%	35	52	61	4%	0.7	42
西部	1,936	12%	22	50	2,866	10%	32	49	534	31%	6.0	55
利根	1,524	9%	21	48	3,535	12%	48	64	0	0%	0	40
北部	1,274	8%	21	48	2,865	10%	47	63	51	3%	0.8	42
秩父	381	2%	23	51	845	3%	51	67	38	2%	2.3	46
出典	平成28年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資\_図表 11-23 有料老人ホーム定員数、軽費ホーム定員数、グループホーム定員数

二次医療圏	有料老人ホーム	有料老人ホーム			軽費ホーム	軽費ホーム			グループホーム	グループホーム		
		全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	223,346		13.6	(10.3)	22,728		1.4	(2.1)	191,184		11.6	(5.6)
埼玉県	20,107	9.0%	26.3	62	951	4.2%	1.2	49	6,590	3.4%	8.6	45
南部	3,171	16%	43.6	79	0	0%	0	43	767	12%	10.5	48
南西部	1,320	7%	18.8	55	59	6%	0.8	47	564	9%	8.0	44
東部	3,691	18%	33.1	69	50	5%	0.4	45	924	14%	8.3	44
さいたま	6,660	33%	52.5	88	124	13%	1.0	48	916	14%	7.2	42
県央	811	4%	14.3	51	0	0%	0	43	465	7%	8.2	44
川越比企	1,159	6%	13.4	50	50	5%	0.6	46	810	12%	9.4	46
西部	1,333	7%	15.0	51	149	16%	1.7	51	452	7%	5.1	38
利根	916	5%	12.4	49	150	16%	2.0	53	683	10%	9.2	46
北部	876	4%	14.4	51	319	34%	5.2	69	829	13%	13.6	54
秩父	170	1%	10.2	47	50	5%	3.0	58	180	3%	10.8	48
出典	平成28年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資\_図表 11-24 サービス付き高齢者専用賃貸住宅（サ高住）定員数

二次医療圏	サ高住 (全施設)	サ高住(全施設)			サ高住 (特定 施設)	サ高住(特定 施設)			サ高住 (非特定 施設)	サ高住(非特定 施設)			
		全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	
全国	212,481		12.9	(6.7)	13,027		0.8	(1.6)	199,454		12.1	(6.3)	
埼玉県	13,234	6.2%	17.3	57	1,646	12.6%	2.2	59	11,588	5.8%	15.2	55	
南部	1,224	9%	16.8	56	21	1%	0.3	47	1,203	10%	16.5	57	
南西部	1,565	12%	22.3	64	278	17%	4.0	70	1,287	11%	18.4	60	
東部	1,956	15%	17.5	57	198	12%	1.8	56	1,758	15%	15.7	56	
さいたま	2,534	19%	20.0	61	518	31%	4.1	71	2,016	17%	15.9	56	
県央	633	5%	11.2	47	0	0%	0	45	633	5%	11.2	49	
川越比企	1,491	11%	17.2	56	264	16%	3.1	64	1,227	11%	14.2	53	
西部	1,256	9%	14.1	52	253	15%	2.8	63	1,003	9%	11.3	49	
利根	672	5%	9.1	44	50	3%	0.7	49	622	5%	8.4	44	
北部	1,840	14%	30.2	76	64	4%	1.1	52	1,776	15%	29.2	77	
秩父	63	0%	3.8	36	0	0%	0	45	63	1%	3.8	37	
出典	サ高住(特定施設)とサ高住(非特定施設)の合計			平成28年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの					平成28年4月 国土交通省・厚生労働省 サービス付き高齢者向け住宅 情報提供システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの				

11. 埼玉県 (2016年版)

資\_図表 11-25 介護サービス従事看護師数 (介護施設、訪問看護) (常勤換算)

二次医療圏	介護サービス従事看護師数				看護師数 (施設)				看護師数 (訪問)			
	介護サービス従事看護師数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	看護師数 (施設)	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	看護師数 (訪問)	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	160,468		9.7	(2.4)	118,281		7.2	(2.2)	42,186		2.6	(0.8)
埼玉県	6,526	4.1%	8.5	45	4,897	4.1%	6.4	46	1,628	3.9%	2.1	45
南部	694	11%	9.5	49	511	10%	7.0	49	183	11%	2.5	49
南西部	544	8%	7.8	42	398	8%	5.7	43	146	9%	2.1	44
東部	933	14%	8.4	44	684	14%	6.1	45	249	15%	2.2	46
さいたま	1,289	20%	10.2	52	976	20%	7.7	52	313	19%	2.5	49
県央	446	7%	7.9	42	352	7%	6.2	46	94	6%	1.7	39
川越比企	604	9%	7.0	38	440	9%	5.1	40	164	10%	1.9	42
西部	774	12%	8.7	46	578	12%	6.5	47	196	12%	2.2	46
利根	550	8%	7.4	40	414	8%	5.6	43	136	8%	1.8	41
北部	539	8%	8.9	46	415	8%	6.8	48	124	8%	2.0	44
秩父	153	2%	9.1	47	129	3%	7.7	53	24	1%	1.4	36
出典	平成28年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資\_図表 11-26 介護サービス従事介護職員数 (介護施設等、在宅介護) (常勤換算)

二次医療圏	介護サービス従事介護職員数				介護職員数 (介護施設等)				介護職員数 (在宅)			
	介護サービス従事介護職員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護職員数 (介護施設等)	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護職員数 (在宅)	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,482,791		90	(12.3)	1,259,191		77	(11.5)	223,600		13.6	(5.5)
埼玉県	63,830	4.3%	83	45	56,120	4.5%	73	47	7,710	3.4%	10.1	44
南部	6,945	11%	95	54	5,936	11%	82	54	1,009	13%	13.9	51
南西部	5,442	9%	78	40	4,835	9%	69	43	607	8%	8.7	41
東部	8,291	13%	74	37	7,121	13%	64	39	1,170	15%	10.5	44
さいたま	11,608	18%	92	51	10,107	18%	80	53	1,501	19%	11.8	47
県央	4,597	7%	81	43	4,120	7%	73	47	477	6%	8.4	41
川越比企	6,377	10%	74	37	5,587	10%	65	40	790	10%	9.1	42
西部	6,681	10%	75	38	5,859	10%	66	41	822	11%	9.3	42
利根	6,321	10%	85	46	5,703	10%	77	50	618	8%	8.3	40
北部	5,952	9%	98	56	5,378	10%	88	60	574	7%	9.4	42
秩父	1,618	3%	97	55	1,475	3%	88	60	142	2%	8.5	41
出典	平成28年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資\_図表 11-27 在宅医療・介護サービス利用者数(月間)

二次医療圏	在宅医療 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	訪問看護 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	訪問介護 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,072,285		65	(31)	412,167		25	(11)	1,493,642		91	(31)
埼玉県	38,453	3.6%	50	45	13,916	3.4%	18	44	53,772	3.6%	70	43
南部	4,143	11%	57	47	1,570	11%	22	47	6,606	12%	91	50
南西部	3,662	10%	52	46	1,158	8%	17	42	4,502	8%	64	41
東部	4,805	12%	43	43	2,356	17%	21	46	8,373	16%	75	45
さいたま	11,216	29%	88	58	2,852	20%	22	48	10,161	19%	80	47
県央	2,951	8%	52	46	694	5%	12	38	3,152	6%	56	39
川越比企	4,412	11%	51	45	1,495	11%	17	43	5,731	11%	66	42
西部	2,836	7%	32	39	1,834	13%	21	46	6,302	12%	71	44
利根	1,388	4%	19	35	1,133	8%	15	41	4,184	8%	56	39
北部	2,628	7%	43	43	586	4%	10	36	3,664	7%	60	40
秩父	412	1%	25	37	238	2%	14	40	1,097	2%	66	42
出典	平成28年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資\_図表 11-28 総人口の推移と医療需要の増減

二次医療圏	地域タイプ	総人口(2005→2015→2025)					医療需要推移 (2005→2015→2025)		
		2005年	2015年 (推計)	2005→ 15年 増減率	2025年 (推計)	2005→ 25年 増減率	2005→ 2015医療 点数増減 率	2015→ 2025医療 点数増減 率	2005→ 2025医療 点数増減 率
全国		127,767,994	126,660,501	-1%	120,699,960	-6%	13%	5%	18%
埼玉県		7,054,243	7,206,014	2%	6,991,046	-1%	20%	8%	31%
南部	大都市型	725,140	770,261	6%	765,610	6%	22%	7%	30%
南西部	大都市型	665,592	701,917	5%	698,833	5%	25%	9%	37%
東部	大都市型	1,085,540	1,121,740	3%	1,088,980	0%	26%	9%	38%
さいたま	大都市型	1,176,314	1,245,165	6%	1,240,702	5%	22%	10%	35%
県央	大都市型	520,164	529,097	2%	510,256	-2%	22%	9%	33%
川越比企	地方都市型	794,810	794,460	0%	761,534	-4%	19%	9%	29%
西部	地方都市型	781,229	784,774	0%	753,821	-4%	20%	10%	32%
利根	地方都市型	662,824	646,133	-3%	604,461	-9%	16%	7%	24%
北部	地方都市型	528,034	510,849	-3%	477,922	-9%	11%	5%	17%
秩父	過疎地域型	114,596	101,618	-11%	88,927	-22%	-1%	-4%	-5%
出典	<人口(2005年)>平成17年国勢調査 都道府県・市区町村別統計表(男女別人口,年齢(3区分)・割合,就業者数,昼間人口など) <人口(2015年、2025年)>日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成25年3月								

11. 埼玉県 (2016年版)

資\_図表 11-29 病院数の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	推計値
全国	9,077	7.1	(3.9)	8,493	6.7	(4.1)	-584	-6%	7,882
埼玉県	363	5.1	45	341	4.7	45	-22	-6%	318
南部	31	4.3	43	28	3.6	43	-3	-10%	25
南西部	32	4.8	44	29	4.1	44	-3	-9%	26
東部	50	4.6	44	47	4.2	44	-3	-6%	44
さいたま	43	3.7	41	37	3.0	41	-6	-14%	30
県央	21	4.0	42	19	3.6	42	-2	-10%	17
川越比企	51	6.4	48	50	6.3	49	-1	-2%	49
西部	56	7.2	50	55	7.0	51	-1	-2%	54
利根	34	5.1	45	33	5.1	46	-1	-3%	32
北部	35	6.6	49	34	6.7	50	-1	-3%	33
秩父	10	8.7	54	9	8.9	55	-1	-10%	8
出典	<病院数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <病院数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月								

資\_図表 11-30 診療所数の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	推計値
全国	97,051	76	(20)	100,461	79	(19)	3,410	4%	104,229
埼玉県	3,738	53	39	4,148	58	39	410	11%	4,599
南部	347	48	36	426	55	38	79	23%	513
南西部	310	47	35	347	49	35	37	12%	388
東部	479	44	34	560	50	35	81	17%	649
さいたま	753	64	44	879	71	46	126	17%	1,018
県央	259	50	37	284	54	37	25	10%	312
川越比企	439	55	40	442	56	38	3	1%	445
西部	401	51	38	423	54	37	22	5%	447
利根	318	48	36	332	51	36	14	4%	347
北部	345	65	45	369	72	46	24	7%	395
秩父	87	76	50	86	85	53	-1	-1%	85
出典	<診療所数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <診療所数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月								

資\_図表 11-31 医師数の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	推計値
全国	270,371	212	(84)	311,205	246	(98)	40,834	15%	356,135
埼玉県	9,454	134	41	11,503	160	41	2,049	22%	13,759
南部	903	125	40	1,107	144	40	204	23%	1,331
南西部	632	95	36	808	115	37	176	28%	1,002
東部	1,263	116	39	1,688	150	40	425	34%	2,156
さいたま	1,675	142	42	2,183	175	43	508	30%	2,742
県央	611	117	39	806	152	41	195	32%	1,021
川越比企	1,707	215	50	1,774	223	48	67	4%	1,848
西部	1,174	150	43	1,508	192	45	334	28%	1,875
利根	664	100	37	760	118	37	96	14%	866
北部	671	127	40	719	141	39	48	7%	772
秩父	154	134	41	150	148	40	-4	-3%	146
出典	<総医師数2004年>平成16年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成16年12月 <総医師数2014年>平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月								

資\_図表 11-32 総病床数(精神科を含む)の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年
	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	推計値
全国	1,812,554	142	(56)	1,680,625	133	(57)	-131,929	-7%	1,535,514
埼玉県	66,638	94	42	65,056	90	42	-1,582	-2%	63,315
南部	5,451	75	38	5,395	70	39	-56	-1%	5,333
南西部	5,485	82	39	5,055	72	39	-430	-8%	4,582
東部	10,023	92	41	9,630	86	42	-393	-4%	9,198
さいたま	8,585	73	38	8,286	67	38	-299	-3%	7,957
県央	4,455	86	40	4,277	81	41	-178	-4%	4,081
川越比企	10,667	134	49	9,883	124	49	-784	-7%	9,021
西部	9,188	118	46	9,972	127	49	784	9%	10,834
利根	5,870	89	40	5,989	93	43	119	2%	6,120
北部	5,833	110	44	5,595	110	46	-238	-4%	5,333
秩父	1,081	94	42	974	96	43	-107	-10%	856
出典	<総病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <総病床数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月								

11. 埼玉県 (2016年版)

資\_図表 11-33 一般病床数(病院+診療所)の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年(推計値)	
	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	数	人口 1万 当り
全国	1,068,821	84	(28)	995,170	79	(27)	-73,651	-7%	914,162	76
埼玉県	38,328	54	40	38,499	53	41	171	0%	38,686	55
南部	3,482	48	37	3,446	45	38	-36	-1%	3,406	44
南西部	2,820	42	35	3,111	44	37	291	10%	3,431	49
東部	6,210	57	41	5,920	53	41	-290	-5%	5,601	51
さいたま	5,589	48	37	5,733	46	38	144	3%	5,891	47
県央	3,143	60	42	2,766	52	40	-377	-12%	2,351	46
川越比企	5,590	70	45	5,339	67	46	-251	-4%	5,063	66
西部	4,252	54	40	4,860	62	44	608	14%	5,529	73
利根	3,653	55	40	3,831	59	43	178	5%	4,027	67
北部	3,038	58	41	2,939	58	42	-99	-3%	2,830	59
秩父	551	48	37	554	55	41	3	1%	557	63
出典	<一般病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <一般病床数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月									

資\_図表 11-34 療養病床数(病院+診療所)の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年(推計値)	
	数	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	数	75歳以上 1,000人 当り
全国	373,823	32	(18)	339,554	21	(12)	-34,269	-9%	301,883	14
埼玉県	14,564	33	50	11,961	16	46	-2,603	-18%	9,099	8
南部	1,169	29	48	941	13	43	-228	-20%	690	7
南西部	1,522	45	57	838	12	43	-684	-45%	86	1
東部	2,015	38	53	1,606	14	45	-409	-20%	1,156	6
さいたま	1,701	23	45	1,332	11	41	-369	-22%	926	5
県央	633	21	44	769	14	44	136	21%	919	10
川越比企	2,069	39	54	1,919	22	51	-150	-7%	1,754	13
西部	3,107	60	66	2,595	29	57	-512	-16%	2,032	14
利根	742	15	40	689	9	40	-53	-7%	631	6
北部	1,256	28	48	975	16	46	-281	-22%	666	8
秩父	350	25	46	297	18	48	-53	-15%	239	13
出典	<一般病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <一般病床数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月									

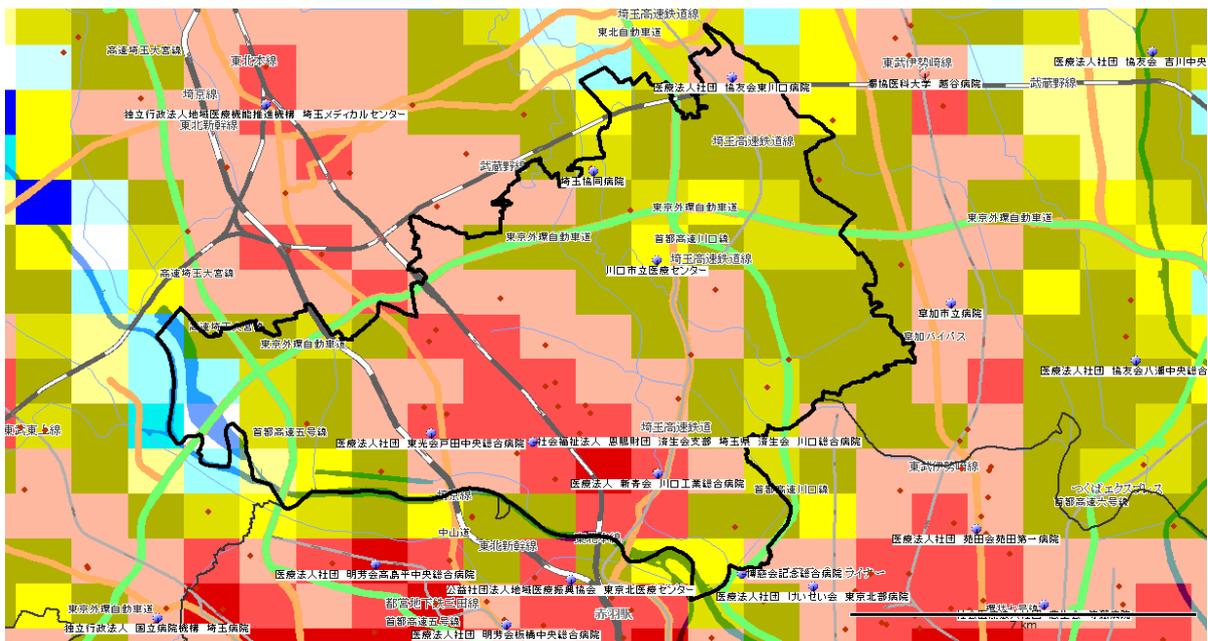
資\_図表 11-35【補足】 市町村国民健康保険 診療種別、1人当たり実績医療費<sup>9</sup>

二次医療圏	医療費総計 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差指数	入院費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差指数	入院外+ 調剤 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差指数
全国	327	(42)	1.000	126	(29)	1.000	177	(17)	1.000
埼玉県	299	43	0.917	106	43	0.844	170	46	0.962
南部	272	37	0.915	97	40	0.854	153	36	0.955
南西部	288	41	0.913	107	43	0.880	158	39	0.925
東部	292	42	0.907	103	42	0.835	165	43	0.946
さいたま	301	44	0.924	99	40	0.788	177	50	1.007
県央	309	46	0.903	103	42	0.781	182	53	0.979
川越比企	311	46	0.925	114	46	0.879	174	48	0.956
西部	298	43	0.896	107	43	0.838	168	45	0.932
利根	320	48	0.934	115	46	0.873	181	52	0.975
北部	310	46	0.944	114	46	0.904	174	48	0.980
秩父	317	47	0.926	112	45	0.849	181	53	0.981
出典	平成26年度医療費の地域差分析 厚生労働省								

# 11-1. なんぶ 南部医療圏

構成市区町村<sup>10</sup> [川口市](#) [蕨市](#) [戸田市](#)

人口分布<sup>1</sup> (1km<sup>2</sup>区画単位)



## (南部医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

\*人口、面積など： 南部(川口市)は、総人口約770千人(2015年推計)、面積85km<sup>2</sup>、人口密度は9036人/km<sup>2</sup>の大都市型二次医療圏である。

\*人口の将来予測： 南部の総人口は2025年に766千人へと減少し(2015年比-1%)、2040年に723千人へと減少する(2025年比-6%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の73千人が、2025年にかけて106千人へと増加し(2015年比+45%)、2040年には110千人へと増加する(2025年比+4%)ことが予想される。

\*医療費と介護給付費： 南部の一人当たり医療費(国保)は265千円(偏差値37)、介護給付費は213千円(偏差値39)であり、医療費、介護給付費ともに低い。

## 【医療の現状】

\*入院医療の充実度： 南部の一人当たり急性期医療密度指数<sup>2</sup>は0.72、一人当たり慢性期医療密度指数<sup>2</sup>は0.46で、急性期の医療は少ないが、慢性期の医療はかなり少ない。

\*医師・看護師の現状： 総医師数<sup>3</sup>の偏差値が40(病院医師数41、診療所医師数40)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は36と少ない。

\*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は37で、一般病床は少ない。全身麻酔数の偏差値は42と少ない。南部には、年間全身麻酔件数が2000例以上の川口市立医療センター(Ⅲ群・救命)、1000例以上の戸田中央総合病院(Ⅲ群)、埼玉協同病院(Ⅲ群)、済生会川口総合病院(Ⅲ群)がある。

\*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は43と療養病床数は少ない。

\*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値42と少なく、回復期病床数は偏差値45とやや少ない。

\*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は44で精神病床数は少ない。

\*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は38で診療所数は少ない。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状： 南部の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、9468人(75歳以上1000人当たりの偏差値68)と全国平均レベルを大きく上回る。そのうち、介護保険施設の定員が4306床(偏差値50)、高齢者住宅等が5162床(偏差値71)である。介護保険施設は全国平均レベルであるが、高齢者住宅等は全国平均レベルを大きく上回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、5936人(75歳以上1000人当たりの偏差値54)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設40、特別養護老人ホーム55、介護療養型医療施設51、有料老人ホーム79、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム48、サ高住56である。

\*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値46とやや少なく、在宅療養支援病院は偏差値52と全国平均レベルである。また、訪問看護ステーションは偏差値43と少ない。介護職員(在宅)の合計は、1009人(75歳以上1000人当たりの偏差値51)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

\*介護の2040年の需要予測： 2040年の介護充足度指数<sup>4</sup>は-16%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

## 2. 推移と将来推計

### 【人口と医療需要】

南部医療圏の総人口は、2005年725140人が、2015年に770261人と6%増加し、2025年の人口が765610人と予測され、2005年→2025年の間に6%程度の増加が予測されている。

医療の需要は、2005年から2015年に22%増加し、2015年から2025年にかけて7%程度の増加が予測される。

### 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

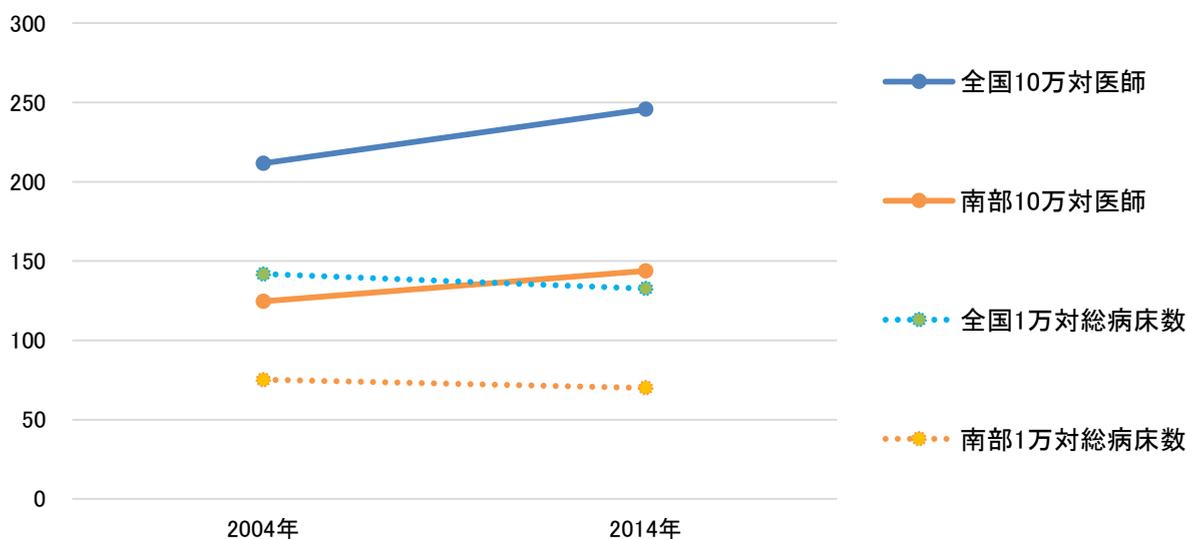
2004年の病院数が31(人口10万人当たり4.3病院(全国平均7.1)偏差値43)であったが、2014年に28(人口10万人当たり3.6病院(全国平均6.7)偏差値43)となり、10年間で3病院が減少した。

2004年の診療所数が347(人口10万人当たり48診療所(全国平均76)偏差値36)であったが、2014年に426(人口10万人当たり55診療所(全国平均79)偏差値38)と、79診療所が増加した。

2004年の総病床数が5451床(人口1万人当たり75(全国平均142)偏差値38)であったが、2014年に5395床(人口1万人当たり70(全国平均133)偏差値39)と、56床の減少、率にして1%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

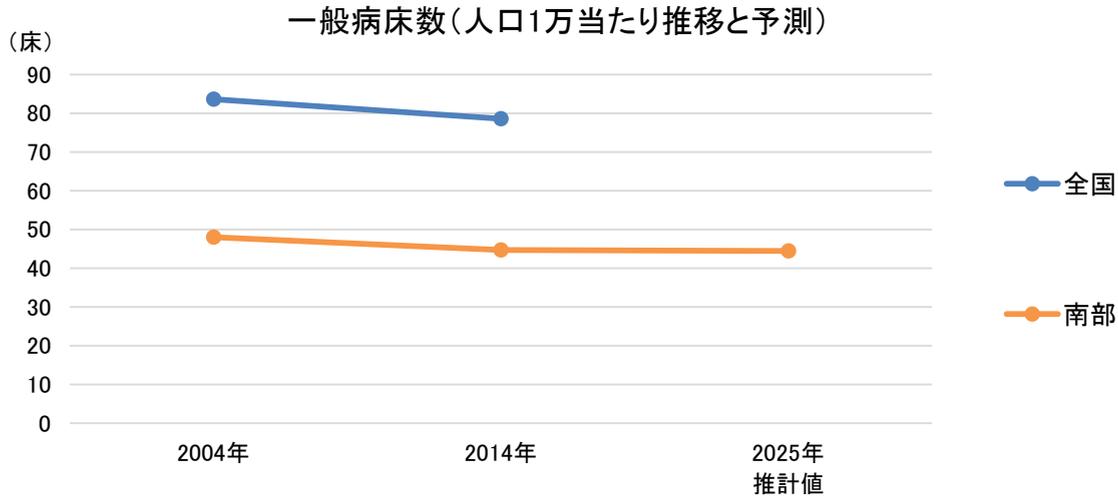
2004年には病院と診療所合わせての医師数<sup>3</sup>が903人(人口10万人当たり125人(全国平均212人)偏差値40)であったが、2014年に1107人(人口10万人当たり144人(全国平均246人)偏差値40)と、204人の増加、率にして23%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。

2004→2014年 人口当たり医師数・病床数



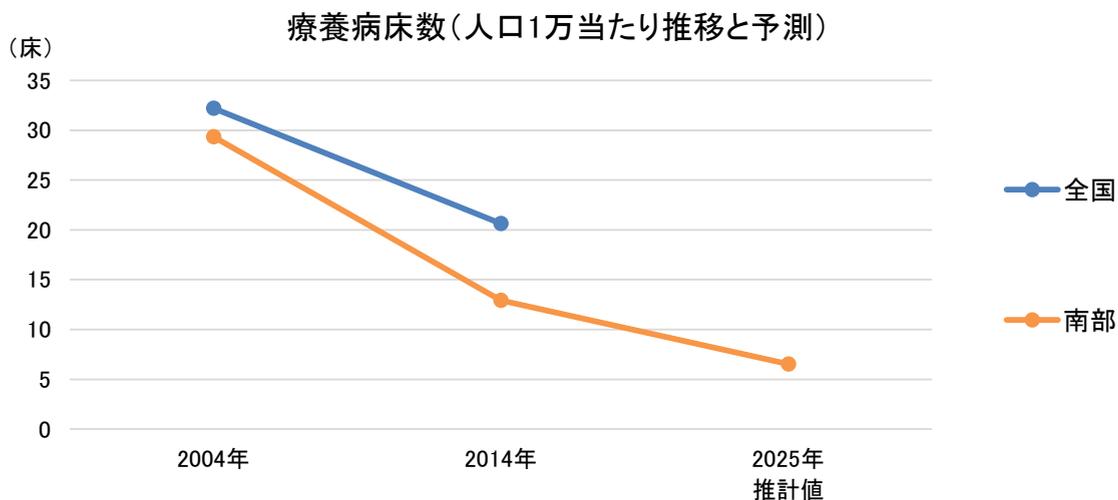
### 【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が3482床(人口1万人当たり48(全国平均84)偏差値37)であったが、2014年に3446床(人口1万人当たり45(全国平均79)偏差値38)と、36床の減少、率にして1%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には3406床(2025年の推計人口1万人当たり44)になることが予想される。



### 【療養病床の推移と今後の予測】

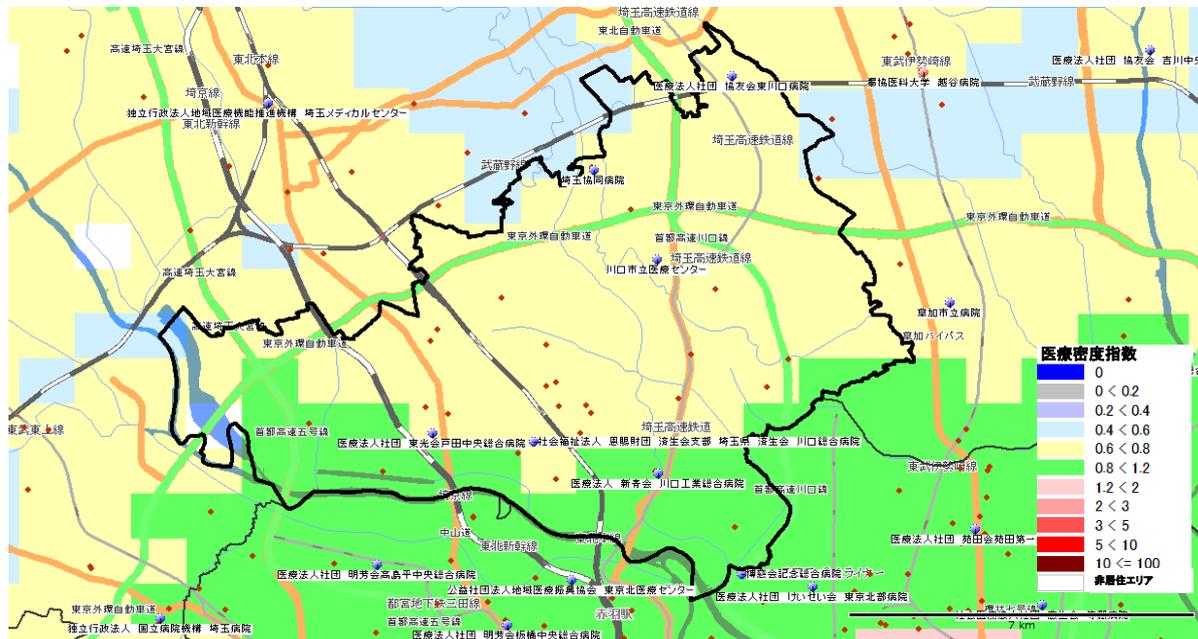
2004年の療養病床(病院+診療所)が1169床(75歳以上1000人当たり29(全国平均32)偏差値48)であったが、2014年に941床(75歳以上1000人当たり13(全国平均21)偏差値43)と、228床の減少、率にして20%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には690床(2025年の推計75歳以上1000人当たり7)になることが予想される。



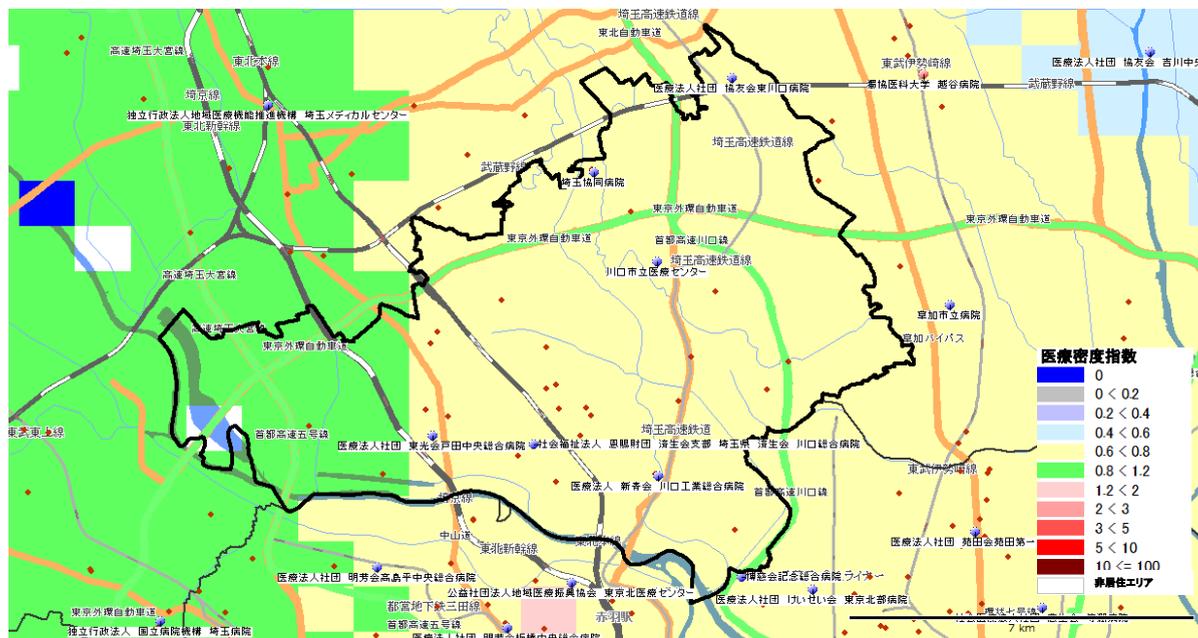
# 11. 埼玉県 (2016年版)

## 3. 医療密度<sup>5</sup>

図表11-1-1 急性期医療密度指数マップ



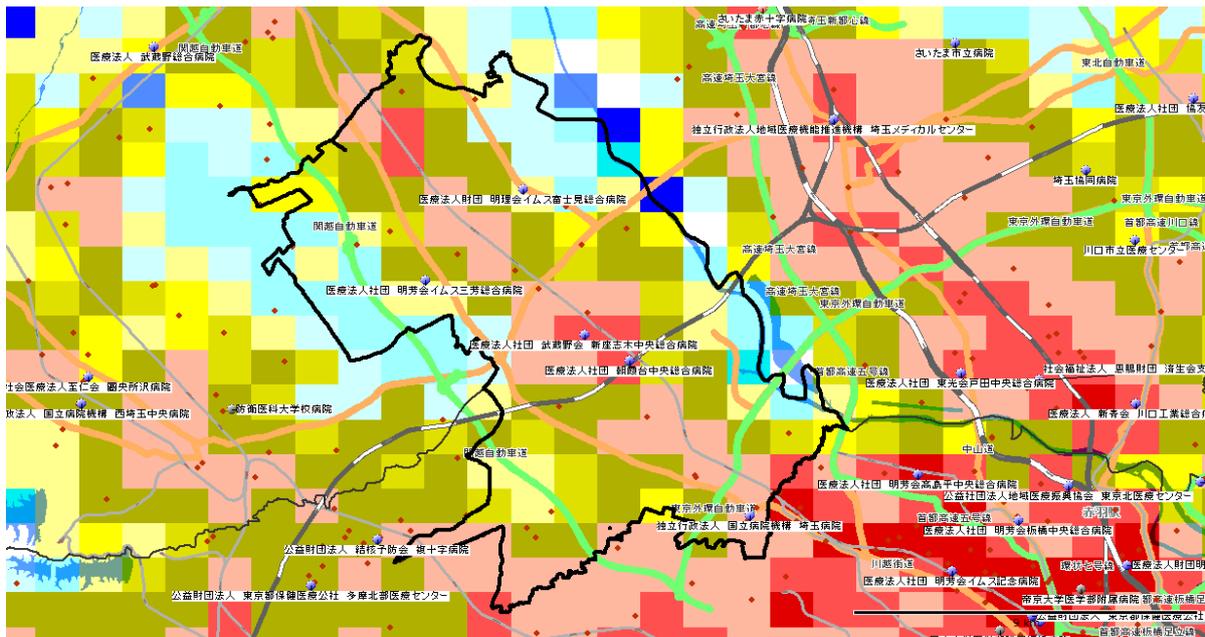
図表11-1-2 慢性期医療密度指数マップ



# 11-2. なんせいぶ 南西部医療圏

構成市区町村<sup>10</sup> [朝霞市](#) [志木市](#) [和光市](#) [新座市](#)  
[富士見市](#) [ふじみ野市](#) [三芳町](#)

人口分布<sup>1</sup> (1km<sup>2</sup>区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



Ⅲ群

一般病院

(南西部医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

\*人口、面積など： 南西部(朝霞市)は、総人口約702千人(2015年推計)、面積111km<sup>2</sup>、人口密度は6326人/km<sup>2</sup>の大都市型二次医療圏である。

\*人口の将来予測： 南西部の総人口は2025年に699千人とほぼ変わらず(2015年比±0%)、2040年に658千人へと減少する(2025年比-6%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の70千人が、2025年にかけて108千人へと増加し(2015年比+54%)、2040年には112千人へと増加する(2025年比+4%)ことが予想される。

\*医療費と介護給付費： 南西部の一人当たり医療費(国保)は280千円(偏差値41)、介護給付費は181千円(偏差値30)であり、医療費は低く、介護給付費は非常に低い。

【医療の現状】

\*入院医療の充実度： 南西部の一人当たり急性期医療密度指数<sup>2</sup>は0.64、一人当たり慢性期医療密度指数<sup>2</sup>は0.65で、急性期の医療も慢性期の医療も少ない。

\*医師・看護師の現状： 総医師数<sup>3</sup>の偏差値が37(病院医師数37、診療所医師数38)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は35と少ない。

\*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は37で、一般病床は少ない。全身麻酔数の偏差値は42と少ない。南西部には、年間全身麻酔件数が2000例以上の国立病院機構埼玉病院(Ⅲ群)、1000例以上の朝霞中央総合病院(Ⅲ群)、500例以上の新座志木中央総合病院(Ⅲ群)、イムス富士見総合病院(Ⅲ群)、イムス三芳総合病院(Ⅲ群)がある。

\*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は43と療養病床数は少ない。

\*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値42と少なく、回復期病床数は偏差値43と少ない。

\*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は45で精神病床数はやや少ない。

\*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は35で診療所数は少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状： 南西部の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、7970人(75歳以上1000人当たりの偏差値59)と全国平均レベルを上回る。そのうち、介護保険施設の定員が4462床(偏差値53)、高齢者住宅等が3508床(偏差値57)である。介護保険施設は全国平均レベルをやや上回り、高齢者住宅等は全国平均レベルを上回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、4835人(75歳以上1000人当たりの偏差値43)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設62、特別養護老人ホーム50、介護療養型医療施設43、有料老人ホーム55、軽費ホーム47、グループホーム44、サ高住64である。

\*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値41と少なく、在宅療養支援病院は偏差値48と全国平均レベルである。また、訪問看護ステーションは偏差値46とやや少ない。介護職員(在宅)の合計は、607人(75歳以上1000人当たりの偏差値41)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

\*介護の2040年の需要予測： 2040年の介護充足度指数<sup>4</sup>は-42%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

## 2. 推移と将来推計

### 【人口と医療需要】

南西部医療圏の総人口は、2005年665592人が、2015年に701917人と5%増加し、2025年の人口が698833人と予測され、2005年→2025年の間に5%程度の増加が予測されている。

医療の需要は、2005年から2015年に25%増加し、2015年から2025年にかけて9%程度の増加が予測される。

### 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

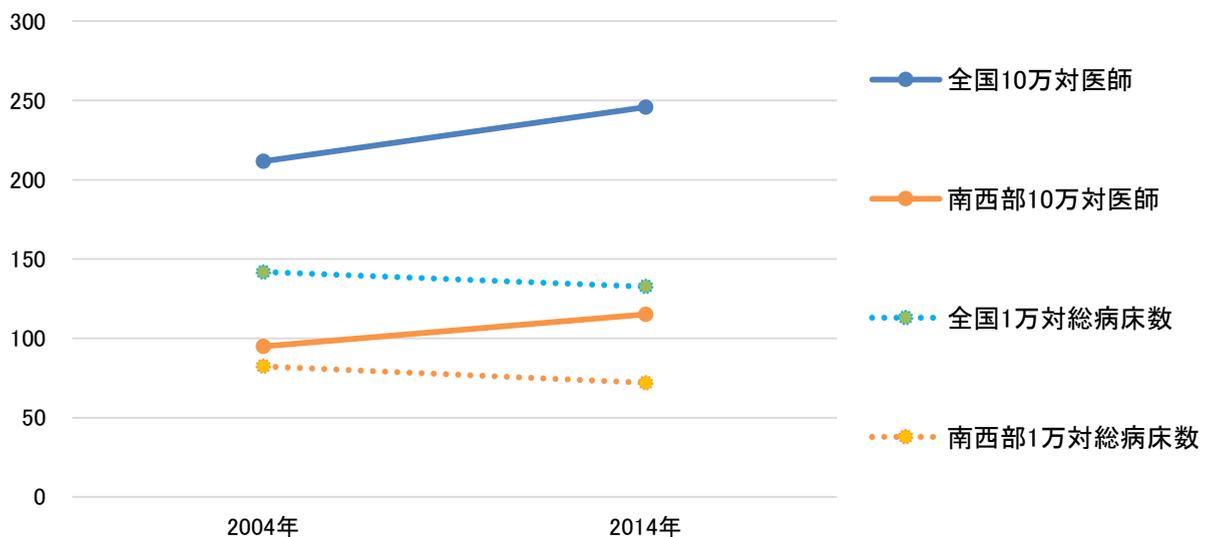
2004年の病院数が32(人口10万人当たり4.8病院(全国平均7.1)偏差値44)であったが、2014年に29(人口10万人当たり4.1病院(全国平均6.7)偏差値44)となり、10年間で3病院が減少した。

2004年の診療所数が310(人口10万人当たり47診療所(全国平均76)偏差値35)であったが、2014年に347(人口10万人当たり49診療所(全国平均79)偏差値35)と、37診療所が増加した。

2004年の総病床数が5485床(人口1万人当たり82(全国平均142)偏差値39)であったが、2014年に5055床(人口1万人当たり72(全国平均133)偏差値39)と、430床の減少、率にして8%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての医師数<sup>3</sup>が632人(人口10万人当たり95人(全国平均212人)偏差値36)であったが、2014年に808人(人口10万人当たり115人(全国平均246人)偏差値37)と、176人の増加、率にして28%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。

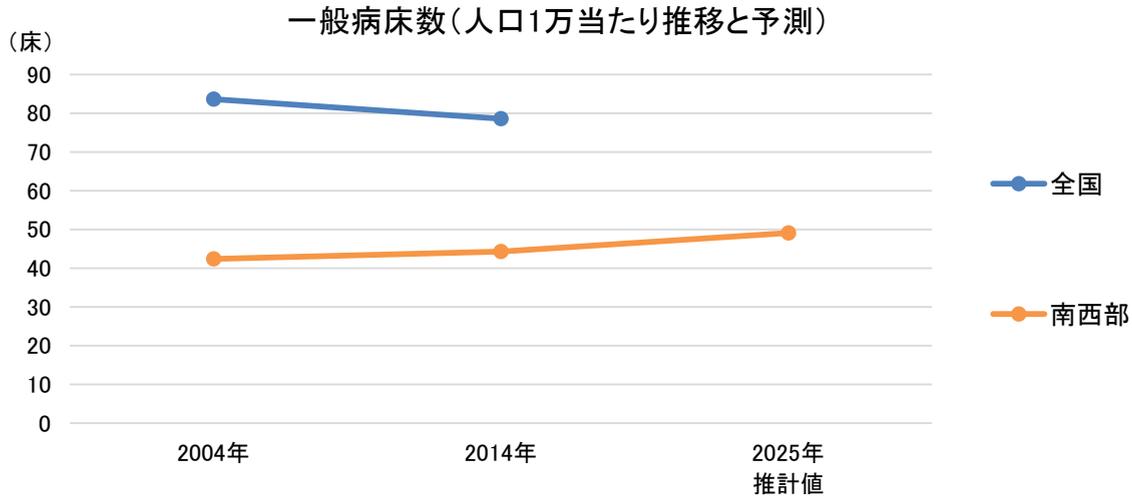
2004→2014年 人口当たり医師数・病床数



## 11. 埼玉県 (2016年版)

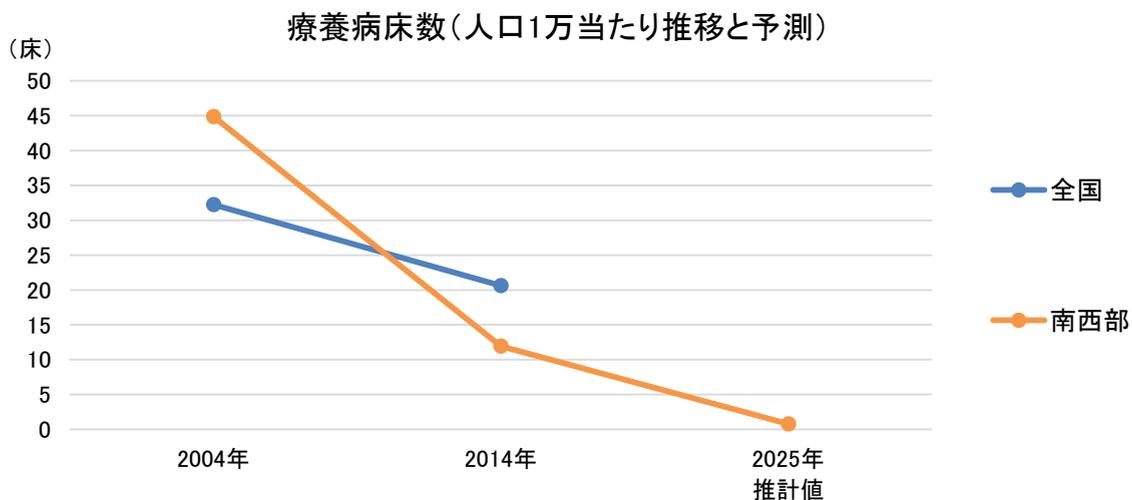
### 【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が2820床(人口1万人当たり42(全国平均84)偏差値35)であったが、2014年に3111床(人口1万人当たり44(全国平均79)偏差値37)と、291床の増加、率にして10%の増加(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で増加が続くとすると2025年には3431床(2025年の推計人口1万人当たり49)になることが予想される。



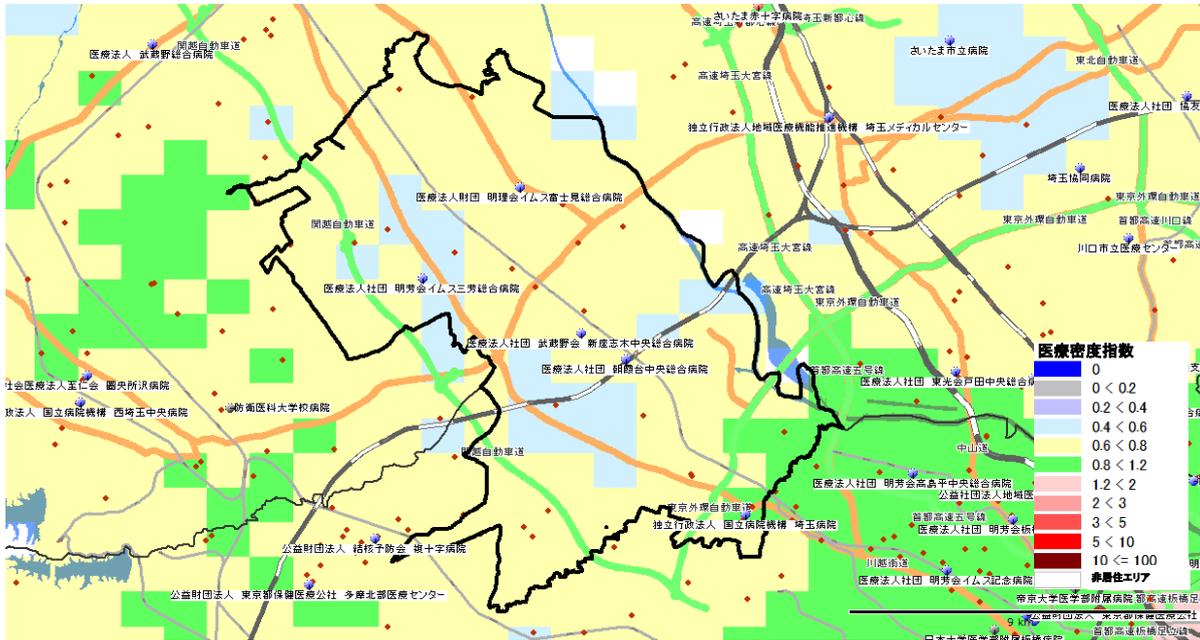
### 【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が1522床(75歳以上1000人当たり45(全国平均32)偏差値57)であったが、2014年に838床(75歳以上1000人当たり12(全国平均21)偏差値43)と、684床の減少、率にして45%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には86床(2025年の推計75歳以上1000人当たり1)になることが予想される。

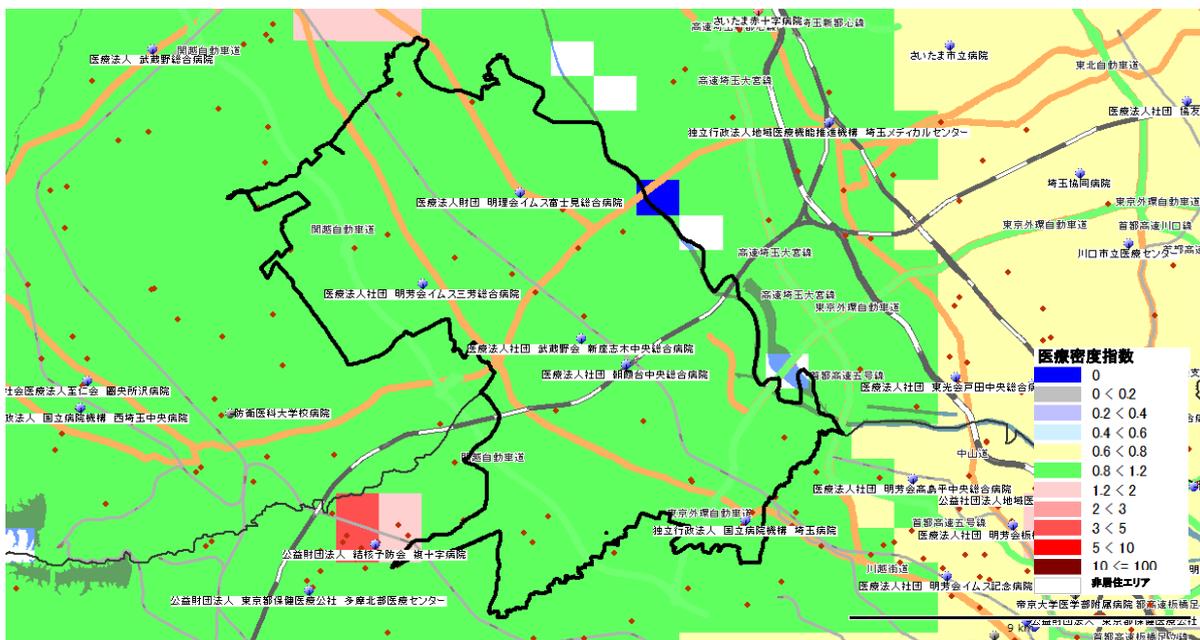


3. 医療密度<sup>5</sup>

図表11-2-1 急性期医療密度指数マップ



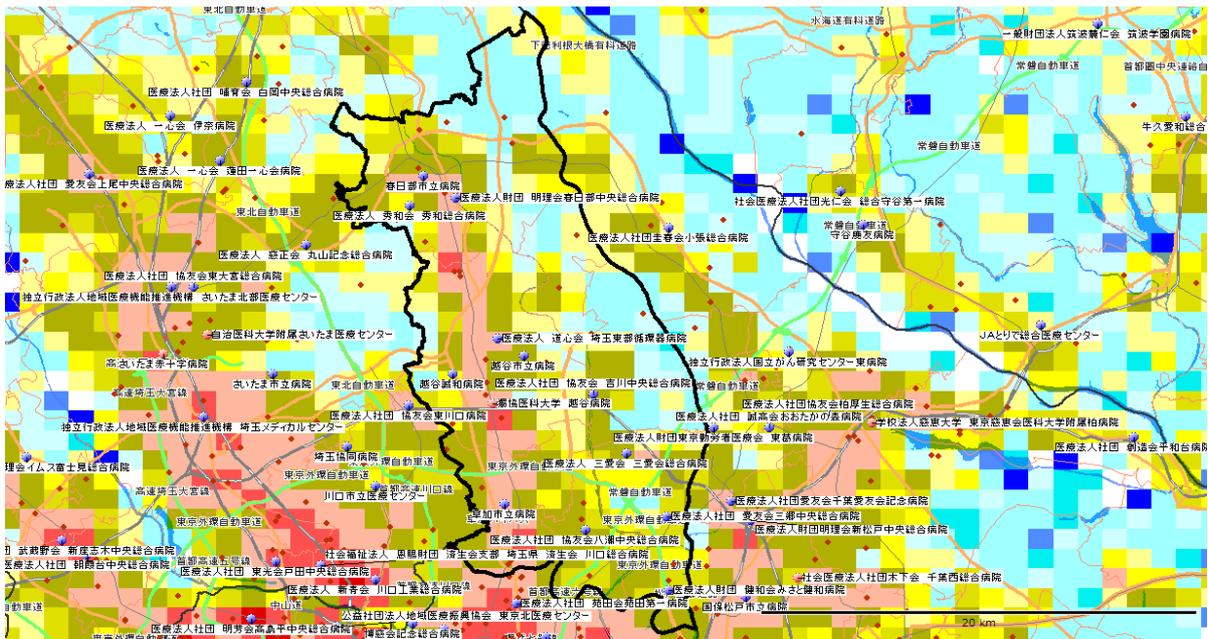
図表11-2-2 慢性期医療密度指数マップ



# 11-3. とうぶ 東部医療圏

構成市区町村<sup>10</sup> [春日部市](#) [草加市](#) [越谷市](#) [八潮市](#)  
[三郷市](#) [吉川市](#) [松伏町](#)

人口分布<sup>1</sup> (1km<sup>2</sup>区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



Ⅲ群  
一般病院

## (東部医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

\*人口、面積など： 東部(春日部市)は、総人口約1122千人(2015年推計)、面積250km<sup>2</sup>、人口密度は4491人/km<sup>2</sup>の大都市型二次医療圏である。

\*人口の将来予測： 東部の総人口は2025年に1089千人へと減少し(2015年比-3%)、2040年に975千人へと減少する(2025年比-10%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の112千人が、2025年にかけて187千人へと増加し(2015年比+67%)、2040年には179千人へと減少する(2025年比-4%)ことが予想される。

\*医療費と介護給付費： 東部の一人当たり医療費(国保)は284千円(偏差値42)、介護給付費は174千円(偏差値29)であり、医療費は低く、介護給付費は非常に低い。

## 【医療の現状】

\*入院医療の充実度： 東部の一人当たり急性期医療密度指数<sup>2</sup>は0.66、一人当たり慢性期医療密度指数<sup>2</sup>は0.45で、急性期の医療は少ないが、慢性期の医療はかなり少ない。

\*医師・看護師の現状： 総医師数<sup>3</sup>の偏差値が41(病院医師数42、診療所医師数39)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は38と少ない。

\*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は40で、一般病床は少ない。全身麻酔数の偏差値は44と少ない。東部には、年間全身麻酔件数が2000例以上の越谷市立病院(Ⅲ群)、獨協医科大学越谷病院(Ⅱ群・救命)、1000例以上の草加市立病院(Ⅲ群)、秀和総合病院(Ⅲ群)、春日部中央総合病院(Ⅲ群)、500例以上の三郷中央総合病院(Ⅲ群)、みさと健和病院(Ⅲ群)、越谷誠和病院(Ⅲ群)、春日部市立病院(Ⅲ群)がある。

\*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は44と療養病床数は少ない。

\*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値47とやや少なく、回復期病床数は偏差値50と全国平均レベルである。

\*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は46で精神病床数はやや少ない。

\*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は35で診療所数は少ない。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状： 東部の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、12394人(75歳以上1000人当たりの偏差値57)と全国平均レベルを上回る。そのうち、介護保険施設の定員が5773床(偏差値44)、高齢者住宅等が6621床(偏差値63)である。介護保険施設は全国平均レベルを下回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを上回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、7121人(75歳以上1000人当たりの偏差値39)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設45、特別養護老人ホーム46、介護療養型医療施設47、有料老人ホーム69、軽費ホーム45、グループホーム44、サ高住57である。

\*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値40と少なく、在宅療養支援病院は偏差値48と全国平均レベルである。また、訪問看護ステーションは偏差値43と少ない。介護職員(在宅)の合計は、1170人(75歳以上1000人当たりの偏差値44)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

\*介護の2040年の需要予測： 2040年の介護充足度指数<sup>4</sup>は-43%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

## 2. 推移と将来推計

### 【人口と医療需要】

東部医療圏の総人口は、2005年1085540人が、2015年に1121740人と3%増加し、2025年の人口が1088980人と予測され、2005年→2025年の間に1%未満の増加が予測されている。

医療の需要は、2005年から2015年に26%増加し、2015年から2025年にかけて9%程度の増加が予測される。

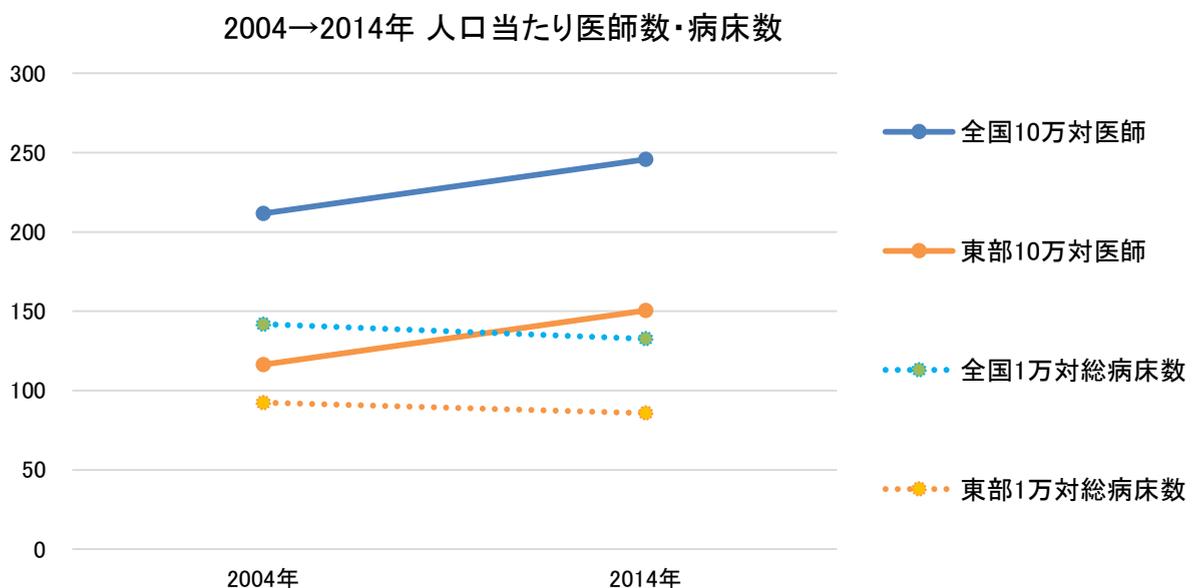
### 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が50(人口10万人当たり4.6病院(全国平均7.1)偏差値44)であったが、2014年に47(人口10万人当たり4.2病院(全国平均6.7)偏差値44)となり、10年間で3病院が減少した。

2004年の診療所数が479(人口10万人当たり44診療所(全国平均76)偏差値34)であったが、2014年に560(人口10万人当たり50診療所(全国平均79)偏差値35)と、81診療所が増加した。

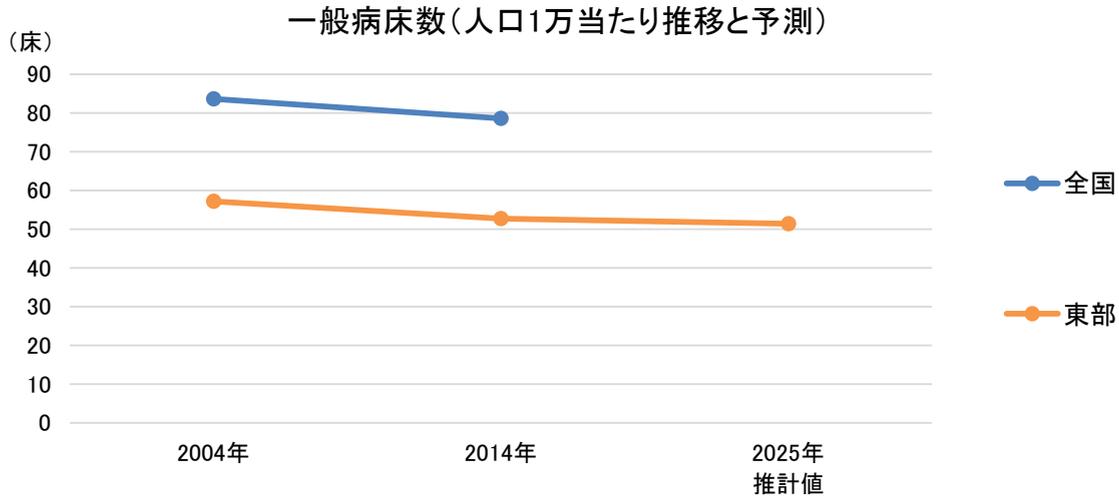
2004年の総病床数が10023床(人口1万人当たり92(全国平均142)偏差値41)であったが、2014年に9630床(人口1万人当たり86(全国平均133)偏差値42)と、393床の減少、率にして4%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての医師数<sup>3</sup>が1263人(人口10万人当たり116人(全国平均212人)偏差値39)であったが、2014年に1688人(人口10万人当たり150人(全国平均246人)偏差値40)と、425人の増加、率にして34%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。



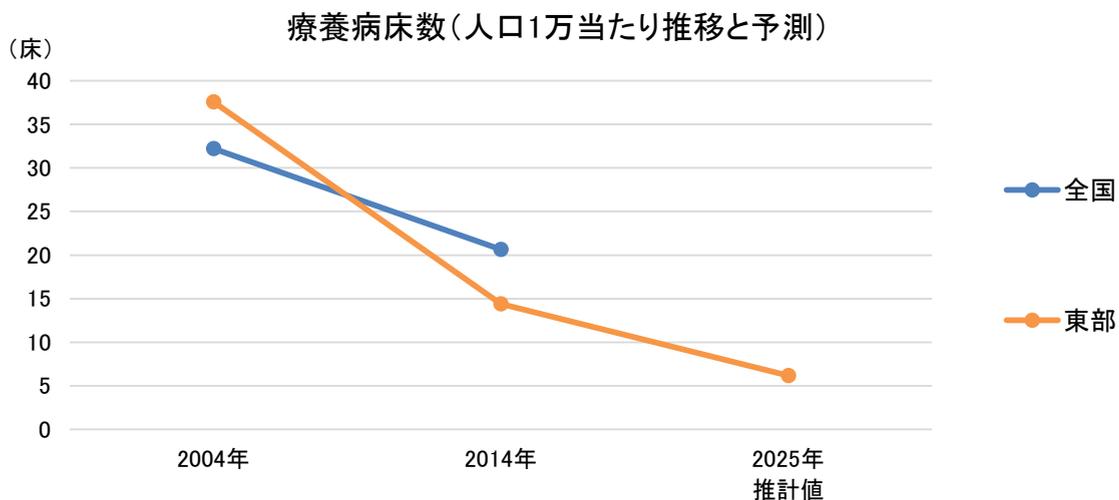
### 【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が6210床(人口1万人当たり57(全国平均84)偏差値41)であったが、2014年に5920床(人口1万人当たり53(全国平均79)偏差値41)と、290床の減少、率にして5%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には5601床(2025年の推計人口1万人当たり51)になることが予想される。



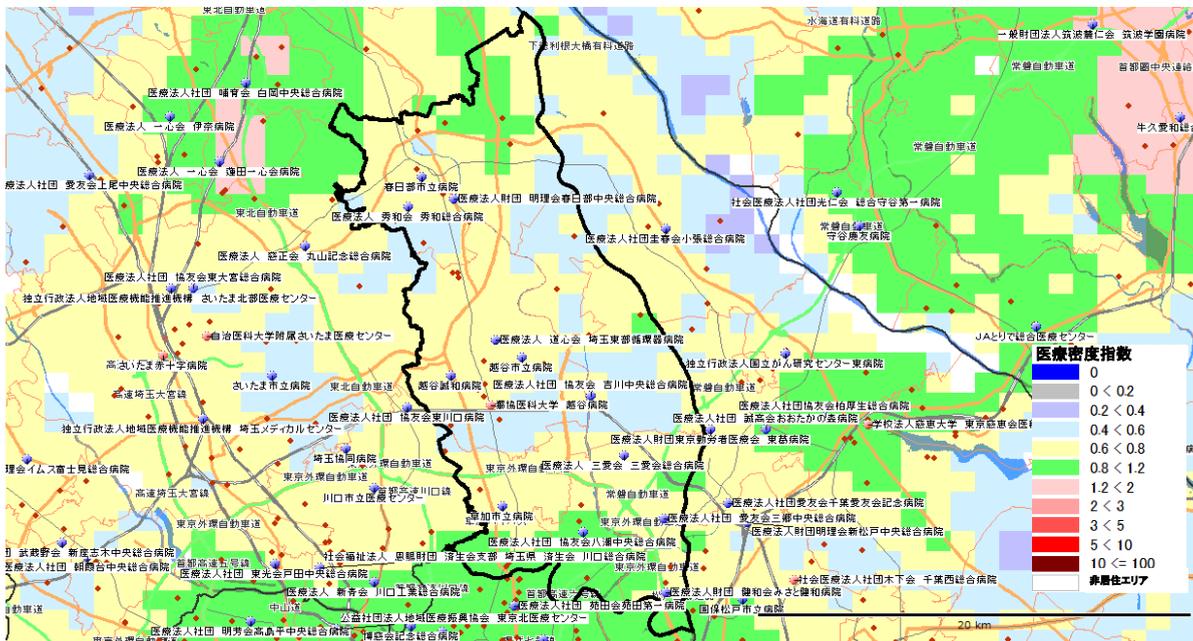
### 【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が2015床(75歳以上1000人当たり38(全国平均32)偏差値53)であったが、2014年に1606床(75歳以上1000人当たり14(全国平均21)偏差値45)と、409床の減少、率にして20%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には1156床(2025年の推計75歳以上1000人当たり6)になることが予想される。



3. 医療密度<sup>5</sup>

図表11-3-1 急性期医療密度指数マップ



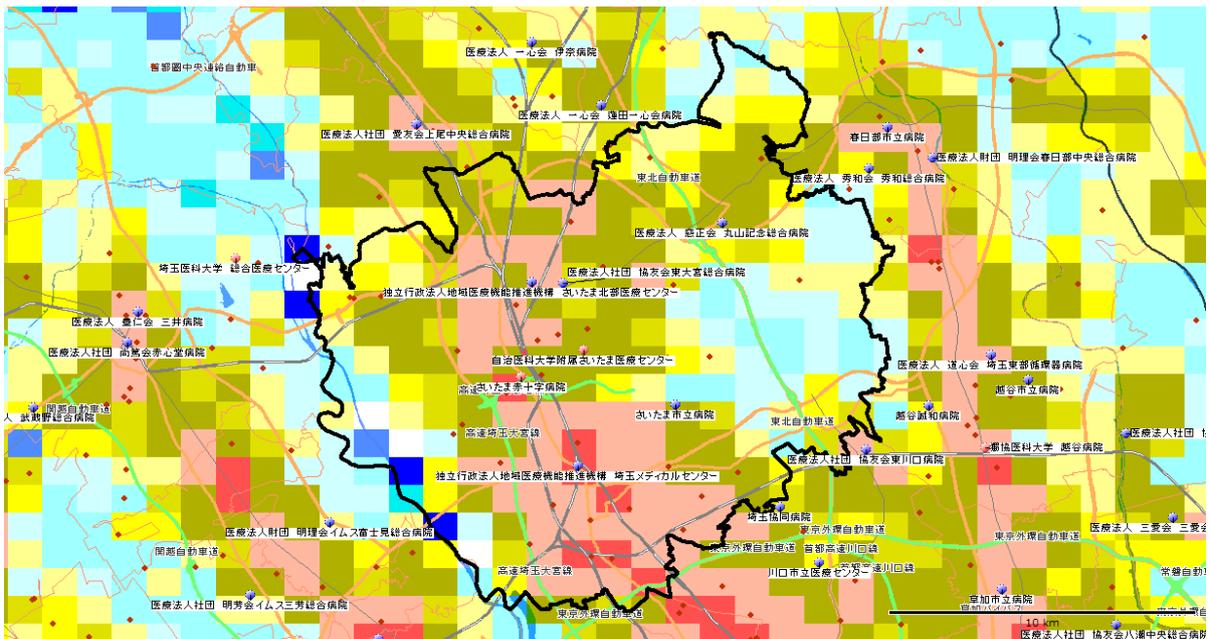
図表11-3-2 慢性期医療密度指数マップ



# 11-4. さいたま医療圏

構成市区町村<sup>10</sup> [西区](#) [北区](#) [大宮区](#) [見沼区](#)  
[中央区](#) [桜区](#) [浦和区](#) [南区](#)  
[緑区](#) [岩槻区](#)

人口分布<sup>1</sup> (1km<sup>2</sup>区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



Ⅲ群  
一般病院

## (さいたま医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

- \*人口、面積など： さいたま(さいたま市西区)は、総人口約1245千人(2015年推計)、面積217km<sup>2</sup>、人口密度は5725人/km<sup>2</sup>の大都市型二次医療圏である。
- \*人口の将来予測： さいたまの総人口は2025年に1241千人とほぼ変わらず(2015年比±0%)、2040年に1168千人へと減少する(2025年比-6%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の127千人が、2025年にかけて191千人へと増加し(2015年比+50%)、2040年には211千人へと増加する(2025年比+10%)ことが予想される。
- \*医療費と介護給付費： さいたまの一人当たり医療費(国保)は294千円(偏差値44)、介護給付費は226千円(偏差値42)であり、医療費、介護給付費ともに低い。

## 【医療の現状】

- \*入院医療の充実度： さいたまの一人当たり急性期医療密度指数<sup>2</sup>は0.65、一人当たり慢性期医療密度指数<sup>2</sup>は0.48で、急性期の医療は少ないが、慢性期の医療はかなり少ない。
- \*医師・看護師の現状： 総医師数<sup>3</sup>の偏差値が42(病院医師数42、診療所医師数45)と、総医師数、病院医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は38と少ない。
- \*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は38で、一般病床は少ない。全身麻酔数の偏差値は41と少ない。さいたまには、年間全身麻酔件数が2000例以上のさいたま市立病院(Ⅲ群)、さいたま赤十字病院(Ⅱ群・救命)、自治医科大学附属さいたま医療センター(Ⅱ群・救命)、1000例以上の埼玉県立小児医療センター(Ⅲ群)、JCHO埼玉メディカルセンター(Ⅲ群)、500例以上の丸山記念総合病院(Ⅲ群)、東大宮総合病院(Ⅲ群)がある。
- \*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は43と療養病床数は少ない。
- \*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値39と少なく、回復期病床数は偏差値43と少ない。
- \*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は42で精神病床数は少ない。
- \*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は46で診療所数はやや少ない。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

- \*介護施設の現状： さいたまの総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、18243人(75歳以上1000人当たりの偏差値77)と全国平均レベルを大きく上回る。そのうち、介護保険施設の定員が8009床(偏差値53)、高齢者住宅等が10234床(偏差値78)である。介護保険施設は全国平均レベルをやや上回り、高齢者住宅等は全国平均レベルを大きく上回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、10107人(75歳以上1000人当たりの偏差値53)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設49、特別養護老人ホーム56、介護療養型医療施設46、有料老人ホーム88、軽費ホーム48、グループホーム42、サ高住61である。

- \*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値57と多く、在宅療養支援病院は偏差値44と少ない。また、訪問看護ステーションは偏差値42と少ない。介護職員(在宅)の合計は、1501人(75歳以上1000人当たりの偏差値47)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

- \*介護の2040年の需要予測： 2040年の介護充足度指数<sup>4</sup>は-13%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

## 2. 推移と将来推計

### 【人口と医療需要】

さいたま医療圏の総人口は、2005年1176314人が、2015年に1245165人と6%増加し、2025年の人口が1240702人と予測され、2005年→2025年の間に5%程度の増加が予測されている。

医療の需要は、2005年から2015年に22%増加し、2015年から2025年にかけて10%程度の増加が予測される。

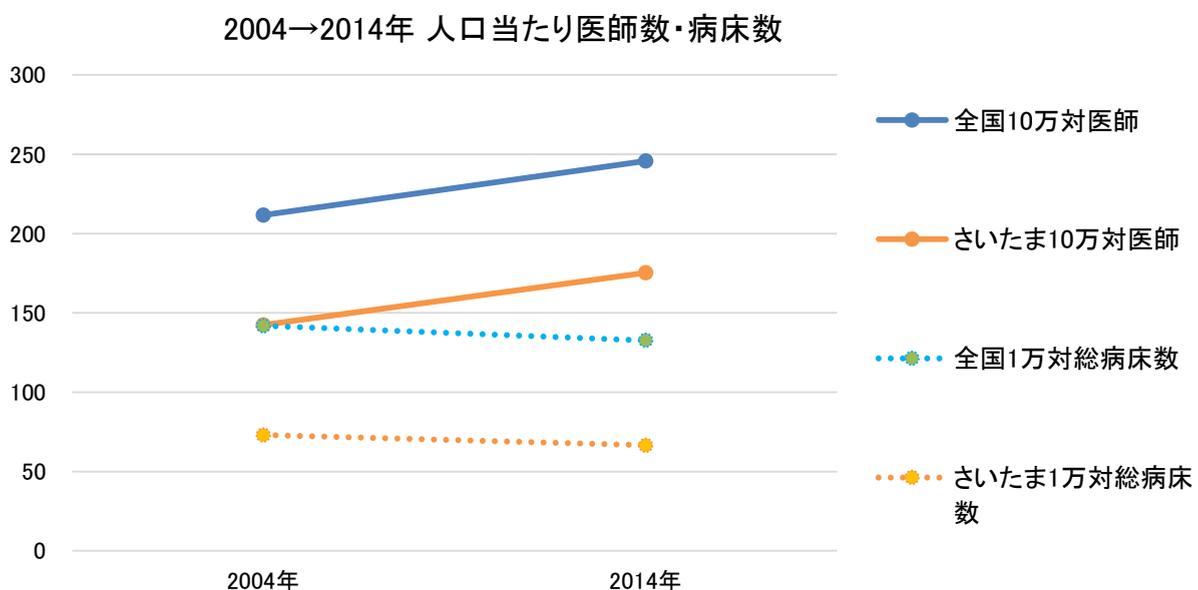
### 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が43(人口10万人当たり3.7病院(全国平均7.1)偏差値41)であったが、2014年に37(人口10万人当たり3病院(全国平均6.7)偏差値41)となり、10年間で6病院が減少した。

2004年の診療所数が753(人口10万人当たり64診療所(全国平均76)偏差値44)であったが、2014年に879(人口10万人当たり71診療所(全国平均79)偏差値46)と、126診療所が増加した。

2004年の総病床数が8585床(人口1万人当たり73(全国平均142)偏差値38)であったが、2014年に8286床(人口1万人当たり67(全国平均133)偏差値38)と、299床の減少、率にして3%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

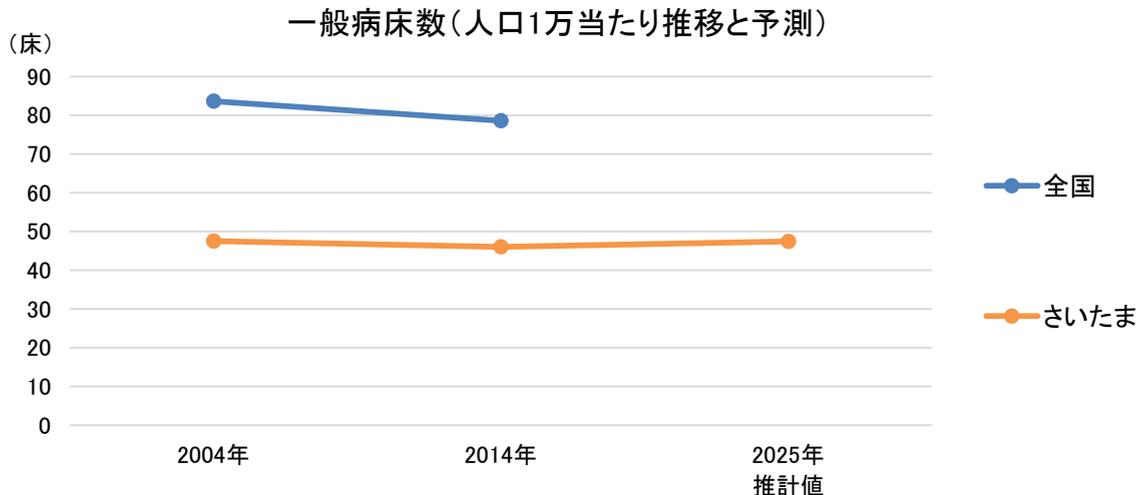
2004年には病院と診療所合わせての医師数<sup>3</sup>が1675人(人口10万人当たり142人(全国平均212人)偏差値42)であったが、2014年に2183人(人口10万人当たり175人(全国平均246人)偏差値43)と、508人の増加、率にして30%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。



## 11. 埼玉県 (2016年版)

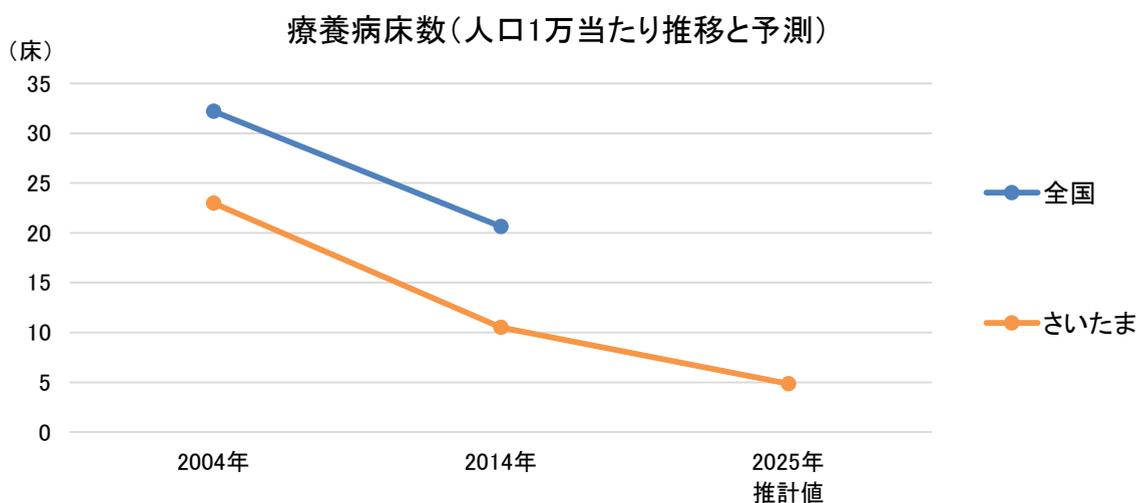
### 【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が5589床(人口1万人当たり48(全国平均84)偏差値37)であったが、2014年に5733床(人口1万人当たり46(全国平均79)偏差値38)と、144床の増加、率にして3%の増加(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で増加が続くとすると2025年には5891床(2025年の推計人口1万人当たり47)になることが予想される。



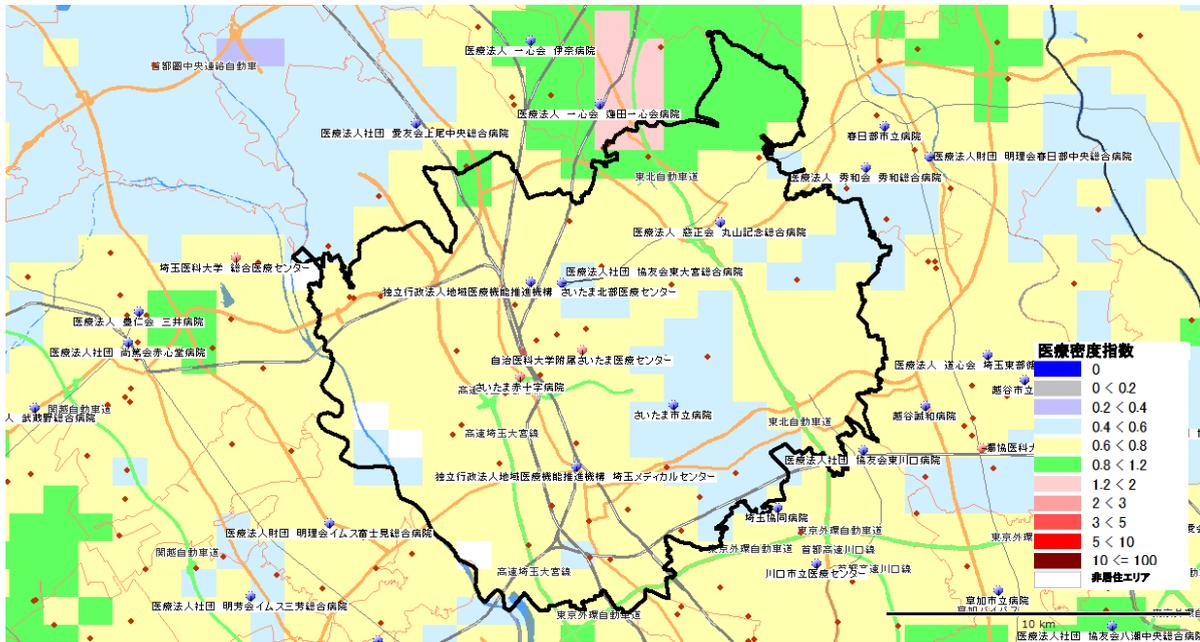
### 【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が1701床(75歳以上1000人当たり23(全国平均32)偏差値45)であったが、2014年に1332床(75歳以上1000人当たり11(全国平均21)偏差値41)と、369床の減少、率にして22%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には926床(2025年の推計75歳以上1000人当たり5)になることが予想される。

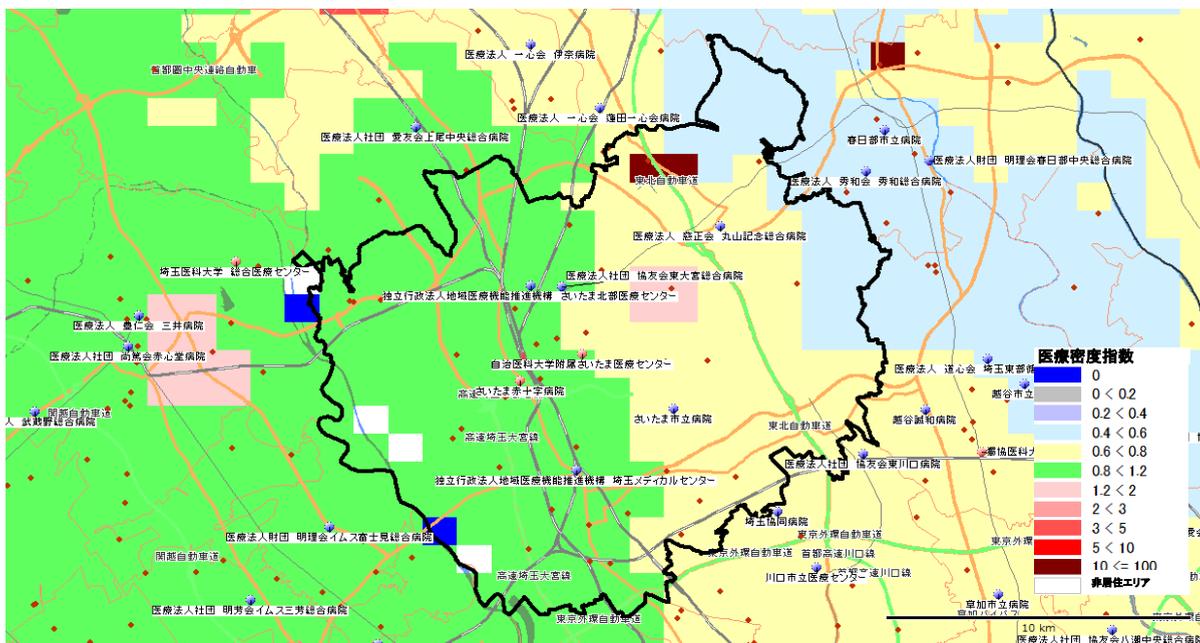


3. 医療密度<sup>5</sup>

図表11-4-1 急性期医療密度指数マップ



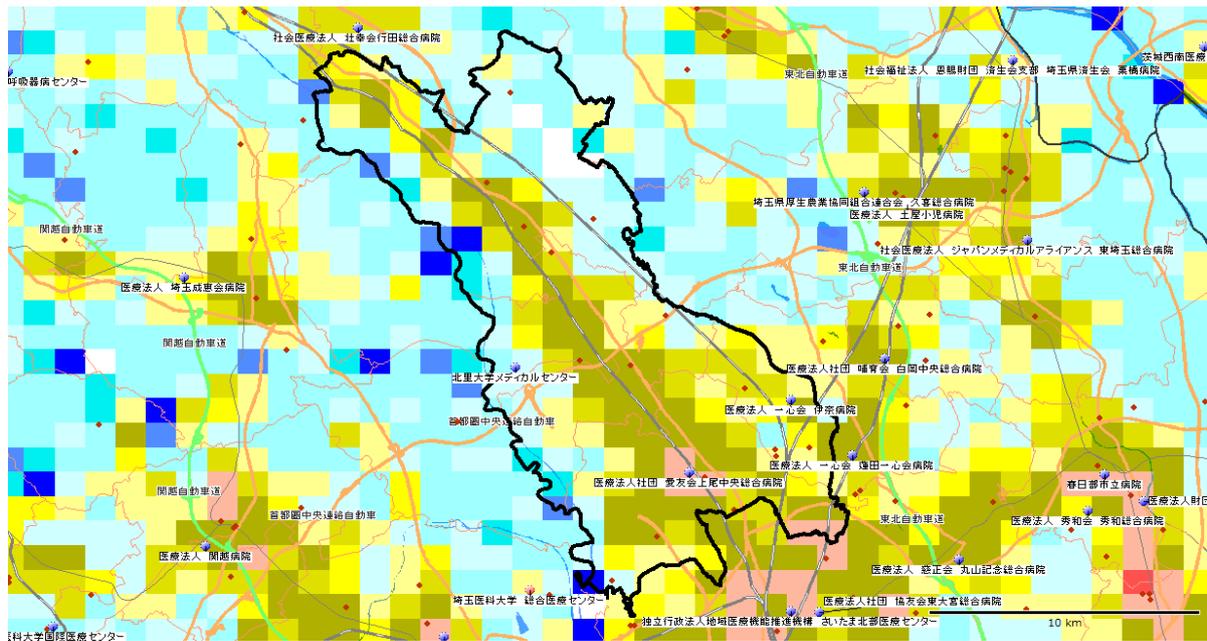
図表11-4-2 慢性期医療密度指数マップ



# 11-5. けんおう 県央医療圏

構成市区町村<sup>10</sup> [鴻巣市](#) [上尾市](#) [桶川市](#) [北本市](#)  
[伊奈町](#)

人口分布<sup>1</sup> (1km<sup>2</sup>区画単位)



## (県央医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

\*人口、面積など： 県央(鴻巣市)は、総人口約529千人(2015年推計)、面積173km<sup>2</sup>、人口密度は3059人/km<sup>2</sup>の大都市型二次医療圏である。

\*人口の将来予測： 県央の総人口は2025年に510千人へと減少し(2015年比-4%)、2040年に453千人へと減少する(2025年比-11%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の57千人が、2025年にかけて90千人へと増加し(2015年比+58%)、2040年には89千人へと減少する(2025年比-1%)ことが予想される。

\*医療費と介護給付費： 県央の一人当たり医療費(国保)は302千円(偏差値46)、介護給付費は182千円(偏差値31)であり、医療費はやや低く、介護給付費は非常に低い。

## 【医療の現状】

\*入院医療の充実度： 県央の一人当たり急性期医療密度指数<sup>2</sup>は0.59、一人当たり慢性期医療密度指数<sup>2</sup>は0.51で、急性期の医療も慢性期の医療もかなり少ない。

\*医師・看護師の現状： 総医師数<sup>3</sup>の偏差値が41(病院医師数42、診療所医師数41)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は41と少ない。

\*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は40で、一般病床は少ない。全身麻酔数の偏差値は47とやや少ない。県央には、年間全身麻酔件数が2000例以上の上尾中央総合病院(Ⅲ群)、埼玉県立がんセンター(Ⅲ群)、1000例以上の北里大学メディカルセンター(Ⅲ群)、500例以上の伊奈病院(Ⅲ群)がある。

\*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は45と療養病床数はやや少ない。

\*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値45とやや少なく、回復期病床数は偏差値46とやや少ない。

\*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は44で精神病床数は少ない。

\*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は37で診療所数は少ない。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状： 県央の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、6127人(75歳以上1000人当たりの偏差値55)と全国平均レベルをやや上回る。そのうち、介護保険施設の定員が4218床(偏差値62)、高齢者住宅等が1909床(偏差値46)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルをやや下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、4120人(75歳以上1000人当たりの偏差値47)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設62、特別養護老人ホーム62、介護療養型医療施設なし(偏差値40)、有料老人ホーム51、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム44、サ高住47である。

\*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値44と少なく、在宅療養支援病院は偏差値42と少ない。また、訪問看護ステーションは偏差値39と少ない。介護職員(在宅)の合計は、477人(75歳以上1000人当たりの偏差値41)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

\*介護の2040年の需要予測： 2040年の介護充足度指数<sup>4</sup>は-39%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

## 2. 推移と将来推計

### 【人口と医療需要】

県央医療圏の総人口は、2005年520164人が、2015年に529097人と2%増加し、2025年の人口が510256人と予測され、2005年→2025年の間に2%程度の減少が予測されている。

医療の需要は、2005年から2015年に22%増加し、2015年から2025年にかけて9%程度の増加が予測される。

### 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

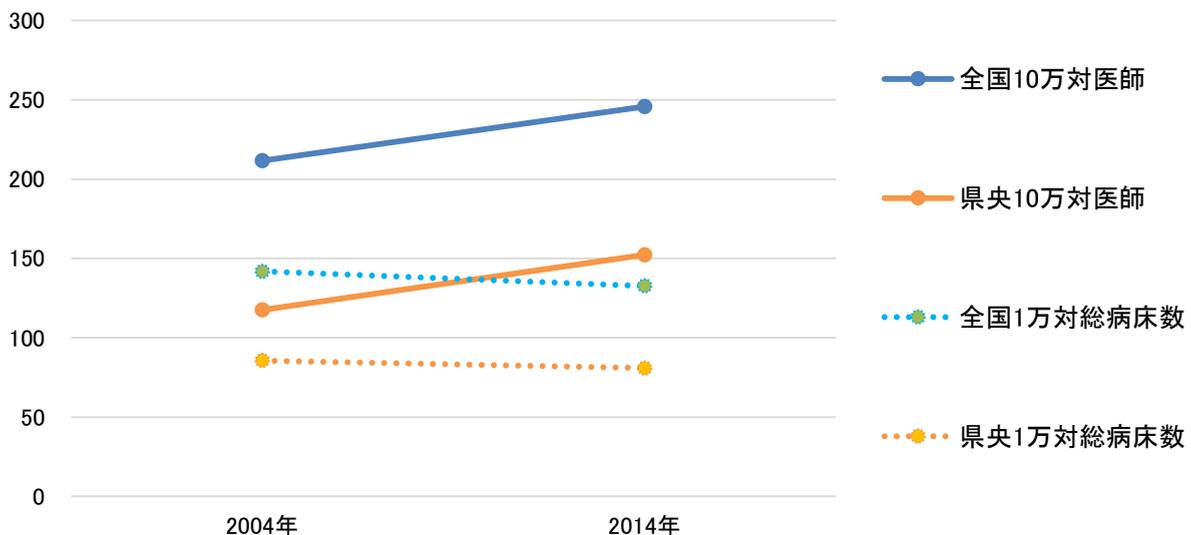
2004年の病院数が21(人口10万人当たり4病院(全国平均7.1)偏差値42)であったが、2014年に19(人口10万人当たり3.6病院(全国平均6.7)偏差値42)となり、10年間で2病院が減少した。

2004年の診療所数が259(人口10万人当たり50診療所(全国平均76)偏差値37)であったが、2014年に284(人口10万人当たり54診療所(全国平均79)偏差値37)と、25診療所が増加した。

2004年の総病床数が4455床(人口1万人当たり86(全国平均142)偏差値40)であったが、2014年に4277床(人口1万人当たり81(全国平均133)偏差値41)と、178床の減少、率にして4%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

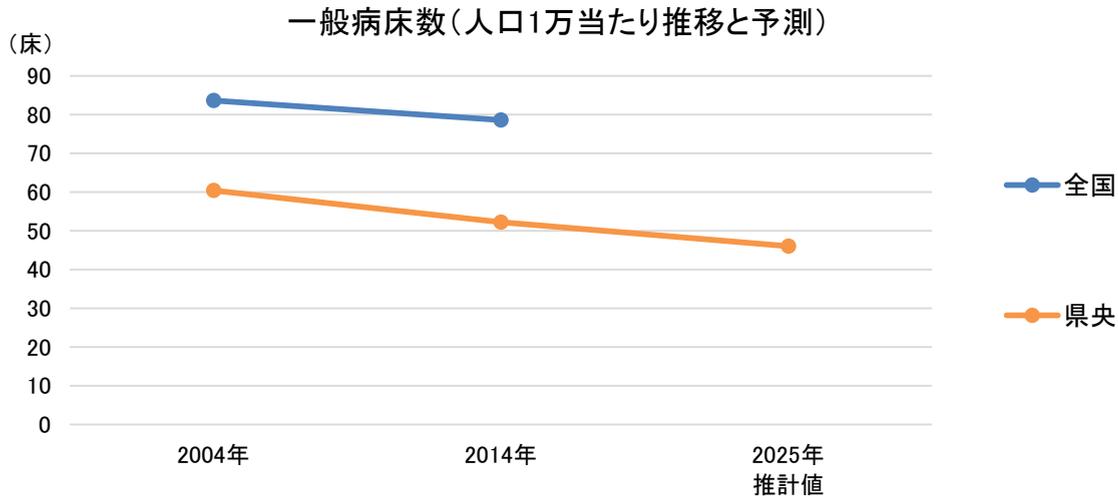
2004年には病院と診療所合わせての医師数<sup>3</sup>が611人(人口10万人当たり117人(全国平均212人)偏差値39)であったが、2014年に806人(人口10万人当たり152人(全国平均246人)偏差値41)と、195人の増加、率にして32%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。

2004→2014年 人口当たり医師数・病床数



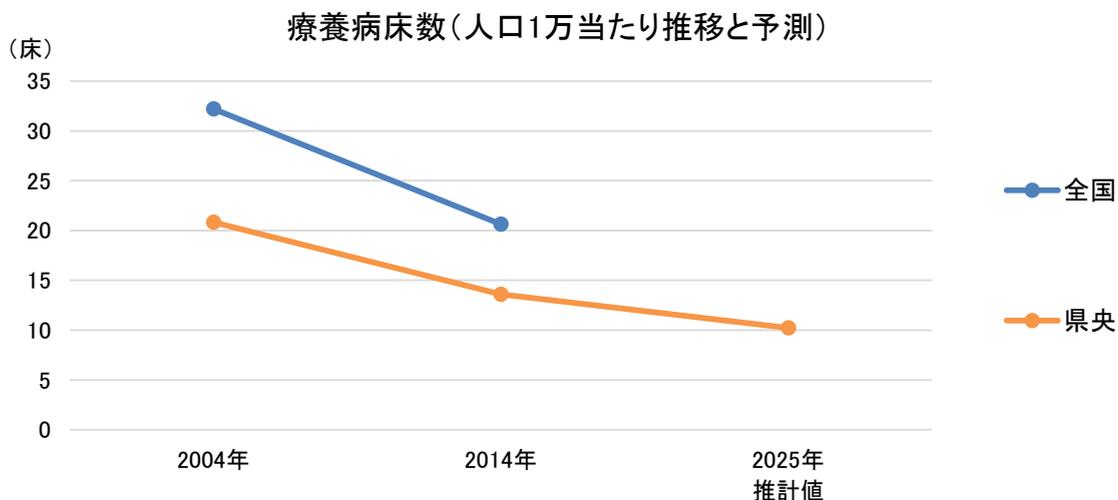
### 【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が3143床(人口1万人当たり60(全国平均84)偏差値42)であったが、2014年に2766床(人口1万人当たり52(全国平均79)偏差値40)と、377床の減少、率にして12%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には2351床(2025年の推計人口1万人当たり46)になることが予想される。



### 【療養病床の推移と今後の予測】

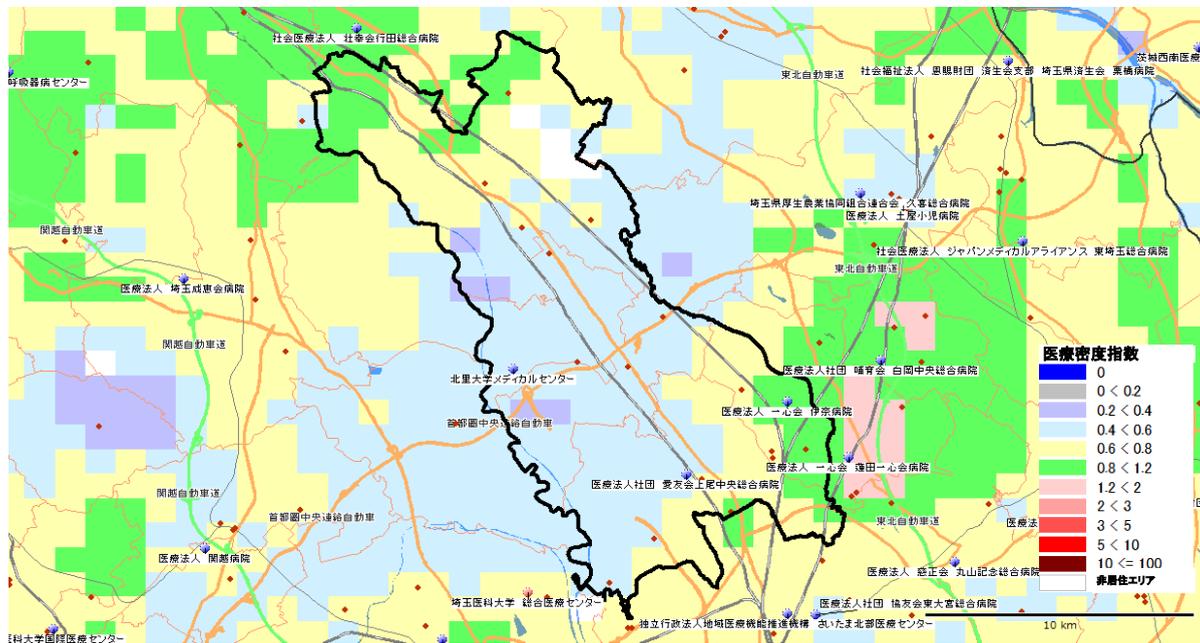
2004年の療養病床(病院+診療所)が633床(75歳以上1000人当たり21(全国平均32)偏差値44)であったが、2014年に769床(75歳以上1000人当たり14(全国平均21)偏差値44)と、136床の増加、率にして21%の増加(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で増加が続くとすると2025年には919床(2025年の推計75歳以上1000人当たり10)になることが予想される。



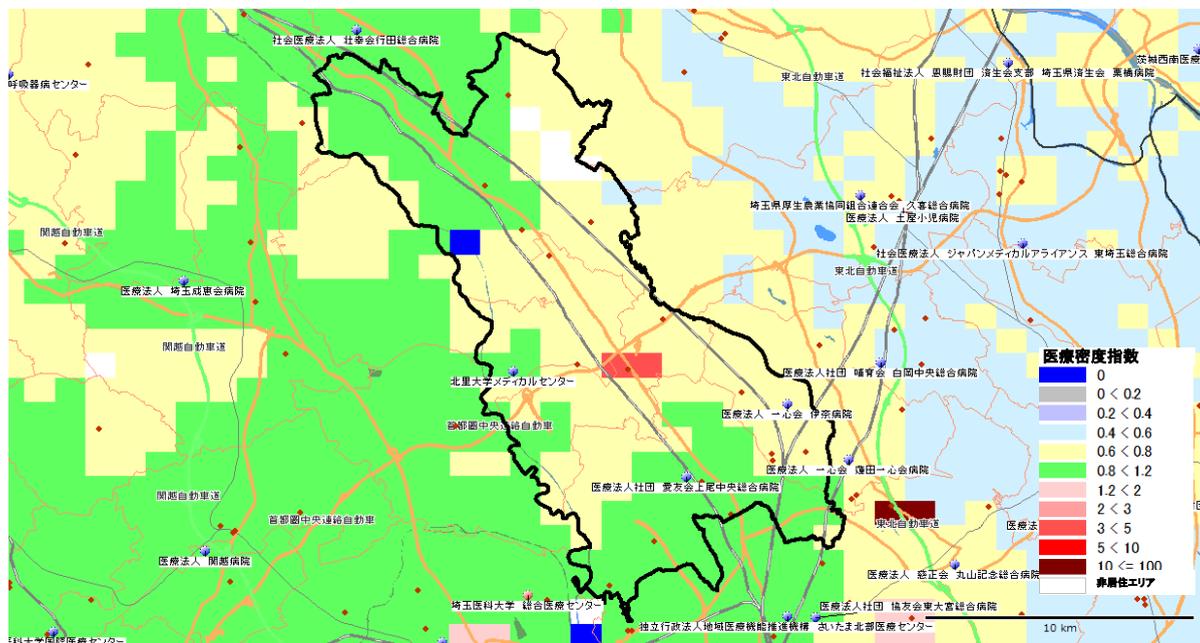
# 11. 埼玉県 (2016年版)

## 3. 医療密度<sup>5</sup>

図表11-5-1 急性期医療密度指数マップ



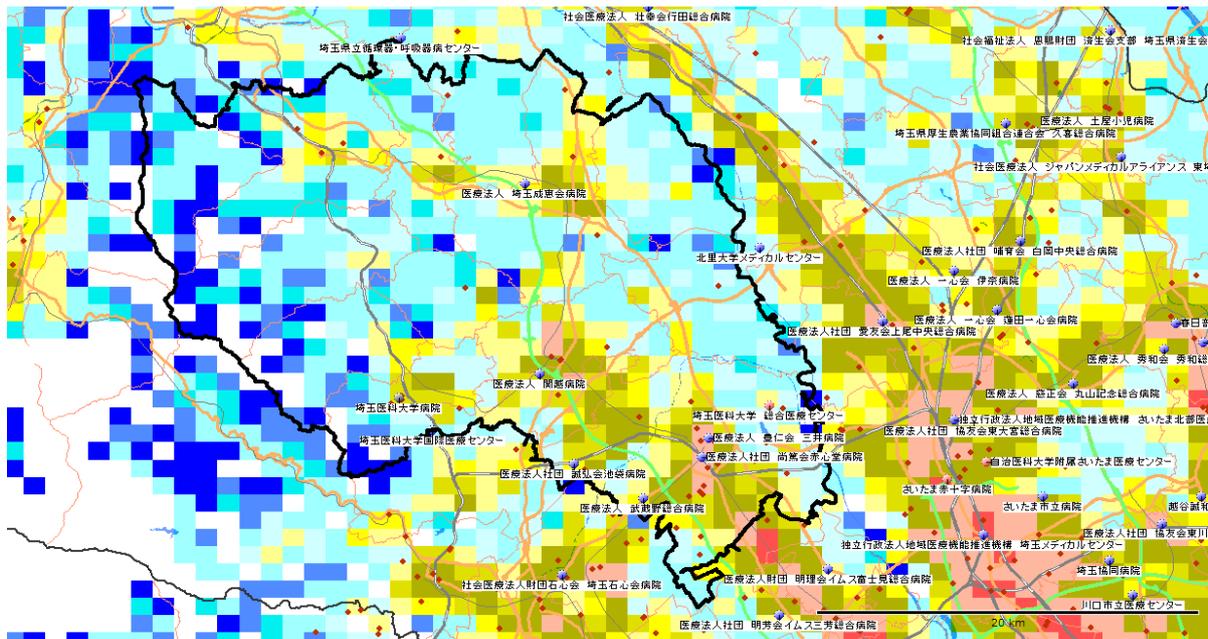
図表11-5-2 慢性期医療密度指数マップ



# 11-6. かわごえひき 川越比企医療圏

構成市区町村 <sup>10</sup>	<a href="#">川越市</a>	<a href="#">東松山市</a>	<a href="#">坂戸市</a>	<a href="#">鶴ヶ島市</a>
	<a href="#">毛呂山町</a>	<a href="#">越生町</a>	<a href="#">滑川町</a>	<a href="#">嵐山町</a>
	<a href="#">小川町</a>	<a href="#">川島町</a>	<a href="#">吉見町</a>	<a href="#">鳩山町</a>
	<a href="#">ときがわ町</a>	<a href="#">東秩父村</a>		

人口分布<sup>1</sup> (1km<sup>2</sup>区画単位)



## (川越比企医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

\*人口、面積など： 川越比企(川越市)は、総人口約794千人(2015年推計)、面積627km<sup>2</sup>、人口密度は1268人/km<sup>2</sup>の地方都市型二次医療圏である。

\*人口の将来予測： 川越比企の総人口は2025年に762千人へと減少し(2015年比-4%)、2040年に671千人へと減少する(2025年比-12%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の87千人が、2025年にかけて138千人へと増加し(2015年比+59%)、2040年には135千人へと減少する(2025年比-2%)ことが予想される。

\*医療費と介護給付費： 川越比企の一人当たり医療費(国保)は298千円(偏差値45)、介護給付費は186千円(偏差値32)であり、医療費はやや低く、介護給付費は非常に低い。

## 【医療の現状】

\*入院医療の充実度： 川越比企の一人当たり急性期医療密度指数<sup>2</sup>は0.64、一人当たり慢性期医療密度指数<sup>2</sup>は0.9で、急性期の医療は少ないが、慢性期の医療は全国平均レベルである。

\*医師・看護師の現状： 総医師数<sup>3</sup>の偏差値が49(病院医師数53、診療所医師数42)と、総医師数はほぼ全国平均レベルであるが、診療所医師数は少ない。総看護師数の偏差値は47とやや少ない。

\*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は47で、一般病床はやや少ない。全身麻酔数の偏差値は48と全国平均レベルである。川越比企には、年間全身麻酔件数が2000例以上の埼玉医科大学総合医療センター(Ⅱ群・救命)、埼玉医科大学病院(Ⅰ群)、1000例以上の赤心堂病院(Ⅲ群)、500例以上の小川赤十字病院(Ⅲ群)、埼玉成恵会病院(Ⅲ群)、三井病院(Ⅲ群)がある。

\*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は49と療養病床数は全国平均レベルである。

\*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値50と全国平均レベルであり、回復期病床数は偏差値52と全国平均レベルである。

\*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は53で精神病床数はやや多い。

\*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は38で診療所数は少ない。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状： 川越比企の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、8272人(75歳以上1000人当たりの偏差値48)と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が4762床(偏差値46)、高齢者住宅等が3510床(偏差値51)である。介護保険施設は全国平均レベルをやや下回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルである。また、介護職員(介護施設等)の合計は、5587人(75歳以上1000人当たりの偏差値40)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設45、特別養護老人ホーム52、介護療養型医療施設42、有料老人ホーム50、軽費ホーム46、グループホーム46、サ高住56である。

\*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値43と少なく、在宅療養支援病院は偏差値50と全国平均レベルである。また、訪問看護ステーションは偏差値39と少ない。介護職員(在宅)の合計は、790人(75歳以上1000人当たりの偏差値42)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

\*介護の2040年の需要予測： 2040年の介護充足度指数<sup>4</sup>は-60%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

## 2. 推移と将来推計

### 【人口と医療需要】

川越比企医療圏の総人口は、2005年794810人が、2015年に794460人と1%未満減少し、2025年の人口が761534人と予測され、2005年→2025年の間に4%程度の減少が予測されている。

医療の需要は、2005年から2015年に19%増加し、2015年から2025年にかけて9%程度の増加が予測される。

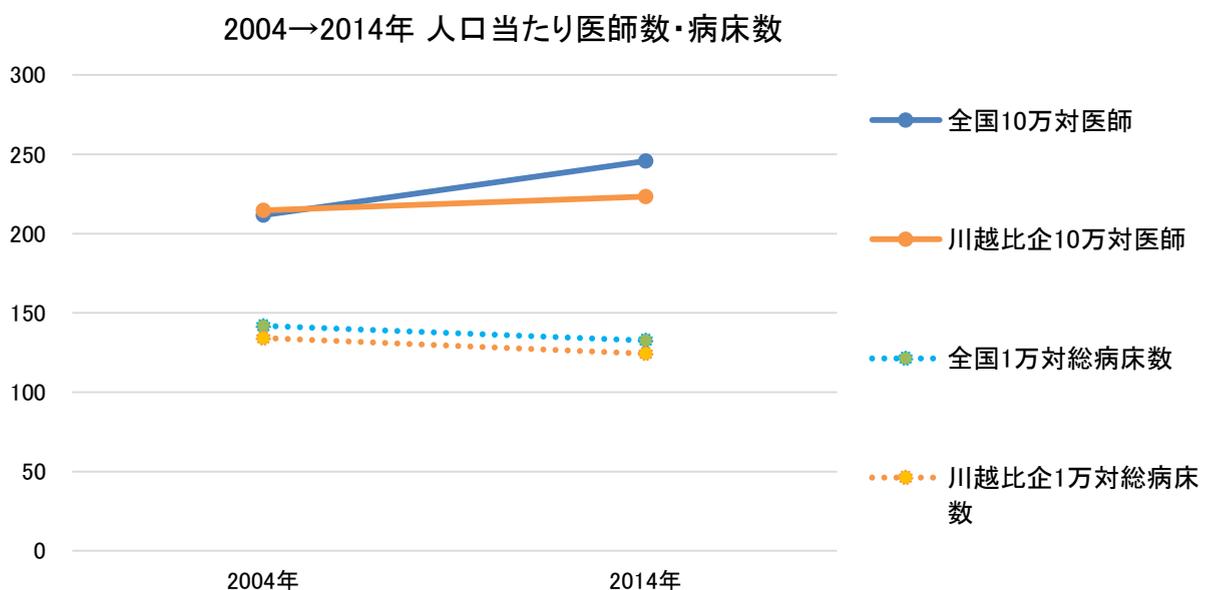
### 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が51(人口10万人当たり6.4病院(全国平均7.1)偏差値48)であったが、2014年に50(人口10万人当たり6.3病院(全国平均6.7)偏差値49)となり、10年間で1病院が減少した。

2004年の診療所数が439(人口10万人当たり55診療所(全国平均76)偏差値40)であったが、2014年に442(人口10万人当たり56診療所(全国平均79)偏差値38)と、3診療所が増加した。

2004年の総病床数が10667床(人口1万人当たり134(全国平均142)偏差値49)であったが、2014年に9883床(人口1万人当たり124(全国平均133)偏差値49)と、784床の減少、率にして7%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

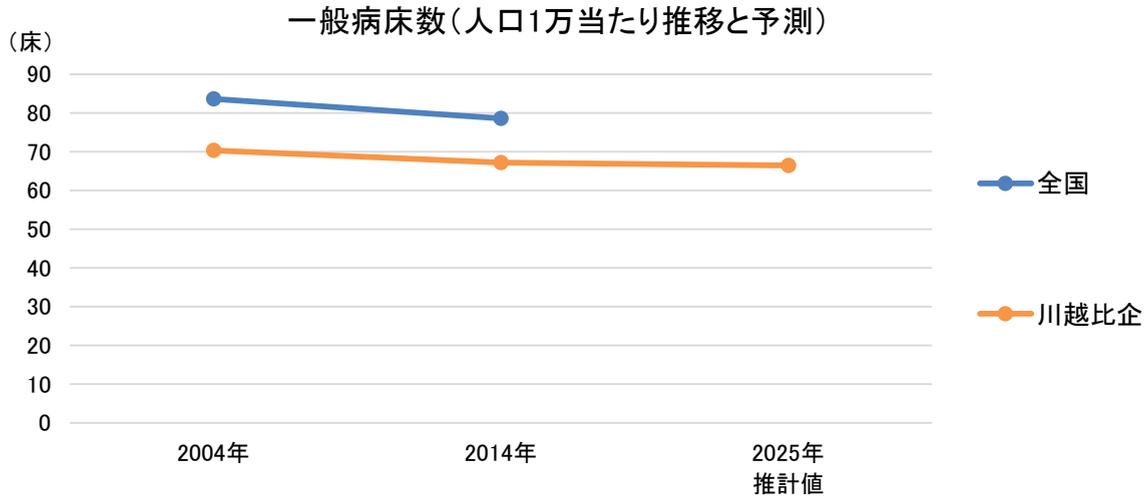
2004年には病院と診療所合わせての医師数<sup>3</sup>が1707人(人口10万人当たり215人(全国平均212人)偏差値50)であったが、2014年に1774人(人口10万人当たり223人(全国平均246人)偏差値48)と、67人の増加、率にして4%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。



## 11. 埼玉県 (2016年版)

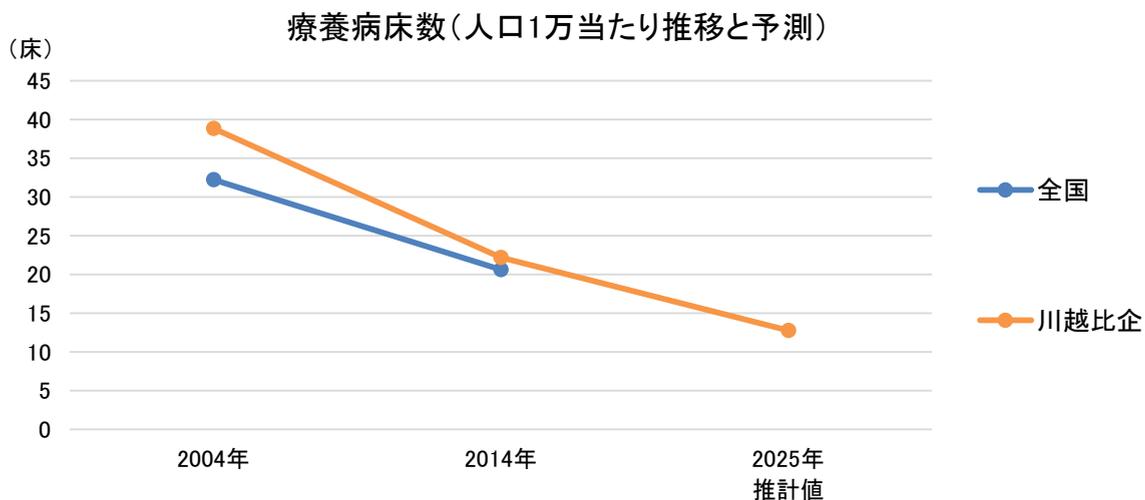
### 【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が5590床(人口1万人当たり70(全国平均84)偏差値45)であったが、2014年に5339床(人口1万人当たり67(全国平均79)偏差値46)と、251床の減少、率にして4%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には5063床(2025年の推計人口1万人当たり66)になることが予想される。



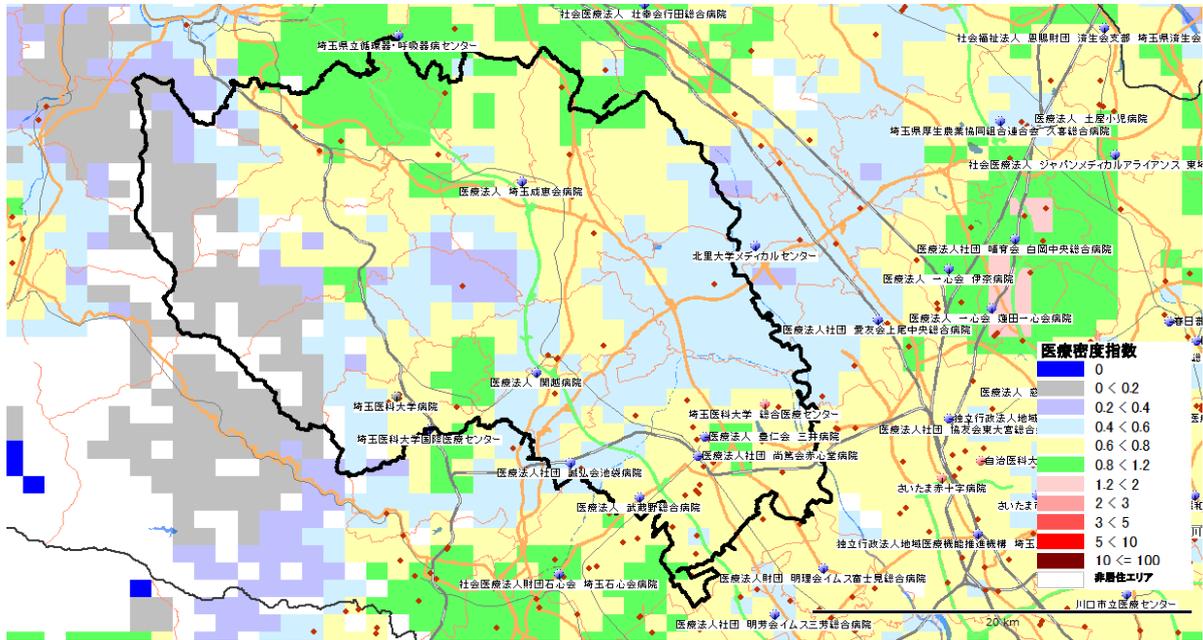
### 【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が2069床(75歳以上1000人当たり39(全国平均32)偏差値54)であったが、2014年に1919床(75歳以上1000人当たり22(全国平均21)偏差値51)と、150床の減少、率にして7%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には1754床(2025年の推計75歳以上1000人当たり13)になることが予想される。

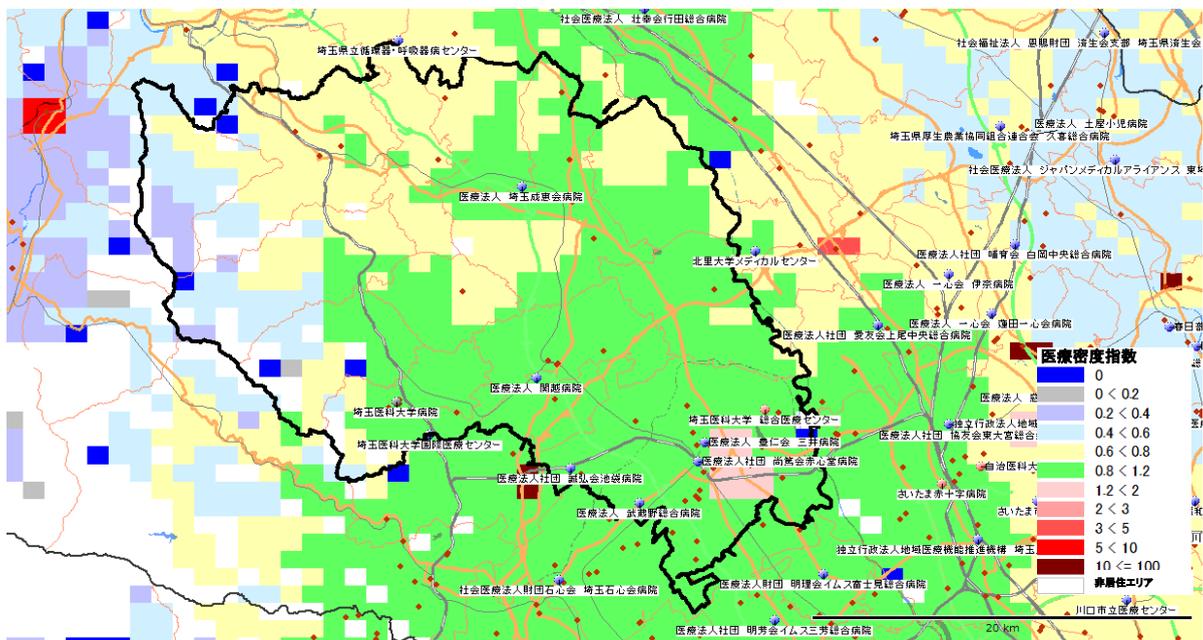


3. 医療密度<sup>5</sup>

図表11-6-1 急性期医療密度指数マップ



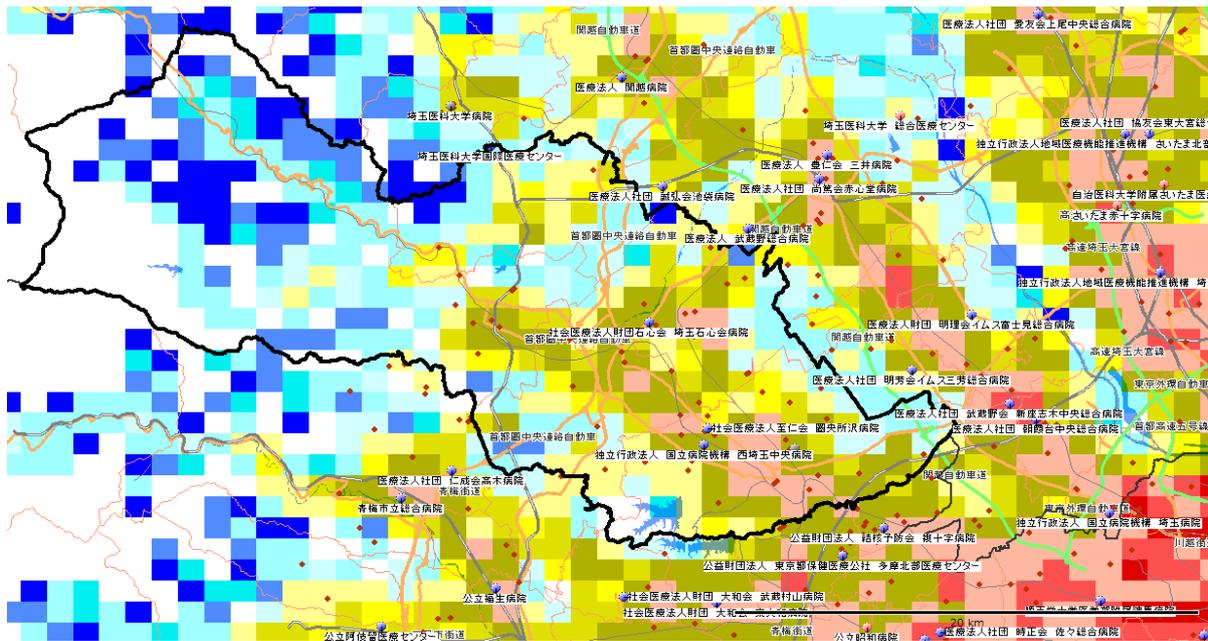
図表11-6-2 慢性期医療密度指数マップ



# 11-7. せいぶ 西部医療圏

構成市区町村<sup>10</sup> [所沢市](#) [飯能市](#) [狭山市](#) [入間市](#)  
[日高市](#)

人口分布<sup>1</sup> (1km<sup>2</sup>区画単位)



## (西部医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

\*人口、面積など：西部(所沢市)は、総人口約785千人(2015年推計)、面積406km<sup>2</sup>、人口密度は1931人/km<sup>2</sup>の地方都市型二次医療圏である。

\*人口の将来予測：西部の総人口は2025年に754千人へと減少し(2015年比-4%)、2040年に665千人へと減少する(2025年比-12%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の89千人が、2025年にかけて142千人へと増加し(2015年比+60%)、2040年には146千人へと増加する(2025年比+3%)ことが予想される。

\*医療費と介護給付費：西部の一人当たり医療費(国保)は292千円(偏差値43)、介護給付費は187千円(偏差値32)であり、医療費は低く、介護給付費は非常に低い。

## 【医療の現状】

\*入院医療の充実度：西部の一人当たり急性期医療密度指数<sup>2</sup>は0.74、一人当たり慢性期医療密度指数<sup>2</sup>は1.42で、急性期の医療は少ないが、慢性期の医療は充実している。

\*医師・看護師の現状：総医師数<sup>3</sup>の偏差値が45(病院医師数47、診療所医師数43)と、総医師数はほぼ全国平均レベルであるが、診療所医師数は少ない。総看護師数の偏差値は44と少ない。

\*一般病床等の現状：人口当たりの一般病床の偏差値は44で、一般病床は少ない。全身麻酔数の偏差値は49と全国平均レベルである。西部には、年間全身麻酔件数が2000例以上の埼玉医科大学国際医療センター(Ⅲ群・救命)、防衛医科大学校病院(Ⅰ群・救命)、1000例以上の国立病院機構西埼玉中央病院(Ⅲ群)、埼玉石心会病院(Ⅲ群)がある。

\*療養病床の現状：人口当たりの療養病床の偏差値は53と療養病床数はやや多い。

\*リハビリの現状：総療法士数は偏差値53とやや多く、回復期病床数は偏差値49と全国平均レベルである。

\*精神病床の現状：人口当たりの精神病床の偏差値は52で精神病床数は全国平均レベルである。

\*診療所の現状：人口当たりの診療所数の偏差値は37で診療所数は少ない。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状：西部の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、8526人(75歳以上1000人当たりの偏差値48)と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が5336床(偏差値50)、高齢者住宅等が3190床(偏差値48)である。介護保険施設、高齢者住宅等ともに全国平均レベルである。また、介護職員(介護施設等)の合計は、5859人(75歳以上1000人当たりの偏差値41)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設50、特別養護老人ホーム49、介護療養型医療施設55、有料老人ホーム51、軽費ホーム51、グループホーム38、サ高住52である。

\*在宅ケアの現状：在宅療養支援診療所は偏差値45とやや少なく、在宅療養支援病院は偏差値48と全国平均レベルである。また、訪問看護ステーションは偏差値46とやや少ない。介護職員(在宅)の合計は、822人(75歳以上1000人当たりの偏差値42)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

\*介護の2040年の需要予測：2040年の介護充足度指数<sup>4</sup>は-72%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、非常に多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

## 2. 推移と将来推計

### 【人口と医療需要】

西部医療圏の総人口は、2005年781229人が、2015年に784774人と1%未満増加し、2025年の人口が753821人と予測され、2005年→2025年の間に4%程度の減少が予測されている。

医療の需要は、2005年から2015年に20%増加し、2015年から2025年にかけて10%程度の増加が予測される。

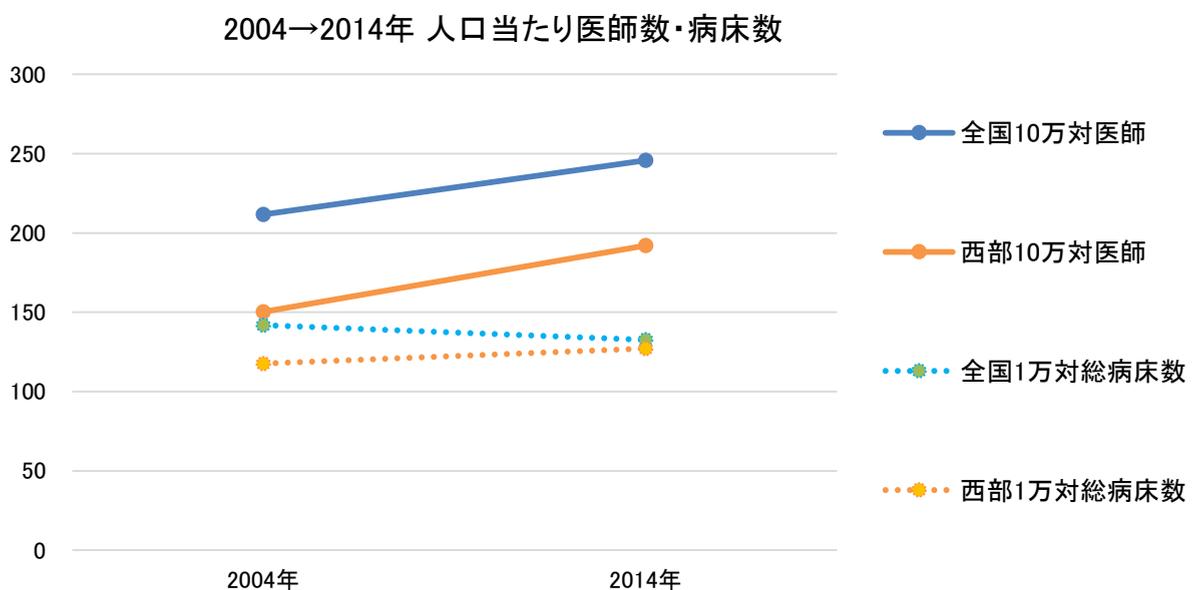
### 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が56(人口10万人当たり7.2病院(全国平均7.1)偏差値50)であったが、2014年に55(人口10万人当たり7病院(全国平均6.7)偏差値51)となり、10年間で1病院が減少した。

2004年の診療所数が401(人口10万人当たり51診療所(全国平均76)偏差値38)であったが、2014年に423(人口10万人当たり54診療所(全国平均79)偏差値37)と、22診療所が増加した。

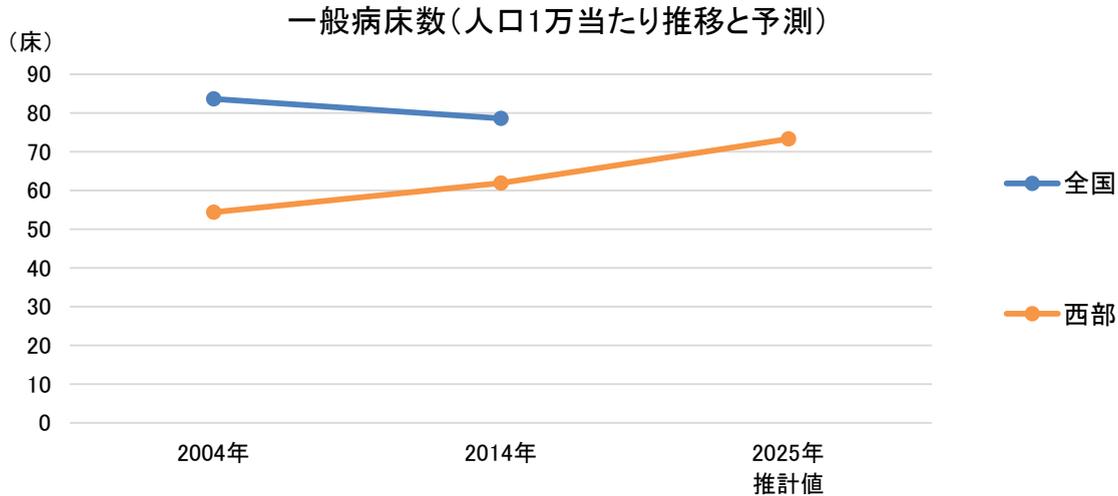
2004年の総病床数が9188床(人口1万人当たり118(全国平均142)偏差値46)であったが、2014年に9972床(人口1万人当たり127(全国平均133)偏差値49)と、784床の増加、率にして9%の増加(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての医師数<sup>3</sup>が1174人(人口10万人当たり150人(全国平均212人)偏差値43)であったが、2014年に1508人(人口10万人当たり192人(全国平均246人)偏差値45)と、334人の増加、率にして28%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。



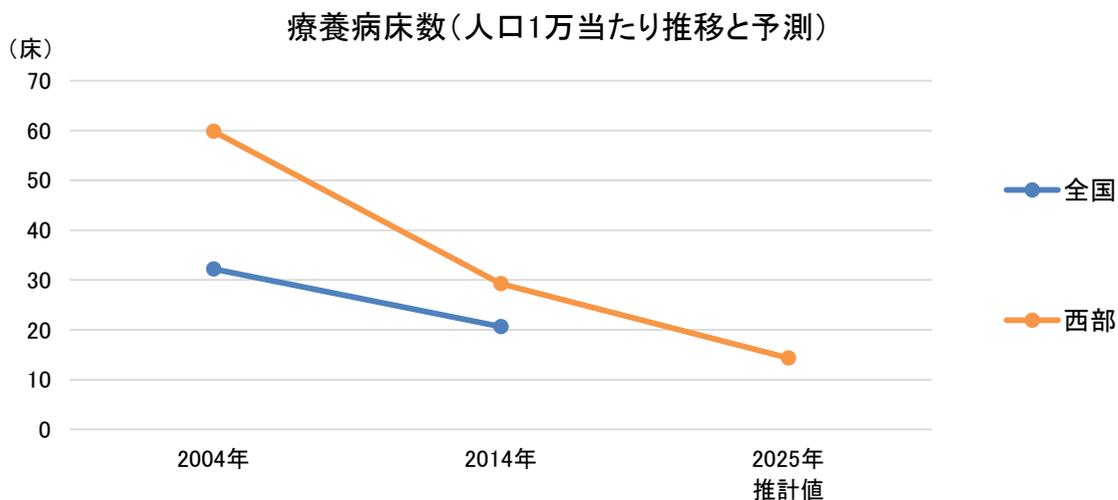
### 【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が4252床(人口1万人当たり54(全国平均84)偏差値40)であったが、2014年に4860床(人口1万人当たり62(全国平均79)偏差値44)と、608床の増加、率にして14%の増加(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で増加が続くとすると2025年には5529床(2025年の推計人口1万人当たり73)になることが予想される。



### 【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が3107床(75歳以上1000人当たり60(全国平均32)偏差値66)であったが、2014年に2595床(75歳以上1000人当たり29(全国平均21)偏差値57)と、512床の減少、率にして16%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には2032床(2025年の推計75歳以上1000人当たり14)になることが予想される。





# 11-8. とね 利根医療圏

構成市区町村<sup>10</sup>

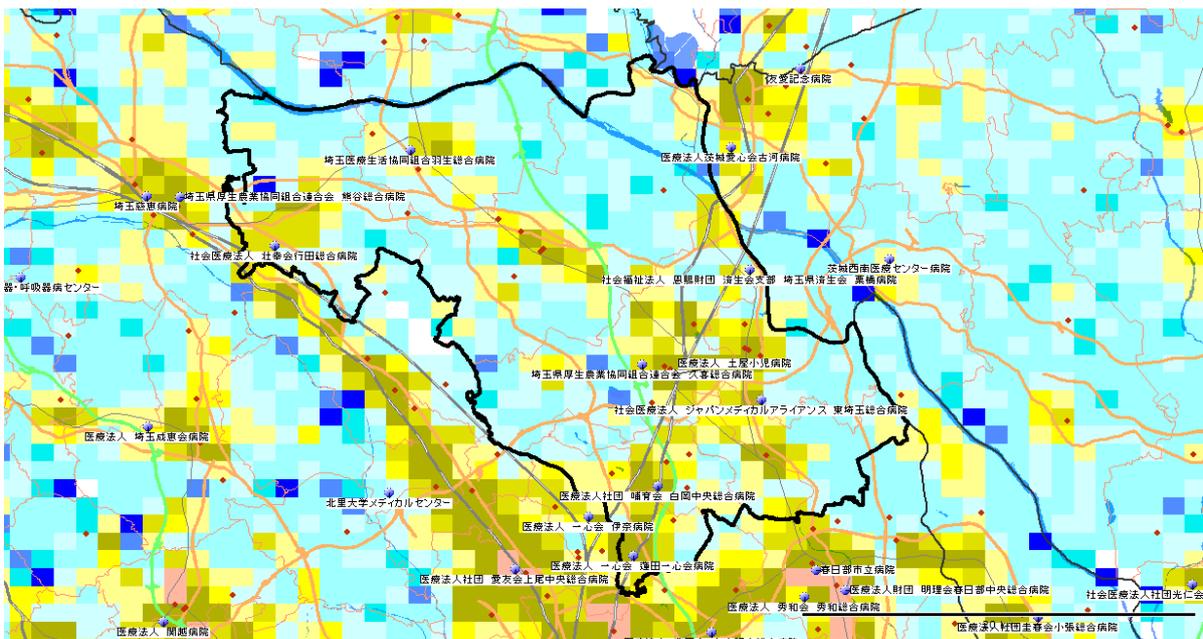
行田市  
蓮田市  
杉戸町

加須市  
幸手市

羽生市  
白岡市

久喜市  
宮代町

人口分布<sup>1</sup> (1km<sup>2</sup>区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



Ⅲ群

一般病院

## (利根医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

\*人口、面積など： 利根(行田市)は、総人口約646千人(2015年推計)、面積474km<sup>2</sup>、人口密度は1364人/km<sup>2</sup>の地方都市型二次医療圏である。

\*人口の将来予測： 利根の総人口は2025年に604千人へと減少し(2015年比-7%)、2040年に510千人へと減少する(2025年比-16%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の74千人が、2025年にかけて113千人へと増加し(2015年比+53%)、2040年には112千人へと減少する(2025年比-1%)ことが予想される。

\*医療費と介護給付費： 利根の一人当たり医療費(国保)は312千円(偏差値48)、介護給付費は191千円(偏差値33)であり、医療費は全国平均レベルであるが、介護給付費は非常に低い。

## 【医療の現状】

\*入院医療の充実度： 利根の一人当たり急性期医療密度指数<sup>2</sup>は0.74、一人当たり慢性期医療密度指数<sup>2</sup>は0.58で、急性期の医療は少ないが、慢性期の医療はかなり少ない。

\*医師・看護師の現状： 総医師数<sup>3</sup>の偏差値が37(病院医師数38、診療所医師数38)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は40と少ない。

\*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は43で、一般病床は少ない。全身麻酔数の偏差値は39と少ない。利根には、年間全身麻酔件数が500例以上の東埼玉総合病院(Ⅲ群)、蓮田病院(Ⅲ群)、羽生総合病院(Ⅲ群)、行田総合病院(Ⅲ群)、済生会栗橋病院(Ⅲ群)、久喜総合病院(Ⅲ群)がある。

\*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は43と療養病床数は少ない。

\*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値44と少なく、回復期病床数は偏差値44と少ない。

\*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は48で精神病床数は全国平均レベルである。

\*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は36で診療所数は少ない。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状： 利根の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、7480人(75歳以上1000人当たりの偏差値51)と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が5059床(偏差値57)、高齢者住宅等が2421床(偏差値45)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルをやや下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、5703人(75歳以上1000人当たりの偏差値50)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設48、特別養護老人ホーム64、介護療養型医療施設なし(偏差値40)、有料老人ホーム49、軽費ホーム53、グループホーム46、サ高住44である。

\*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値38と少なく、在宅療養支援病院は偏差値44と少ない。また、訪問看護ステーションは偏差値41と少ない。介護職員(在宅)の合計は、618人(75歳以上1000人当たりの偏差値40)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

\*介護の2040年の需要予測： 2040年の介護充足度指数<sup>4</sup>は-36%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

## 2. 推移と将来推計

### 【人口と医療需要】

利根医療圏の総人口は、2005年662824人が、2015年に646133人と3%減少し、2025年の人口が604461人と予測され、2005年→2025年の間に9%程度の減少が予測されている。

医療の需要は、2005年から2015年に16%増加し、2015年から2025年にかけて7%程度の増加が予測される。

### 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

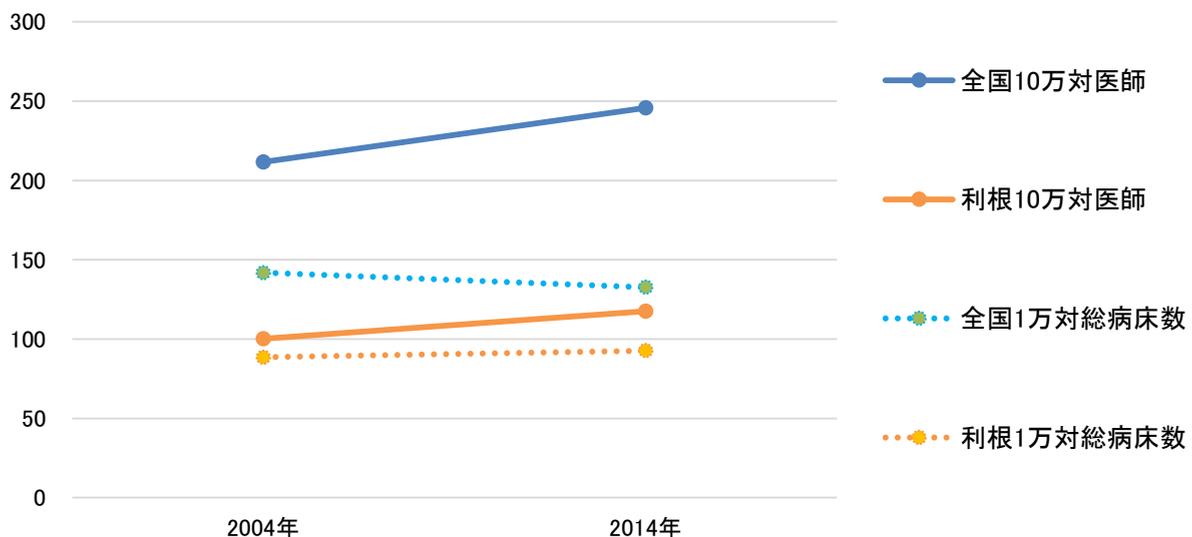
2004年の病院数が34(人口10万人当たり5.1病院(全国平均7.1)偏差値45)であったが、2014年に33(人口10万人当たり5.1病院(全国平均6.7)偏差値46)となり、10年間で1病院が減少した。

2004年の診療所数が318(人口10万人当たり48診療所(全国平均76)偏差値36)であったが、2014年に332(人口10万人当たり51診療所(全国平均79)偏差値36)と、14診療所が増加した。

2004年の総病床数が5870床(人口1万人当たり89(全国平均142)偏差値40)であったが、2014年に5989床(人口1万人当たり93(全国平均133)偏差値43)と、119床の増加、率にして2%の増加(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての医師数<sup>3</sup>が664人(人口10万人当たり100人(全国平均212人)偏差値37)であったが、2014年に760人(人口10万人当たり118人(全国平均246人)偏差値37)と、96人の増加、率にして14%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。

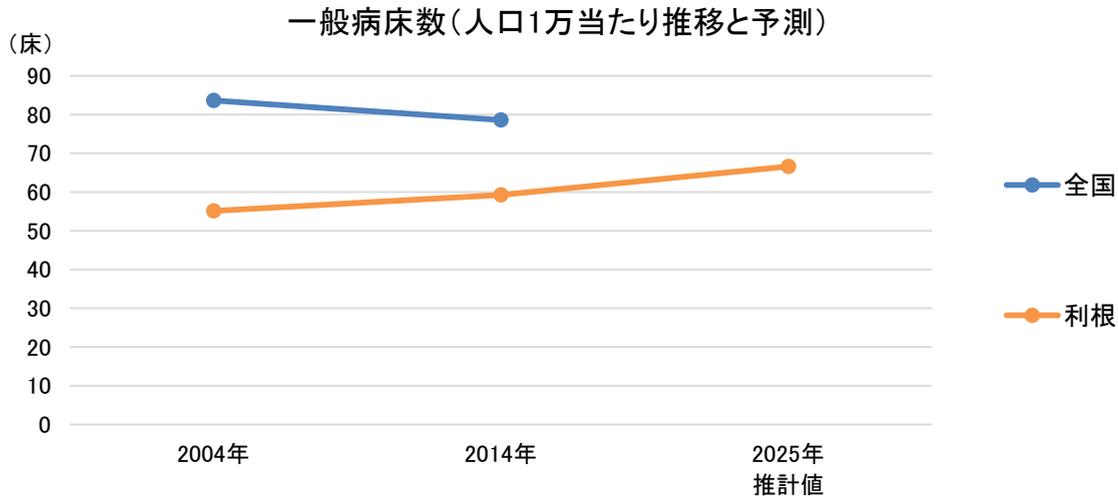
2004→2014年 人口当たり医師数・病床数



## 11. 埼玉県 (2016年版)

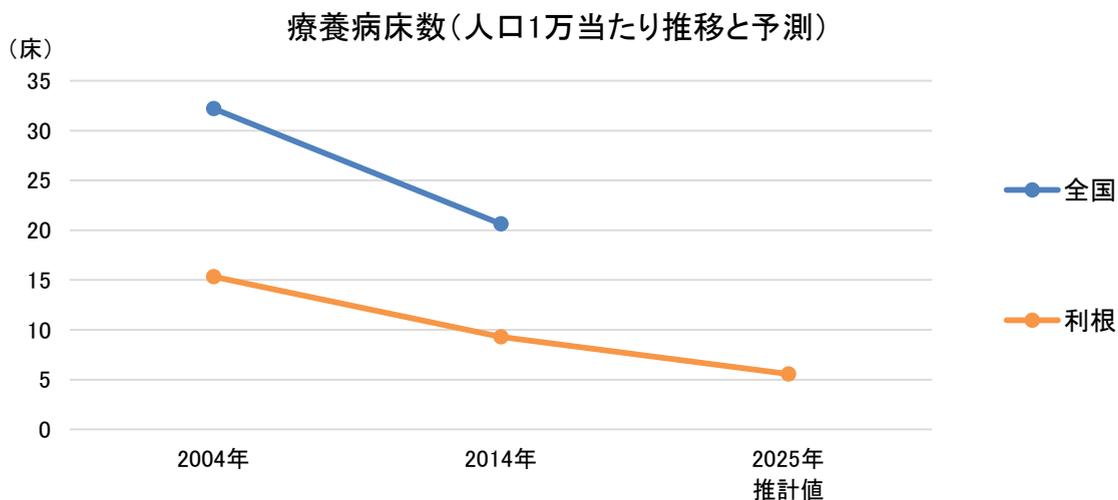
### 【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が3653床(人口1万人当たり55(全国平均84)偏差値40)であったが、2014年に3831床(人口1万人当たり59(全国平均79)偏差値43)と、178床の増加、率にして5%の増加(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で増加が続くとすると2025年には4027床(2025年の推計人口1万人当たり67)になることが予想される。



### 【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が742床(75歳以上1000人当たり15(全国平均32)偏差値40)であったが、2014年に689床(75歳以上1000人当たり9(全国平均21)偏差値40)と、53床の減少、率にして7%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には631床(2025年の推計75歳以上1000人当たり6)になることが予想される。

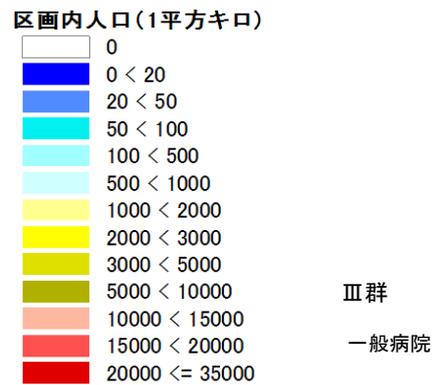
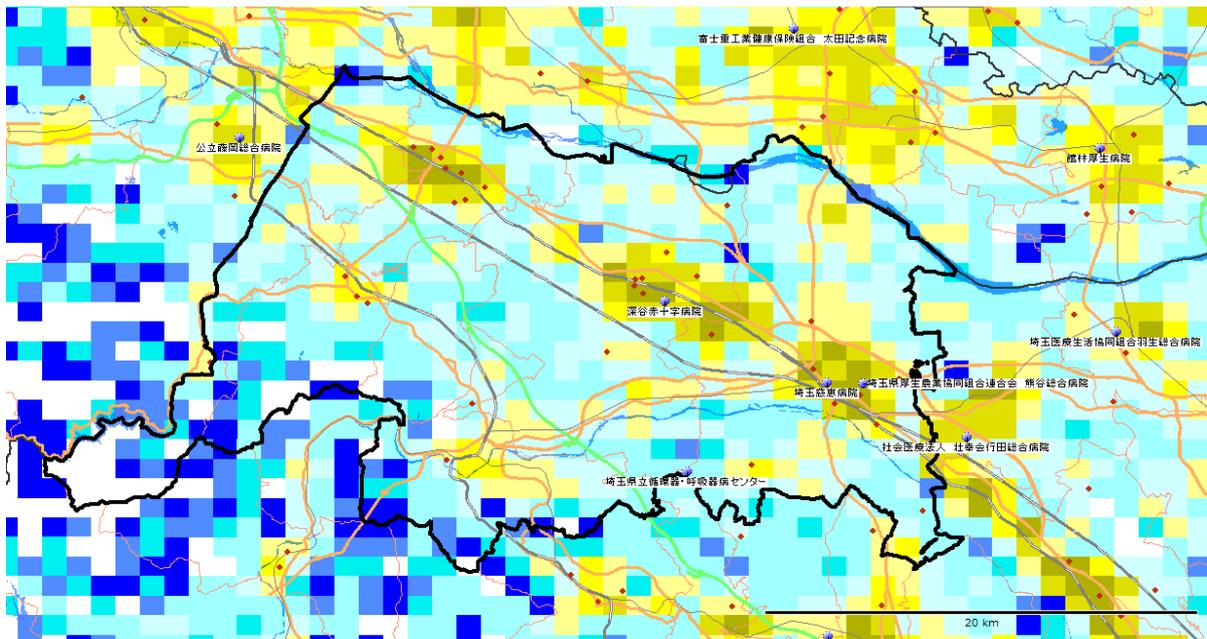




# 11-9. ほくぶ 北部医療圏

構成市区町村<sup>10</sup> [熊谷市](#) [本庄市](#) [深谷市](#) [美里町](#)  
[神川町](#) [上里町](#) [寄居町](#)

人口分布<sup>1</sup> (1km<sup>2</sup>区画単位)



## (北部医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

\*人口、面積など： 北部(熊谷市)は、総人口約511千人(2015年推計)、面積562km<sup>2</sup>、人口密度は909人/km<sup>2</sup>の地方都市型二次医療圏である。

\*人口の将来予測： 北部の総人口は2025年に478千人へと減少し(2015年比-6%)、2040年に409千人へと減少する(2025年比-14%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の61千人が、2025年にかけて84千人へと増加し(2015年比+38%)、2040年には87千人へと増加する(2025年比+4%)ことが予想される。

\*医療費と介護給付費： 北部の一人当たり医療費(国保)は300千円(偏差値45)、介護給付費は231千円(偏差値44)であり、医療費はやや低く、介護給付費は低い。

## 【医療の現状】

\*入院医療の充実度： 北部の一人当たり急性期医療密度指数<sup>2</sup>は0.77、一人当たり慢性期医療密度指数<sup>2</sup>は0.77で、急性期の医療も慢性期の医療も少ない。

\*医師・看護師の現状： 総医師数<sup>3</sup>の偏差値が39(病院医師数39、診療所医師数43)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は42と少ない。

\*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は42で、一般病床は少ない。全身麻酔数の偏差値は39と少ない。北部には、年間全身麻酔件数が1000例以上の深谷赤十字病院(Ⅲ群・救命)、500例以上の埼玉県立循環器・呼吸器病センター(Ⅲ群)、熊谷総合病院(Ⅲ群)がある。

\*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は47と療養病床数はやや少ない。

\*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値41と少なく、回復期病床数は偏差値42と少ない。

\*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は52で精神病床数は全国平均レベルである。

\*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は46で診療所数はやや少ない。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状： 北部の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、8054人(75歳以上1000人当たりの偏差値70)と全国平均レベルを大きく上回る。そのうち、介護保険施設の定員が4190床(偏差値57)、高齢者住宅等が3864床(偏差値66)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回り、高齢者住宅等は全国平均レベルを大きく上回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、5378人(75歳以上1000人当たりの偏差値60)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設48、特別養護老人ホーム63、介護療養型医療施設42、有料老人ホーム51、軽費ホーム69、グループホーム54、サ高住76である。

\*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値42と少なく、在宅療養支援病院は偏差値55とやや多い。また、訪問看護ステーションは偏差値42と少ない。介護職員(在宅)の合計は、574人(75歳以上1000人当たりの偏差値42)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

\*介護の2040年の需要予測： 2040年の介護充足度指数<sup>4</sup>は-12%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

## 2. 推移と将来推計

### 【人口と医療需要】

北部医療圏の総人口は、2005年528034人が、2015年に510849人と3%減少し、2025年の人口が477922人と予測され、2005年→2025年の間に9%程度の減少が予測されている。

医療の需要は、2005年から2015年に11%増加し、2015年から2025年にかけて5%程度の増加が予測される。

### 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

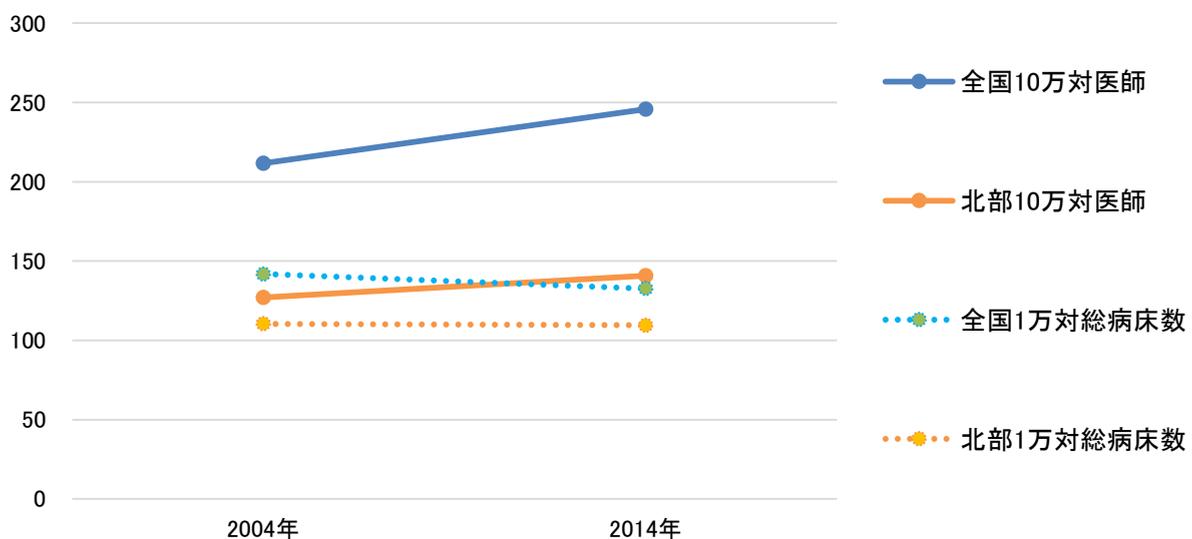
2004年の病院数が35(人口10万人当たり6.6病院(全国平均7.1)偏差値49)であったが、2014年に34(人口10万人当たり6.7病院(全国平均6.7)偏差値50)となり、10年間で1病院が減少した。

2004年の診療所数が345(人口10万人当たり65診療所(全国平均76)偏差値45)であったが、2014年に369(人口10万人当たり72診療所(全国平均79)偏差値46)と、24診療所が増加した。

2004年の総病床数が5833床(人口1万人当たり110(全国平均142)偏差値44)であったが、2014年に5595床(人口1万人当たり110(全国平均133)偏差値46)と、238床の減少、率にして4%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

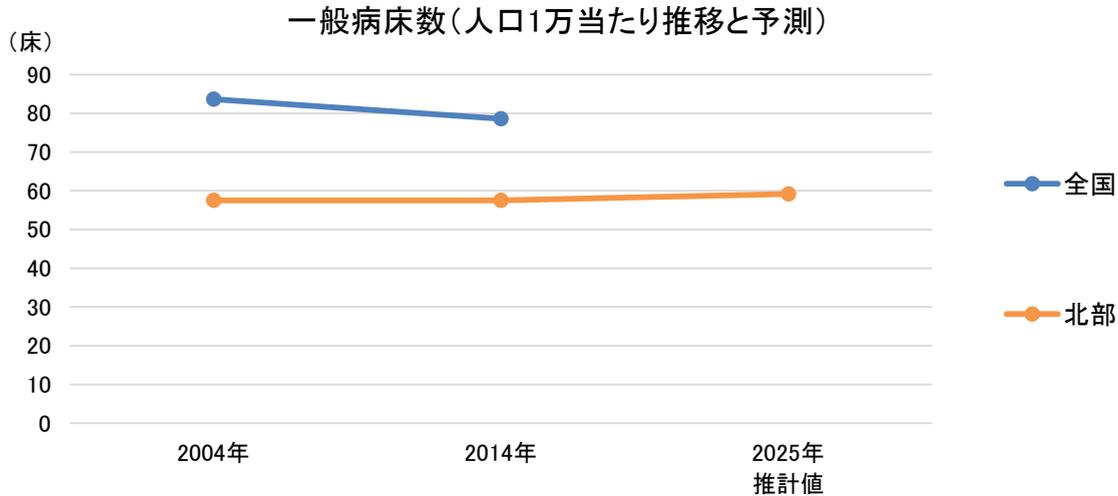
2004年には病院と診療所合わせての医師数<sup>3</sup>が671人(人口10万人当たり127人(全国平均212人)偏差値40)であったが、2014年に719人(人口10万人当たり141人(全国平均246人)偏差値39)と、48人の増加、率にして7%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。

2004→2014年 人口当たり医師数・病床数



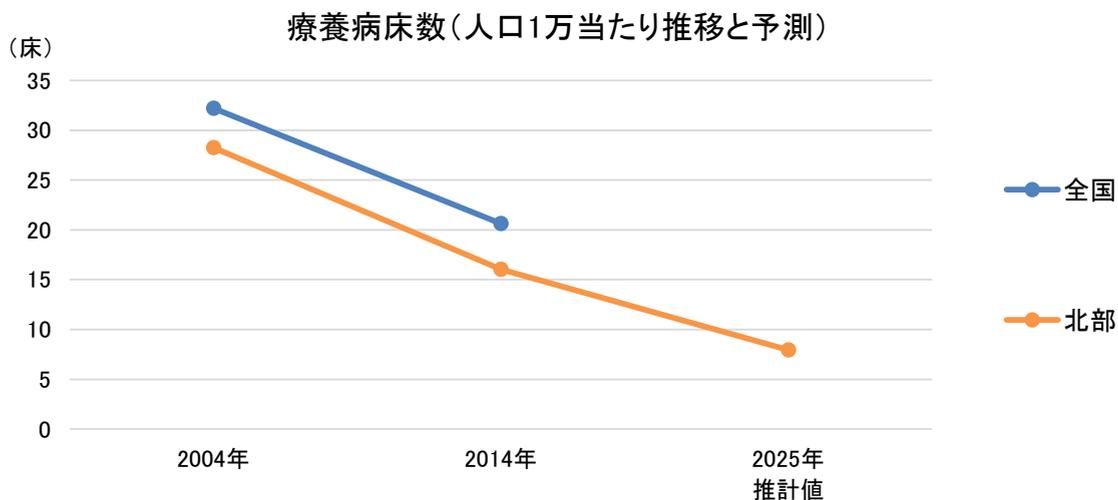
### 【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が3038床(人口1万人当たり58(全国平均84)偏差値41)であったが、2014年に2939床(人口1万人当たり58(全国平均79)偏差値42)と、99床の減少、率にして3%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には2830床(2025年の推計人口1万人当たり59)になることが予想される。



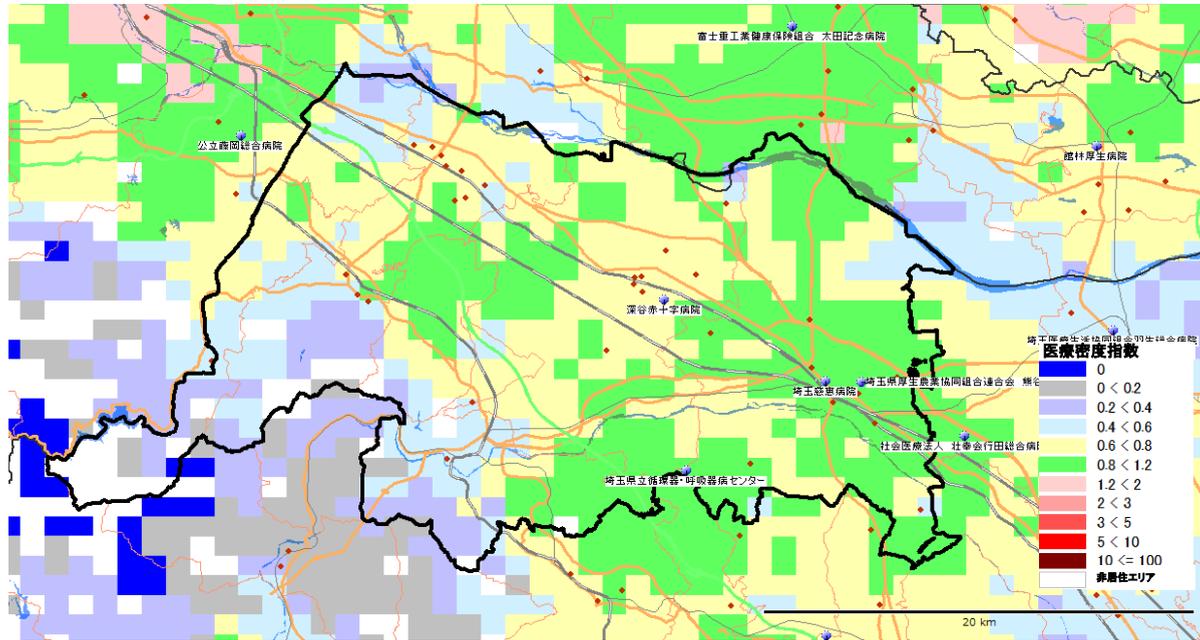
### 【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が1256床(75歳以上1000人当たり28(全国平均32)偏差値48)であったが、2014年に975床(75歳以上1000人当たり16(全国平均21)偏差値46)と、281床の減少、率にして22%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には666床(2025年の推計75歳以上1000人当たり8)になることが予想される。

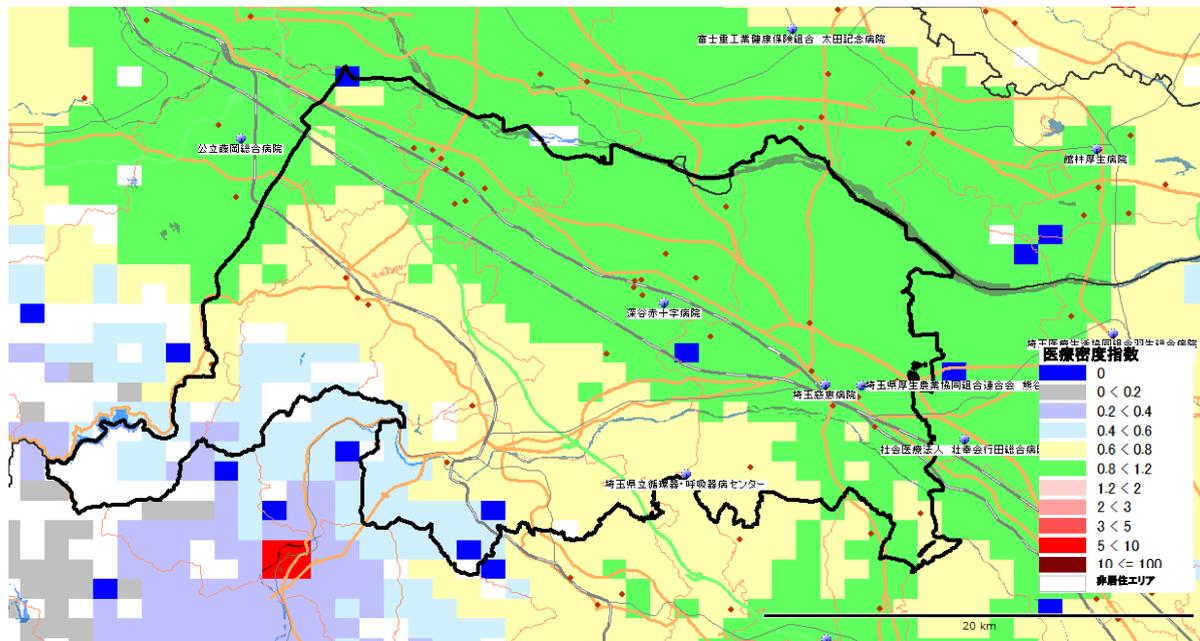


3. 医療密度<sup>5</sup>

図表11-9-1 急性期医療密度指数マップ



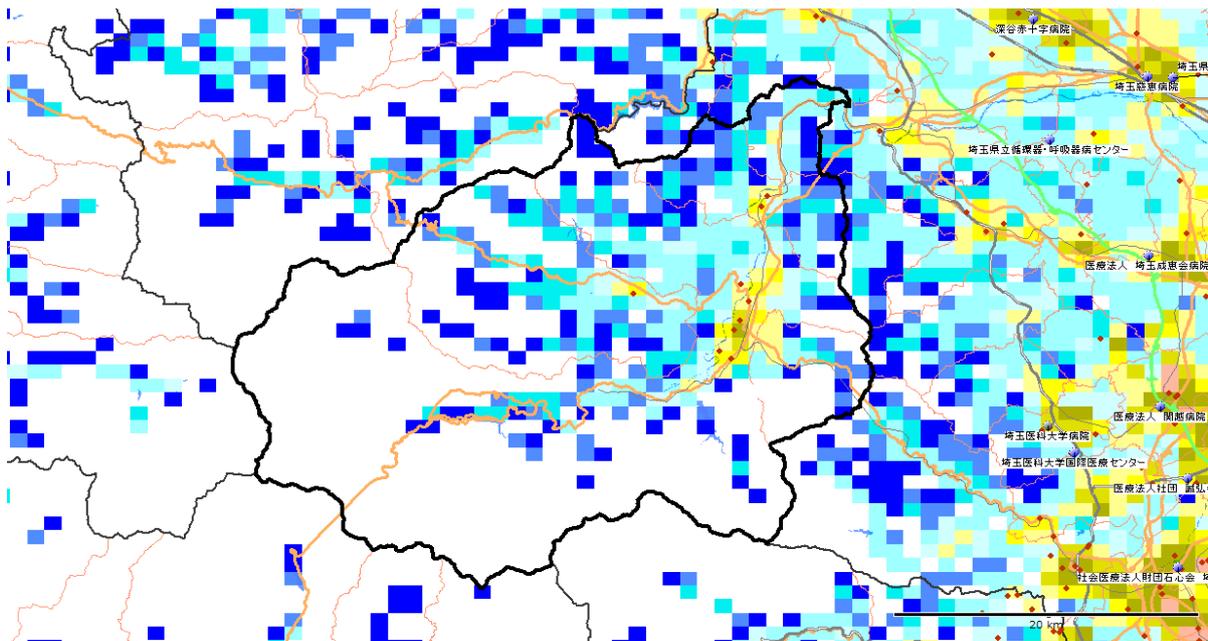
図表11-9-2 慢性期医療密度指数マップ



# 11-10. ちちぶ秩父医療圏

構成市区町村<sup>10</sup> [秩父市](#) [横瀬町](#) [皆野町](#) [長瀨町](#)  
[小鹿野町](#)

人口分布<sup>1</sup> (1km<sup>2</sup>区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



Ⅲ群

一般病院

## (秩父医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

### 【地域の概要】

\*人口、面積など： 秩父(秩父市)は、総人口約102千人(2015年推計)、面積893km<sup>2</sup>、人口密度は114人/km<sup>2</sup>の過疎地域型二次医療圏である。

\*人口の将来予測： 秩父の総人口は2025年に89千人へと減少し(2015年比-13%)、2040年に70千人へと減少する(2025年比-21%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の17千人が、2025年にかけて18千人へと増加し(2015年比+6%)、2040年には18千人とほぼ変わらない(2025年比±0%)ことが予想される。

\*医療費と介護給付費： 秩父の一人当たり医療費(国保)は309千円(偏差値48)、介護給付費は252千円(偏差値49)であり、医療費、介護給付費ともに全国平均レベルである。

### 【医療の現状】

\*入院医療の充実度： 秩父の一人当たり急性期医療密度指数<sup>2</sup>は0.43、一人当たり慢性期医療密度指数<sup>2</sup>は0.81で、急性期の医療はかなり少ないが、慢性期の医療は全国平均レベルである。

\*医師・看護師の現状： 総医師数<sup>3</sup>の偏差値が41(病院医師数37、診療所医師数51)と、総医師数、病院医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は41と少ない。

\*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は39で、一般病床は少ない。全身麻酔数の偏差値は38と少ない。秩父には、年間全身麻酔件数が500例以上の病院はない。

\*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は52と療養病床数は全国平均レベルである。

\*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値44と少なく、回復期病床数は偏差値45とやや少ない。

\*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は43で精神病床数は少ない。

\*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は53で診療所数はやや多い。

### 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状： 秩父の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、1727人(75歳以上1000人当たりの偏差値52)と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が1264床(偏差値63)、高齢者住宅等が463床(偏差値42)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、1475人(75歳以上1000人当たりの偏差値60)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設51、特別養護老人ホーム67、介護療養型医療施設46、有料老人ホーム47、軽費ホーム58、グループホーム48、サ高住36である。

\*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値33と非常に少なく、在宅療養支援病院は偏差値49と全国平均レベルである。また、訪問看護ステーションは偏差値38と少ない。介護職員(在宅)の合計は、142人(75歳以上1000人当たりの偏差値41)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

\*介護の2040年の需要予測： 2040年の介護充足度指数<sup>4</sup>は+13%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でやや過剰ぎみである。

## 2. 推移と将来推計

### 【人口と医療需要】

秩父医療圏の総人口は、2005年114596人が、2015年に101618人と11%減少し、2025年の人口が88927人と予測され、2005年→2025年の間に22%程度の減少が予測されている。

医療の需要は、2005年から2015年に1%減少し、2015年から2025年にかけて4%程度の減少が予測される。

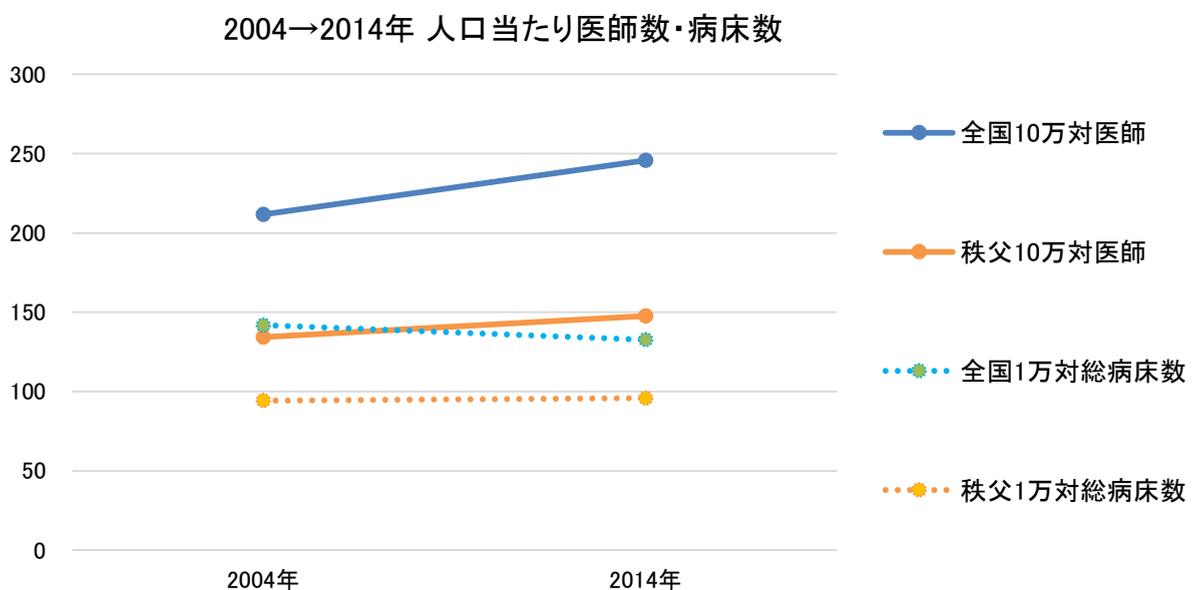
### 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が10(人口10万人当たり8.7病院(全国平均7.1)偏差値54)であったが、2014年に9(人口10万人当たり8.9病院(全国平均6.7)偏差値55)となり、10年間で1病院が減少した。

2004年の診療所数が87(人口10万人当たり76診療所(全国平均76)偏差値50)であったが、2014年に86(人口10万人当たり85診療所(全国平均79)偏差値53)と、1診療所が減少した。

2004年の総病床数が1081床(人口1万人当たり94(全国平均142)偏差値42)であったが、2014年に974床(人口1万人当たり96(全国平均133)偏差値43)と、107床の減少、率にして10%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

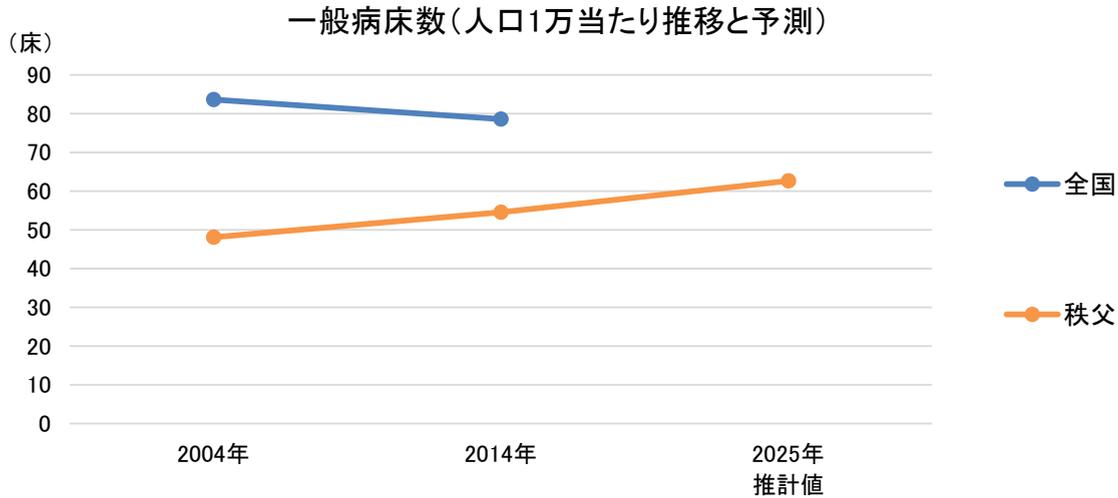
2004年には病院と診療所合わせての医師数<sup>3</sup>が154人(人口10万人当たり134人(全国平均212人)偏差値41)であったが、2014年に150人(人口10万人当たり148人(全国平均246人)偏差値40)と、4人の減少、率にして3%の減少(全国平均15%の増加)が見られた。



## 11. 埼玉県 (2016年版)

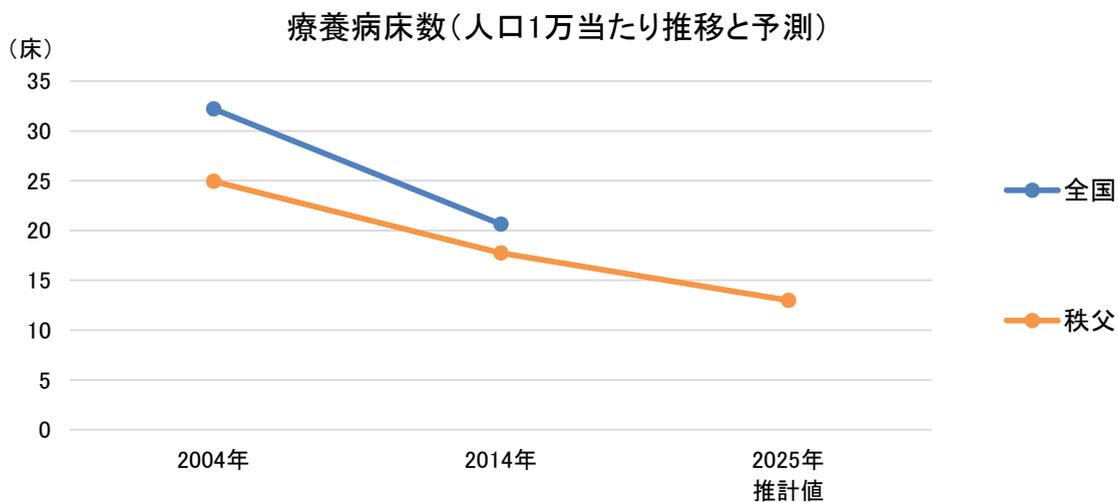
### 【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が551床(人口1万人当たり48(全国平均84)偏差値37)であったが、2014年に554床(人口1万人当たり55(全国平均79)偏差値41)と、3床の増加、率にして1%の増加(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で増加が続くとすると2025年には557床(2025年の推計人口1万人当たり63)になることが予想される。



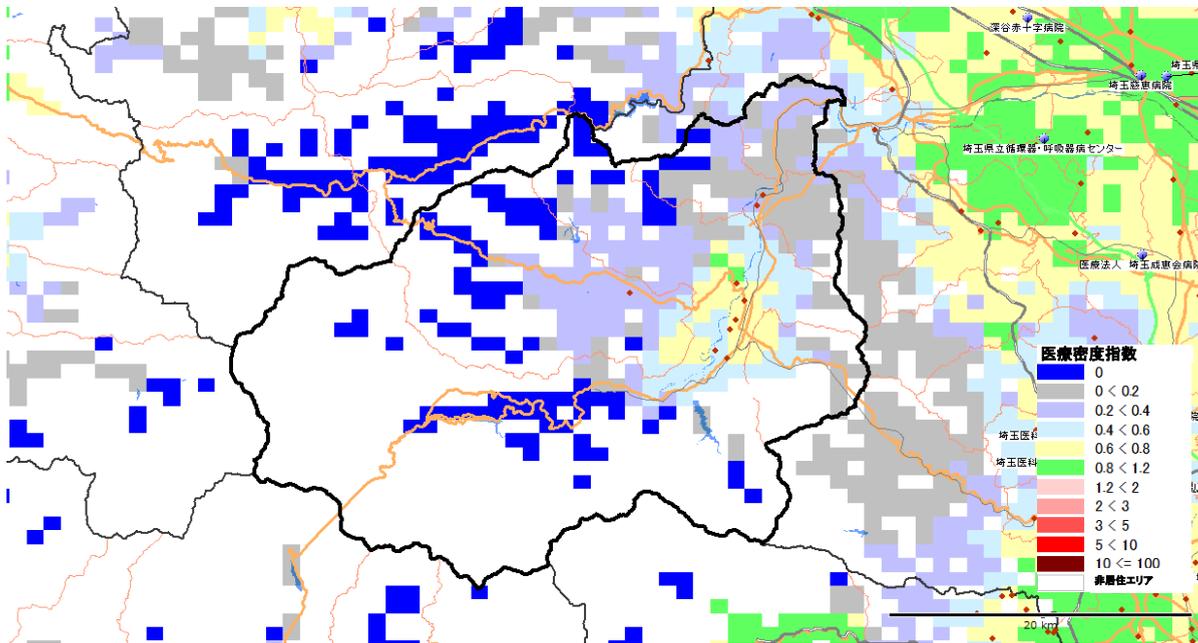
### 【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が350床(75歳以上1000人当たり25(全国平均32)偏差値46)であったが、2014年に297床(75歳以上1000人当たり18(全国平均21)偏差値48)と、53床の減少、率にして15%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には239床(2025年の推計75歳以上1000人当たり13)になることが予想される。

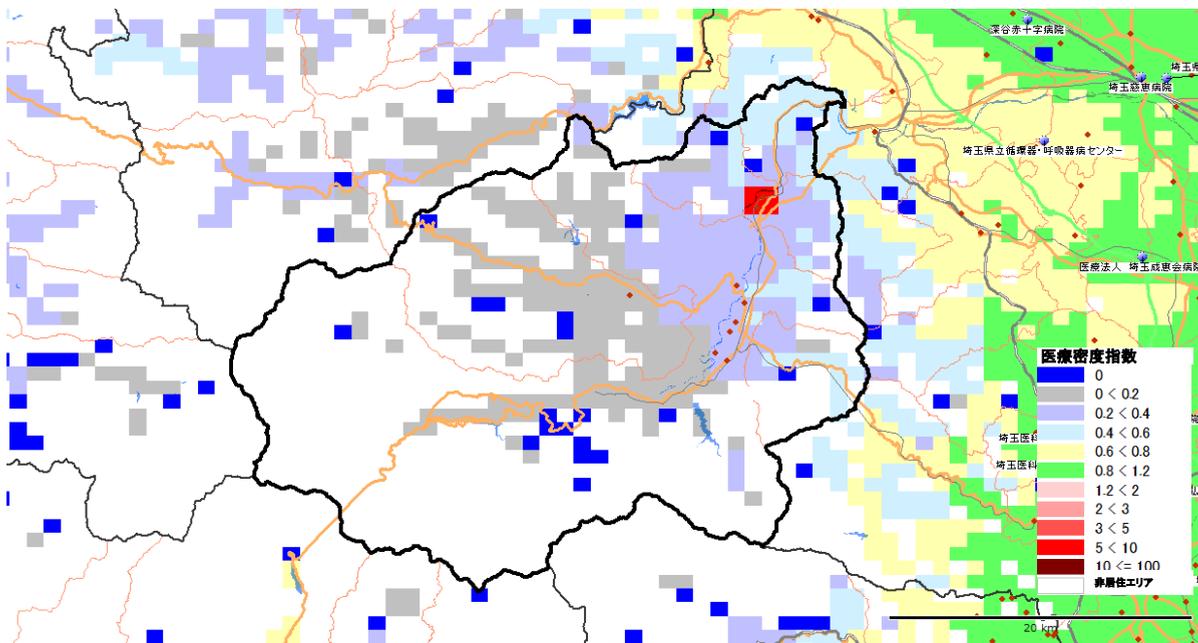


3. 医療密度<sup>5</sup>

図表11-10-1 急性期医療密度指数マップ



図表11-10-2 慢性期医療密度指数マップ



## 11. 埼玉県 (2016年版)

### 注

<sup>1</sup>1km<sup>2</sup>区画 (1km<sup>2</sup>メッシュ) で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く (10,000人/km<sup>2</sup>以上)、黄色系統は中間レベル (1,000~10,000人/km<sup>2</sup>)、青色系統は人口が少ない (1,000人/km<sup>2</sup>未満)。白色は非居住地。  
出所：国勢調査 (平成22年、総務省) 地図情報GIS MarketAnalyzer ver.3.7 地図 PAREAシリーズ

<sup>2</sup>その地域の住民が、どの程度の医療 (急性期及び慢性期) を利用できるかの目安を示す指標。1.0が全国平均。0.8を下回ると少ない、0.6を下回ると非常に少ない、1.2以上充実、1.5以上非常に充実。

<sup>3</sup>【医療の現状】で使用した総医師数は、病院医師数 (平成26年病院報告 (厚生労働省 平成26年10月)) と診療所医師数 (平成26年医療施設調査 (厚生労働省 平成26年10月)) の合計。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】で使用した2014年の総医師数は、平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 (厚生労働省 平成26年12月) に基づく病院医師数と診療所医師数の合計。

<sup>4</sup>高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。各年度の75歳1,000人 (推計) に対する高齢者住宅・施設のベッド数が、2016年の全国平均 (99.3床) と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

<sup>5</sup>急性期医療密度、慢性期医療密度の定義、算出方法については序章を参照。

<sup>6</sup>日医総研WP no.352「地域の医療提供体制の現状 -都道府県別・二次医療圏別データ集 (2015年度版) を更新。ウェルネス・二次医療圏データベースシステム使用。

<sup>7</sup>複数医療圏にまたがる広域連合の医療費・介護費については、構成市町村の医療圏毎の75歳以上人口比で案分した上で、二次医療圏単位で集計している。

<sup>8</sup>近畿厚生局のデータは入手できていないため、合計値には含んでない。人口あたり病床数 (全国値) の算出にあたっては、データを入手できていない地域の人口は除いて計算している。

<sup>9</sup>市町村国保の保険者単位のデータしかないため、同一の保険者において複数の二次医療圏をもつ横浜市と川崎市は保険者単位で算出している。

「入院」は、入院診療及び食事療養・生活療養の計である。

「入院外+調剤」は、入院外診療及び調剤の支給の計である。

<sup>10</sup>日本医師会JMAP (地域医療情報システム) で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能 <http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。